富山市埋蔵文化財調査報告　9

富山市米田大覚遺跡
発掘調査報告書

よねだ　だいかく

2006

富山市教育委員会

富山市埋蔵文化財調査報告　9

富山市米田大覚遺跡
発掘調査報告書

よねだ　だいかく

２００６

富山市教育委員会

例　　言

1．本書は、富山市米田町１丁目地内に所在する米田大覚遺跡の発掘調査報告書である。

2．調査は、分譲宅地造成工事に先立ち、有限会社東洋都市開発の依頼を受けて富山市教育委員会が実施した。なお、発掘調査の一部を有限会社山武考古学研究所に委託し、市教育委員会が監理した。

3．調査の期間、発掘面積、調査担当等は次のとおりである。なお、当初平成11年度に報告書を刊行する予定であったが、依頼者の都合により延期となり、平成15年12月22日に同社が破産（平成15年（フ）第513号）したため、平成16・17年度に富山市が残りの出土品整理と報告書の刊行を行ったものである。（職名は当時）

試掘確認調査　平成7年4月11日～4月18日　対象11,247㎡　発掘面積570㎡
調査担当　富山市教育委員会生涯学習課 学芸員 小林高範

発掘調査　平成7年11月10日～平成8年7月31日　発掘面積4,600㎡
調査担当　Ａ区・Ｂ区　富山市教育委員会生涯学習課　学芸員 小林高範
Ｃ区～Ｅ区　有限会社山武考古学研究所　調査員 小村正之
（Ｃ区～Ｅ区　監理担当　小林高範）

4．本書の執筆は、鹿島昌也（富山市教育委員会埋蔵文化財センター学芸員）、松田政基（山武考古学研究所）が行った。

5．調査の実施から報告書作成までに次の方々の助言や協力をいただいた。記して謝意を表したい。
池野正男、柿田祐司、黒崎直、清水幸一、鈴木景二、田嶋明人、東野治之、山中敏史、馬場基、平川南
望月精司、渡邉晃宏

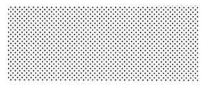
6．本書の挿図・写真図版等の表示は次のとおりである。
(1)　方位は真北、水平基準は海抜高である。
(2)　座標は調査当時の標準であった国土座標（日本測地系）を使用した。
(3)　遺構の表記は次の記号を用いた。
SB：掘立柱建物、SD：溝、SK：土坑、SE：井戸、SA：柵列Ｐ：柱状ピット、SX：不明遺構

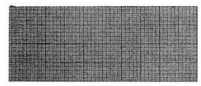
7．出土品及び原図・写真類は、富山市教育委員会が保管している。

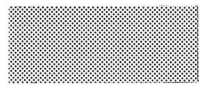
目　　次

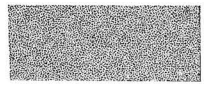
Ⅰ　遺跡の位置と環境 …… 1
Ⅱ　調査に至る経緯 …… 2
Ⅲ　調査の概要 …… 3
Ⅳ　まとめ ……11
参考文献 ……12
図　　版 ……12
遺物観察表 ……63
写真図版 ……75
報告書抄録

凡　　例


内黒土器


赤彩土器


墨　　痕


煤・油煙

Ⅰ　遺跡の位置と環境

遺跡は、富山市の北部に位置し、西約1.5ｋｍに神通川が、東約4ｋｍに常願寺川が流れる。岩瀬の海岸からは約3ｋｍ、ＪＲ北陸本線東富山駅から南西約800ｍに立地する。遺跡の北側約1ｋｍには国道415号線が東西に延びる。遺跡の標高は約8ｍを測る。調査時の現状は水田で周囲には5ｍ等高線が走っていて、扇状地形が織り成す微高地に立地している。現在は、富山市米田町1丁目地内に所在し、当地には米田字大覚割や竹花などの小字名が残る。

本遺跡周辺には縄文時代から江戸時代にかけての遺跡が広範囲に所在する。神通川右岸海岸部に縄文時代晩期前半の「岩瀬天神式土器」を標識とする岩瀬天神遺跡がある。縄文時代晩期後半には、本遺跡南方に豊田遺跡が出現し、石庖丁形の石器や打製石斧の存在から低湿地における農耕の可能性が指摘されている。

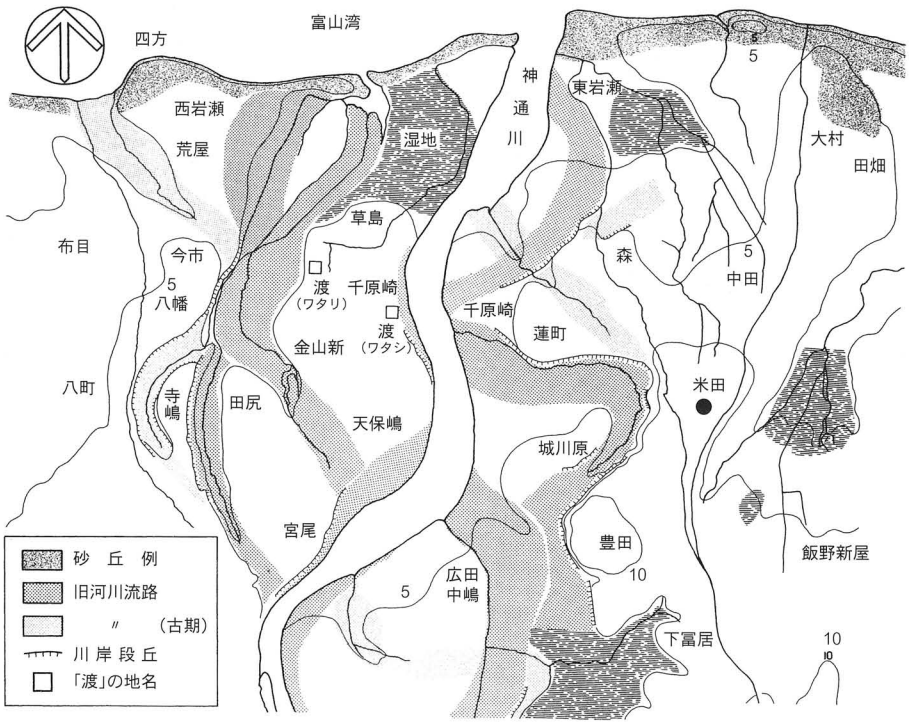
弥生時代には、本遺跡南東の宮町遺跡では玉作りを行った集落跡が所在し、海岸部の日方江遺跡では墓壙とみられる円形土坑群がある。

古墳時代には豊田地区にちょうちょう塚古墳が築かれる。古墳時代前期の方墳で、一辺21～22ｍ、高さ4ｍの規模を持つ単独墳で、赤彩土器や底部穿孔壺など祭祀色の強い土器が出土している。古墳に近接する豊田大塚・中吉原遺跡では弥生時代後期～古墳時代前期にかけて、湿地の肩部に祭祀土器の大量廃棄が確認されている。

古代には、平安時代前期に宮町遺跡で道路跡と掘立柱建物群や石製銙帯が発掘され、志麻郷関連の官衙施設と推定されている。米田大覚遺跡では整然とした掘立柱建物群や祭祀井戸、石製銙帯や200点以上の墨書土器が出土し、平安期の新川郡衙とする見方がある。豊田大塚・中吉原遺跡では人面墨書土器や人形などの祭祀遺物が多数出土し、新川郡衙の祭祀場と考えられている。さらに本遺跡西側に位置する蓮町遺跡を『延喜式』にみえる「磐瀬駅家」とする見方もある。

中世には『廻船式目』に掲げられる三津七湊のひとつとして「越中岩瀬湊」があるが、未だ位置は明らかにされていない。神通川河口左岸には四方荒屋遺跡や四方北窪遺跡など中世期の集落が所在し、関連が注目される。一方中世後期には、東岩瀬城や大村城、日方江城などの平城が築かれる。

中世末から近世前期には神通川河口右岸に千原崎遺跡が形成される。千原崎には江戸時代前期に加賀藩営の渡し場「千原崎の渡」が設けられた。遺跡は渡し場周辺に設けられた宿場的な町屋遺構群と考えられている。また、千原崎遺跡の集落では越中瀬戸焼が多く出土し、他の消費遺跡に比べて出土する陶磁器における越中瀬戸焼の占める割合が高いことから、越中瀬戸焼の流通における集積地であったと推定されている。



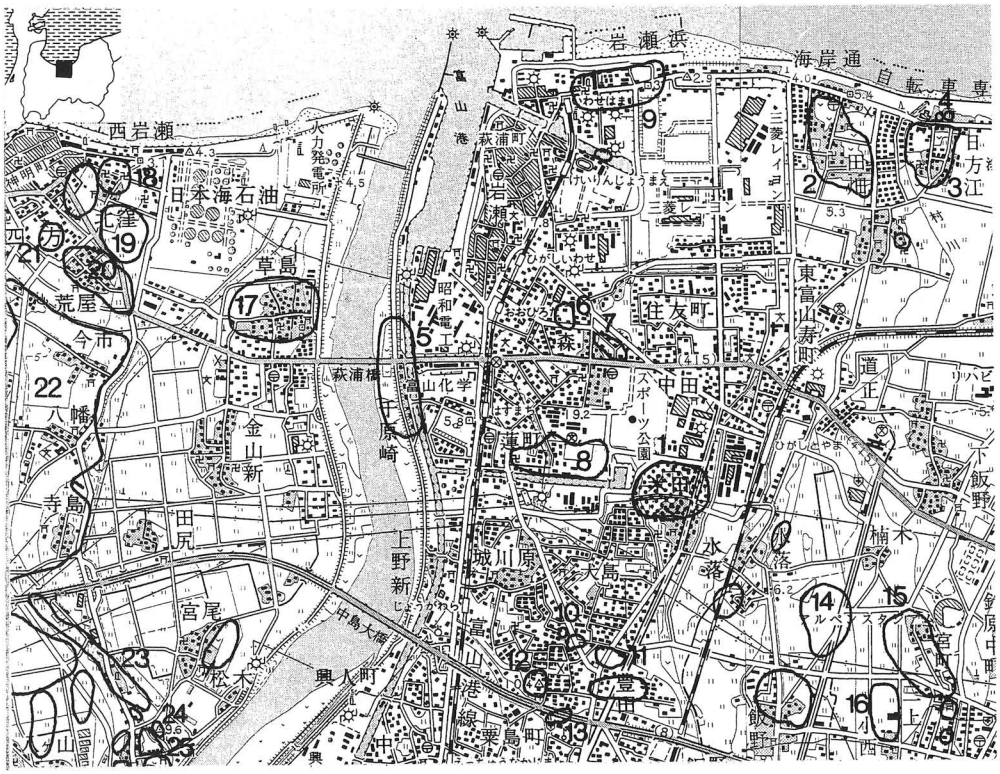
第１図　米田大覚遺跡（●印）周辺の古地形と地名〔富山市教委1999（古川知明作図）を引用一部加筆〕

Ⅱ　調査に至る経緯

米田大覚遺跡は、富山市教育委員会が実施した市内分布調査（昭和63年度～平成3年度）により、新たに発見された遺跡である。以後、富山市遺跡地図に登載し、周知の埋蔵文化財包蔵地（市遺跡№201021）として取り扱うこととなった。遺跡の推定面積は212,000㎡であり、奈良～平安時代の須恵器・土師器が出土する集落跡である。宅地造成等により、これまで４度の試掘確認調査が行われている。

平成７年2月、有限会社東洋都市開発から分譲宅地造成工事に伴って所在確認依頼書が提出された。造成予定地が包蔵地範囲内に含まれていたため、同年４月に11,247㎡を対象として市教育委員会が試掘確認調査を実施した。その結果、掘立柱建物の柱穴と思われるピット、溝などの遺構、須恵器・土師器を含む遺物包含層が約6,000㎡の範囲に良好に所在することが確認された。保護措置について事業者と協議を重ね、用地取得が確定した4,600㎡について発掘調査を実施することとなった。

発掘調査は1,900㎡を市教育委員会が直接行い、残りの2,700㎡を民間調査機関である山武考古学研究所に委託することで合意し、同年11月に協定を締結した。11月10日から現地の発掘調査に着手し、平成8年7月31日まで現地調査を実施した。



第２図　米田大覚跡と周辺の遺跡（１：50,000）

1　米田大覚
2　大村・大村城
3　日方江・日方江城
4　そうけ塚
5　千原崎
6　森
7　森B
8　蓮町
9　岩瀬天神
10 ちょうちょう塚
11 豊田大塚・中吉原
12 豊丘町・豊田城
13 豊田
14 飯野新屋
15 宮町
16 小西北
17 草島
18 四方北窪
19 四方荒屋
20 四方背戸割
21 江代割
22 今市
23 百塚住吉D
24 百塚住吉B
25 百塚住吉

Ⅲ　調査の概要

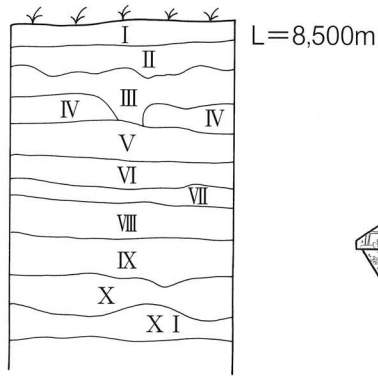
ⅰ）基本層序

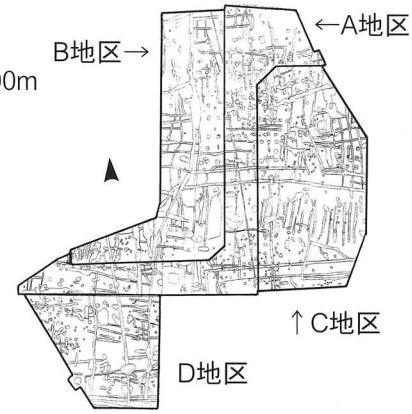
遺跡は富山湾にほど近く、神通川寄りの高位部と東側の低位部との境に位置し、調査前は水田であった。

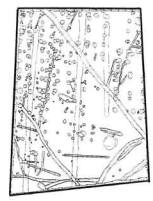
基本層序は、第Ⅰ層（耕作土層）、第Ⅱ層（遺物包含層）である。耕作土直下には、厚さ15cm前後の灰黄褐色を呈し粘性のある遺物包含層がみられる。遺構の掘り込みはこの遺物包含層からとされているもののその因果関係については、いまだ明快な報告を知り得ない。また色調は立地する環境により異なるようで、標高２ｍの水橋荒町・辻ヶ堂遺跡では黒褐色を呈する。

Ⅲ層（遺構確認面）続いて遺構の確認面である明黄褐色もしくは明橙色の砂層がある。このⅢ層以下のⅣ～Ⅺ層は地山に相当する。

Ⅳ層：明黄褐色（2.5YR 6/6）砂層
Ⅴ層：黄橙色（2.5Y 7/8）
Ⅵ層：浅黄色（2.5Y 7/4）
Ⅶ層：灰オリーブ色（5Y 5/2）
Ⅷ層：にぶい黄橙色（10YR 6/2）
Ⅸ層：にぶい黄橙色（10YR 6/4）
Ⅹ層：灰黄褐色（10YR 6/2）
Ⅺ層：黒褐色（2.5Y 3/1）粘性、締まりあり







第３図　堆積土層図及び調査区割図

ⅱ）発掘調査の成果

１．遺構と遺物

発掘調査はＡ～Ｅ区まで５地区に分けて実施した。

なお、遺物については、調査区毎の遺物観察表を掲載しているので参照願いたい。

①　遺　構

Ａ区～Ｅ区：掘立柱建物（SB）32棟、井戸（SE）９基、溝（SD）約280条、柵・塀（SA）２列、土坑・竪穴状遺構・穴・ピット（SK・SX・P）約970基

SB、SE、SD、SK、SXについては、Ａ～Ｅ区全体の通し番号を付した。本報告では、遺物が出土した遺構を中心に抽出したものがあり、遺構によっては欠番が生じているものもある。

また、Pについては、地区によってＳＢごとに付す場合（C～D区）と、調査時の地区毎の通し番号をそのまま使用しているもの（A～B区）がある。

②　遺　物

Ａ区～Ｅ区：須恵器（蓋・坏Ａ・坏Ｂ・椀Ａ・椀Ｂ・甕・壺・壺蓋・横瓶・双耳瓶・台付広口壺・高杯）、土師器（椀「赤彩・内黒」・甕・把手付鉢・鍋・高杯・皿）、土製品（土錘、獣脚）、木製品（付札状木製品・刀形木製品・斉串・箸・曲物・皿・下駄・井戸枠・柱根・礎板）、墨書土器（田邊・道公・人長・呰人・富女・月・及・室・人・真・王・家・酒・井・十・中・仲・茨・柴・公麿・公万呂・桑・則天文字他）、転用硯、メンコ（須恵器などを転用した駒、碁石）、緑釉陶器、灰釉陶器、石製品（石帯・砥石・碁石）、ガラス小玉、磨製石斧、縄文土器片、青磁、中世土師器、肥前、越中瀬戸、鉄製品などがある。

発掘調査全体の遺物量（A～E区）はコンテナ箱（55×35×15㎝）で約80箱、木製品は200㍑の水槽で２杯分である。

2．遺構の概要

(1) 掘立柱建物

掘立柱建物は32棟確認できた。これ以外にも、柱穴状のピットが多く所在するため、確認できなかった建物が所在する可能性はある。以下、主な建物跡について概説する。使用する尺の単位は、完数尺(30㎝)を用いた。

ＳＢ０１　Ｅ区に位置し、西側は調査区外になるため全貌は分からない。総長は桁行（4.20m):(2.10m・2.10m・…)、梁行6.00m(10尺等間)、掘方は80㎝前後の略方形を呈する。南側の桁筋はSB02を通り、これらは同時存在が指摘される。P6からは土師器の大振りの椀が出土した。

ＳＢ０２　SB01の東側に位置する南側桁筋に軒支柱が付帯する軒支柱付建物である。総長は桁行9.00m(６尺等間)、梁行6.00m(2.10m・1.80m・2.10m)である。掘方は1.00m前後の略方形で、やや南北方向に長い方形を呈する。ＳB01と南側桁筋が通る。さらに軒支柱が付帯するが、それとした理由は軒側の柱が身舎側の各桁柱に通らない。軒支柱の間は西側から1.80m・1.40m・2.00m・2.00m・1.80m

番号(区)	建物規模	長軸(m)	短軸(m)	棟方向	方　位	備　　考
SB01(E)	2間×2間　側柱	6.00	4.20	南北	N-10°-E	
SB02(E)	5間×3間　側柱	9.00	6.00	東西	N-80°-W	南側桁筋に軒支柱か廂付帯
SB03(E)	(2間)×2間　総柱	(4.20)	4.20	(東西)	N-80°-W	東側が調査区外
SB04(E)	4間×2間　側柱	7.80	4.50	南北	N-7°-E	SB01より古い
SB05(E)	3間×2間　側柱	4.80	4.00	南北	N-5°-E	SB06より新しい
SB06(E)	5間×2間　側柱	9.30	5.10	南北	N-5°-E	SB05･08より新しい
SB07(E)	10間×2間　側柱	22.00	4.80	南北	N-10°-E	SB06より新しい、部分的床張り
SB08(E)	8間×2間　側柱	16.20	4.80	南北	N-12°-E	部分的床張り
SB09(E)	3間×2間　側柱	8.10	5.40	南北	N-10°-E	SB10より新しい
SB10(E)	6間×3間　側柱	12.50	6.00	南北	N-10°-E	
SB11(E)	2間×2間　側柱	3.90	3.00	東西	N-80°-W	SE08を覆う(井戸がやや南に遍在)
SB12(E)	3間×2間　側柱	7.00	5.20	南北	N-12°-E	
SB13(A)	3間×2間　側柱	6.80	6.00	南北	N-5°-E	
SB14(A)	3間×2間　側柱	6.40	5.40	東西	N-83.5°-W	
SB15(A･C)	3間×2間　側柱	4.80	4.20	東西	N-85°-W	北側桁筋に庇付帯か
SB16(A～C)	6間×2間　側柱	13.50	5.40	東西	N-83°-W	
SB17(A･B)	3間×2間　側柱	6.00	4.60	東西	N-78°-W	東側に1間増の可能性あり
SB18(B)	(4間)×1間　側柱	8.60	4.20	東西	N-82°-W	3間×1間の可能性あり
SB19(B)	3間×1間以上　側柱	6.00	(2.00)	南北	N-5°-E	西側が調査区外
SB20(A･B)	3間×2間　側柱	6.00	5.00	東西	N-82°-W	SB17と切りあう
SB21(C)	2間×2間　総柱	4.20	3.90	南北	N-10°-E	
SB22(D)	2間×1間　側柱	4.80	4.00	南北	N-10°-E	
SB23(D)	(3間×2間　側柱)	4.40	4.00	(南北)	N-10°-E	西側が調査区外
SB24(D)	(3間×2間　総柱)	(3.20)	(2.00)	(南北)	N-17°-E	
SB25(A･C)	5間×2間　側柱	9.50	4.50	東西	N-82.5°-W	3間×2間に東西に張り出しか
SB26(A･C)	2間×1間　側柱	3.60	1.80	東西	N-85°-W	
SB27(C)	2間×1間　側柱	3.60	1.80	東西	N-80°-W	
SB28(C)	(3間×3間　側柱)	7.40	6.00	東西	N-89°-W	3間×2間に西に庇付きか
SB29(A)	(1間×1間　側柱)	2.20	1.90	南北	N-12°-E	
SB30(A)	2間×1間　側柱	4.00	2.00	東西	N-86.5°-W	
SB31(A)	(3間×2間　側柱)	4.50	4.00	東西	N-87°-W	
SB32(A･C)	(3間×1間以上　側柱)	6.00	(2.70)	(南北)	N-9°-E	西側に延びる可能性あり

表１　掘立柱建物計測表

第４図　米田大覚遺跡　平面図（S＝1／400）

1:400

0　20m

で、両端は桁行と同規模であるが、軒側の３本の柱間が異なる事にある。なお、軒支柱は壁柱や廂になる可能性もある。Ｐ８・9には木柱根が、Ｐ11には礎板が残る。

ＳＢ０３　SB02の東4.80mに位置する総柱建物である。建物の大半は調査区外となり全貌は不明であり、わずかに床束の検出により総柱と判明した。総長は桁行(2.10m：2.10m・…)、梁行4.20m(７尺等間)である。棟の方向はSB01・02と同じ方位であるが、南桁筋には通らないことからこれらの建物より後出の可能性もある。掘方は一辺80cm前後の略方形を呈する。重複関係はない。

ＳＢ０４　総長は桁行7.80m(1.95m等間)、梁行4.50m(2.25m等間)である。掘方は80～100cm前後の略方形を呈する。重複関係は直接切り合うSB01・SB06と、間接的のSB07・SB08がある。

ＳＢ０５　SB04の南側に位置する。総長は桁行4.80m(1.60m等間)、梁間4.00m(2.00m等間)である。掘方は80～100cm前後の略方形を呈し、一体に北妻側が大きい。重複関係は直接的にSB06・SB08が、間接的にSB07がある。

ＳＢ０６　総長は桁行9.30m(1.80m・1.80m・2.10m・1.80m・1.80m)、梁行5.10m(2.55m等間)の長舎である。掘方は60cm前後の略方形を呈する。重複関係は直接切り合うSB04・05・07･08がある。

ＳＢ０７　南北棟10×２間の側柱建物である。総長は桁行22.0m(2.10m・2.10m・2.10m・2.10m・2.70m・2.10m・1.80m・2.40m・2.40m)、梁行4.80m(８尺等間)である。また棟通りには床束がみられる。その位置は北から2･5･7･8･9間目と不規則であるが５本みられ、それは南側に集中するようである。再度柱穴を観察する必要があるが、この結果からは少なくとも建物の南半分は床張りとならざるを得ない。この様な建物が存在するかについては今後の課題としたい。側柱の掘方は80cm前後の略方形、床束の掘方はそれに比べてやや小さく50cm前後の楕円形もしくは略方形を呈する。重複関係は、直接的にはSB01･06、間接的にはSB04～08である。

ＳＢ０８　Ｅ区の北西中央に位置する。総長は桁行16.2m(1.80m・1.80m・2.10m・2.10m・2.10m・2.10m・2.10m・2.10m)、梁行4.8m(８尺等間)である。棟通りには北から３～５間目に柱穴がみられ、大きさも束柱の様な小さなものではなく側柱と同様の規模である。したがってこの建物はSB07と同様に部分的な床張りが指摘される。この床張り部は倉庫的な性格を有し、SB07の建て替えとしての可能性もみられる。いずれにしてもSB08とSB07は注目すべき建物となる。掘立柱建物で梁間１・２間に対して桁行が７間以上の長舎は、表２のように国衙政庁・郡衙政庁・客院関連施設・官人級居宅・あるい

奈　良	平城宮内　馬房寮	16×２間･15×２間･14×３間(主馬の墨書)
栃　木	芳賀郡衙(中村遺跡)	９×１間
	寒川郡衙(千駄塚浅間遺跡)	８×１間
埼　玉	入間郡衙(若葉台遺跡群)	６×２間(四面庇付４×３間の脇殿か)
東　京	豊島郡衙(御殿前遺跡)	15×２間､10×２間(郡庁の長殿)
富　山	佐味駅､荘家(じょうべのま遺跡)	８×１間以上､10×３間(東廂､間切り)墨書「西庄」
	川人駅家関連遺跡(麻生谷遺跡)	７×２間､墨書「人長」
石　川	国府津　(戸水Ｃ遺跡)	７間以上の建物が３群みられる。渤海客院関連施設か
	官人級居宅(千木ヤシキダ遺跡)	８×２間(四面庇･片面庇付)
静　岡	伊場遺跡	墨書「栗原駅長」､木簡「馬主戸主宗宜部□□□四束」
	官衙(六ノ坪遺跡)	６～10×３間が多い
神奈川	鎌倉郡衙(今小路西遺跡)	15･13･７以上×２間の建物が「コの字」状に配列。
	都築郡衙(長者原遺跡)	政庁域に15×２間と７×２間の建物がＬ字状に配列。
山　形	出羽国府政庁(八森遺跡)	７×２間､５×１間(板塀に囲まれ八脚門を有する。)
宮　城	玉造郡庁院(名生館遺跡)	西脇殿に８･10×２間
	陸奥国府　(多賀城政庁)	両脇殿･北殿と北方建物群
	多賀城廃寺	10×２間(北方の小子房)

表２　長舎建物の類例(一例)

は馬房などに多くの類例をみることが出来る。

ＳＢ０９　Ｅ区西端に位置し、総長は桁行8.1m(９尺等間)、梁行5.4m(９尺等間)で、掘方は70～100ｍの略方形を呈するが規模は一定でない。重複関係はSB10が古い。このほか南妻側にはさらに南に１ｍの位置に柱穴が３個確認されている。この柱穴はSB09の両妻柱とそれぞれ対応し、北妻側中央の柱穴が梁方向に長楕円形となる事、さらに西側柱筋にSB09・10の他にも掘方が認められる事からSB09の建て替えとしての可能性が高い事を指摘しておきたい。なお東側柱は大半が調査区外となるため規模等は推定に留め置く。推定５×２間、総長は桁行9.1m(1.82m等間)、梁間5.40m(９尺等間)となる。

ＳＢ１０　総長は桁行12.5m、梁行6.0m（2.0m等間）で、掘方は1m前後の略方形を呈し規模は一定である。南妻側の柱、南西隅柱から１間目は溝によって切られ掘方は遺存していない。

ＳＢ１１　当初SE08の上屋と思われた建物である。東西方向に棟をとる２×２間の建物である。総長は桁行3.9m（1.80m･2.10m：柱間は南北側で異なる）、梁間3.0m（５尺等間）である。上屋の位置からすればSE08はやや南に遍在する。作業スペースの考慮しての遍在であろうか。しかし、SB11の棟方向はSB01～03と同様であるが、SE08は上屋を掛けるほどの構造はない。また掘方自体他の井戸に比べ直径100ｃｍと小規模である。

ＳＢ１２　総長は桁行7.0m、梁行5.2mで、掘方は50～70cm前後の略方形を呈し、規模はほぼ一定である。ＳＢ08と同じ方位を示し、前後関係が推定される。

ＳＢ１３　調査区北寄りの一群の北端に位置する。総長は桁行6.8m、梁行6.0m（3.0m等間）で、掘方は１～1.5m前後の略方形を呈し、規模はほぼ一定である。ＳＢ17と重複関係にある。また、東西方向に異なる方位のＳＡ01が重複する。

ＳＢ１４　調査区北寄りの一群の南端に位置する。総長は桁行6.4m、梁行5.4m（９尺等間）で、掘方は0.7～1.0m前後の方形を呈し、規模はほぼ一定である。西側梁行がSB16の西側梁行と約５ｍの距離をおいて通り、棟方向もほぼ揃うことから同時存在していた可能性がある。

ＳＢ１５　総長は桁行4.8m（８尺等間）、梁行4.2m（５尺等間）で、掘方は0.8～1.2mの隅丸方形を呈し、棟方向に向かってやや長方形となる。北筋の柱穴がやや小振りで、北側桁筋に庇が付く可能性がある。西側に約３ｍ離れてSB14が同じ棟方向で並存する。南側桁筋がSB14の南側桁筋とほぼ通る。一方で方位がSB14よりも僅かだが1.5度南に傾く。

ＳＢ１６　総長は桁行13.5m、梁間5.4m(９尺等間)で、掘方は0.6～0.8mの略方形を呈する。桁筋の東側３間分の掘方形状が隅丸方形でほぼ一定の規模を示す。西側４間分とは南北桁筋の通る２棟別棟の建物になる可能性もあるが、棟通りに床束と思われる柱穴も３か所みられ、SB07・08の建物の性格との関連も注視される。

ＳＢ１７　総長は桁行6.0m、梁間4.6m(2.3m等間)で、掘方は約0.6mの略方形を呈する。東側に桁行きが１間分増える可能性もある。Ｅ区のSB08・12と主軸が直交する方位を示す。Ｅ区の両者は重複関係にあり、いずれかとの同時存在の可能性も指摘できる。

ＳＢ１８　調査区西側に位置する。総長は桁行8.6m、梁行4.0mで、掘方は約0.8～1.0mの円形に近い略方形を呈する。北群のSB20・25とほぼ同じ主軸方向をとり、Ｅ区SB04とは直交する方向となる。

ＳＢ２１　調査区の東端、SB02の南側に位置する総柱建物である。総長は桁行(東西)3.90m(13尺)、梁行(南北)4.20m(14尺)である。柱間は桁行(東西)が東から1.80m(６尺)・2.10m(７尺)、梁行が2.10m(７尺)等間となる。柱根は確認出来なかったが、掘方の底部にはそれぞれ一段低くなる部分があり、それを柱の位置と推定して柱間を割り出した。その中でもＰ５・Ｐ６は柱の推定位置から僅かにはずれる。掘方は一辺0.90mを呈し、Ｐ３・Ｐ５が楕円形となる他は大半が略方形を呈する。

ＳＢ２２　調査区の中央西端に位置する南北棟の建物跡である。この建物は当初３×２間の総柱とされていたが、桁側の中央柱が通らないことと、東桁側の柱掘り形が他のものより小さく軒の支えとみられ

ることから2×1間の側柱建物と推定した。またこの他に小さな柱穴がみられる。すなわち主柱穴はＰ１～Ｐ４、Ｐ７～Ｐ９は軒を支える柱穴と思われる。またＰ５・Ｐ６・Ｐ10は床束、Ｐ11～13はひとつ欠けているが際束と思われる。この梁間１間の建物で際束が使われる時期は宮本長二郎によれば弥生時代が主流であるとされている（1998宮本）。したがってSB01は律令期の建物ではなくなってしまい、今後の課題とするところとなる。総長は桁行4.80m（2.40m等間）、梁間4.00m（2.00m等間）である。掘方は径40～80cmの楕円形を呈し、他の掘方に比べ桁東側の掘方が小さく、構造柱として疑問が残る。際束（Ｐ11～13）は梁間に大引きを渡して床を指示するため、柱は通し柱となる課題の大きい建物である。その他西側を除く３面庇が付帯するようであるが、これについては再検討を要する。

ＳＢ２３　SB22の西側に位置する。大半は調査区外にあり、全貌は不明だがおそらくSB22と同様の南北棟の建物である。SB22の北梁間側と柱筋が通るため、同時期あるいは同規模の可能性が窺われる。この桁行間は復元すると4.40mとなり、SB22のそれ(4.80m)とほぼ同じとなる。したがって、建物は３×２間の側柱建物と推定される。総長は桁行4.40m(1.20m・2.20m・1.20m)、梁行4.00m(2.00m等間)である。SB22との間は1.80mで、この間隔は軒の出が互いに接しない最小である。この間には細い溝状の遺構がみられる事から、この溝は雨落ち溝としての可能性を指摘しておく。

ＳＢ２４　SB23の北西側に重複して位置する。全貌はSB23と同様調査区外で分からないが、おそらく桁行３間以上、梁行２間以上の南北棟で総柱式の可能性もある建物である。総長は桁行3.20以上(1.20m・2.00m・「1.20m」)、梁間2.00m(2.00m・「2.00m」)以上が推定される。

ＳＢ２５　SB16の東側に重複する建物である。総長は桁行9.5m、梁行4.5m(15尺)である。掘方は0.7～1.0mの略方形を呈する。桁柱南側はSB16の掘方と方向が通ることからこの柱筋が建物配列の基準となる可能性が高い。重複関係はSB16が古い。

⑵　井　　戸

調査区内で９基確認された。そのうち６基で井戸側材を確認または存在が推定できる。

ＳＥ０１　調査区の中央西寄りに位置する井戸である。平面規模は上端が2.48m×2.40m、下端が1.20m×1.10mの隅丸方形を呈する。掘り込みの深さは1.23mである。

ＳＥ０２　調査区の東側に位置する井戸である。平面規模は上端が2.55m×2.50mの略方形、下端が1.85m×1.72mの楕円形を呈する。残存する掘り込みの深さは1.36mである。

ＳＥ０３　調査区の東端に位置する井戸跡である。平面規模は上端が1.76m×1.42m、下端が1.55m×1.43mの楕円形を呈する。残存する掘り込みの深さは1.12mである。

ＳＥ０４　平面規模は直径0.62mの円形を呈する。残存する彫り込みの深さは0.54mである。

ＳＥ０５　平面規模は上端が1.60m×1.41mの略長方形、下端が0.90m×0.72mの略長方形を呈する。残存する彫り込みの深さは1.04mである。掘方はあったと推察されるが、埋没段階で崩壊したため、形状と規模は不明である。井戸枠は崩壊した状態で覆土中層より下から出土している。その形状は出土した部材から縦板横桟留になると考えられる。

ＳＥ０６　平面規模は上端が3.30m×2.17mの不整形、下端が1.71m×1.22mの不整形を呈する。残存する掘り込みの深さは0.74mである。確認時点では上端の形状は長方形であったが、調査時点で壁の崩落が起きたため、いびつな形になった。掘方を持ち、その内側は確認面から約40cm下がったところで約1.3m四方の方形になると考えられる。井戸枠は崩壊した状態で覆土の中層より下から出土した。その形状は出土した部材から縦板横残留の井戸枠が考えられる。

ＳＥ０７　平面規模は上端が2.65m×1.0m以上、下端が1.3m×0.65m以上の不整形を呈する。

ＳＥ０８　Ｅ区の中央南寄り、SB08の南東４mに位置する井戸である。またSB02の南側正面の中軸線上に位置することからこの建物との同時並存が指摘される。掘方は楕円形を呈し、上端長軸1.65m、短軸1.45m、下端長軸0.85m、短軸0.80m、深さ1.08mである。断面は長軸の北側がやや漏斗状となる。

井戸枠は出土しなかったが、おそらく直径0.80m前後の井戸枠があったと推定される。またその南側に位置するSD39はSB02と方向が同じで、この遺構との関わりも指摘される。

ＳＥ０９　Ｅ区の南東に位置する。井戸枠は隅柱縦板組横桟留め構造の井戸である。縦板はほぼ59cmで遺存し、幅15cm前後の矢板状に尖らせた板を縦方向に交互に重ね合わせて地山に打ち込み、横桟で内側に倒れないように留め、隅柱と横桟はほぞで組んでいる。横桟は掘方内の土圧であろうか四辺とも内側に緩く湾曲している。横桟は地山からの高さは34cmである。掘方は一辺5.5～5.3mの略方形を呈し、深さ1.35mである。SE09と近接するSD42・43とほぼ平行し、さらに両溝は端部が立ち上がるため、溝としての機能より堀などの掘方に類似している。方向は建物群とほぼ同じであることから、これらは同時存在の可能性が高く、SD42・43は目隠し掘的な性格が窺われる。

⑶　溝・道路

ＳＦ０１（ＳＤ２６・３１）調査区中央北寄りを東西方向に心々間約2.65～3.3mの距離をおいて並走して横切る２本の溝からなる。南側を走るSD26は、調査区西端の手前で向きを南西方向に変える。北側のSD31はSB27付近で途切れ、調査区北側の掘立柱建物群方向に心々間約3.0mの距離をおき併走して延びる道路跡(SF03)と推定される西側の溝に切られる。SB27は調査区北側の掘立柱建物群へ延びるSF03とSF01の交点に位置し、同時に存在すると門のような役割が推定できるがやや西に寄りSD31と重なり、トイレの覆屋とも推定され検討を要する。方位はSD26が東側でN-77°-W、途中からN-90°-Wとなり西側では南西に向きを変える。SD31はN-87°-Wで調査区西端でやや北寄りに方向を変える。

ＳＦ０２（ＳＤ０４）　SF01の南側を東西方向に心々間約2.3～2.7mの距離をおいて並走し、調査区中央で南に折れる２本の溝からなる。掘立柱建物SB28とほぼ接し、SB30・31と重複関係にある。これら建物群は他の建物群に比べ柱穴が円形や不整形を呈し、その径や一辺が0.5mに満たないものが多く、建物方位も異なることから時期が異なる建物群と推定される。SD04の方位は東からＮ－89°－Ｗで西に延び途中で、90°角度を南に向ける。

ＳＤ３３　幅0.87～1.00m、深さ0.25mを測る。延長36m検出された。方位はＮ－33°－Ｗを示す。SB02・07・08の柱穴とSB10の掘方を切るので、建物群より新しい時期に形成された溝と推定される。

ＳＤ４５　Ｅ区の南西をSD33とほぼ並走して延びる。上幅0.6～0.8m、底部幅0.45～0.55m、深さ0.2～0.25mを測る。延長約22m検出された。方位はＮ－31°－Ｗを示す。SD33との心々間の距離は17.5mを測り、その間を道路とするにはやや広すぎる。

ＳＤ４２・４３　SE09の北側に近接する。SD42と43はほぼ平行しているが、部分的に重複している。重複関係はSD42が古い。SD43は長さ4.0m、幅0.4m、深さ0.1mとSD42と比べて規模が小さくなっている。SD42は長さ4.2m、幅0.5m、深さ0.5mであり、底部は一定の深さである。また壁は西側を除きいずれもほぼ垂直となり、排水を主とした機能はみられない事から、板材による目隠し塀を推定している。それとすればSD42･43はSB10とSE02との相関関係が生じ、建物群との同時期存在も考えられよう。遺物は土師器椀Ａ（赤彩）が多く出土しているが、大半はSD42の出土である。方位はＮ－70°－Ｗ。SD42から出土した土師器椀Ａには墨書「丕」が多くみられる。この文字は則天文字の「而」（天）と解釈されている（平川2000）。

⑶　竪穴状遺構（土杭）

ＳＸ０１　長軸6.2m以上、短軸4.7～5.3の隅丸方形を呈し、深さ0.45～0.65mを測る。北寄りに平面形は隅丸方形（約2.5m四方）、断面形は台形状（高さ約0.2～0.4m）に地山を掘り残す部分がある。

Ⅳ　まとめ

1．遺　　物

出土品は整理箱約80箱になる。主体を占めるのは須恵器、土師器である。須恵器は杯や蓋などの食膳具が目立ち、貯蔵具の甕や壺などの大型品が少ない傾向にある。土師器については調査区北側のＡ・Ｂ・Ｃ区では煮炊具の甕の割合が高く、椀・皿類が少ない傾向が見られる。一方、調査区南側のＤ・Ｅ区では逆に椀・皿類が多く出土し、甕などの煮炊具が少なくなる。

概ね８世紀末～10世紀初頭頃までの遺物が認められ、９世紀中頃が主体となる。

注目されるのは、墨書土器が208点出土したことである。県内では富山市任海宮田遺跡や射水市北高木遺跡に次ぐ出土数である。墨書土器のうち約１割が土師器で、残りは須恵器である。墨書には①人名や役職(田邊・道公・公麿・公万呂・富女・呰人・人長) ②施設名や場所(室・家・井)、③物品(酒)、④則天文字「丕」(而)、⑤その他(柴・桑・真・王・十・中・仲・茨・人・□□□(１字目は新ヵ３字目は廣ヵ)などがある。土師器に記された墨書は「丕」が殆どである。また、朱書きの「工」や「王」もみられた。

このほか、４基の井戸から斉串が29点出土し、井戸祭祀が推定される。また、墨書「井」は呪符記号「#」とされ（平川2000)、「#### 」や「王」と線刻された須恵器も出土し注目される。緑釉・灰釉陶器や石帯（巡方２点、丸鞆１点）、風字硯、陶製の枡など官衙遺跡に特徴的な遺物も出土している。

2．遺　　構

掘立柱建物は計32棟確認され、南北約120m、東西約75mの範囲に概ね４つの建物群に分けることができる。南から１群(SB01～SB12)の12棟、２群(SB18､SB22～SB24)の４棟、３群(SB28､SB29～SB31)の４棟、４群(SB13～SB17、SB19～SB21、SB25～27、SB32)の12棟とした。特に整然とした建物配置が認められる１群と４群について主に以下で触れる。

１群は少なくとも３時期以上の建物の変遷が推定される。中でも中核的な建物のSB02は南側に軒支柱あるいは廂が付帯し、梁間最大の建物である。このSB02を中心に、南桁筋の通るSB01や棟方位を同じくするSB03が東西に並列していた時期がまず考えられる。次にSB01が90°角度を変えて建て直され、長舎建物のSB07となる。SB02・SB03・SB07はＬ字形の建物配列をとり、山中敏史氏が指摘する「郡庁」の類型のＶ類(山中2004)に相当し､SB02が正殿､SB03が脇殿となる左右非対称の建物配置を示す。[*1] 宮城県名生館官衙遺跡(陸奥国玉造郡衙)や栃木県上神主・茂原官衙遺跡(下野国河内郡衙)に類例がみられる。SB07と同様長舎建物と推定されるSB08は、SB07と切り合い、新しく建て替えられたと考えられる。注目されるのは、SB08の北梁筋がほぼ通るSB09・SB10である。これらは棟方位が揃うSB07の一群とも捉えられるが、SB08に伴う建物との見方もできる。そうすると郡庁とは異なる配置になる。さらに、南北軸のSB04・SB05・SB06は、SB07と前後関係が認められる。以上から１群は西側の南北棟の建物群の切り合いや重複、前後関係から少なくとも３時期以上の変遷が推定される。一方、柱の重複関係を見ると図面上若干の矛盾が見られるが、SB08→SB07→SB05→SB04→SB01→SB06という解釈もできる。やや東に振れる建物から真北に近い建物へと変化することも推定される。そうすると長舎建物が２時期あり、その後にSB02やSB04・SB10などからなる品字ないしコの字状の配置になり、西脇殿相当の建物はその後東西棟のSB01 になり、東脇殿はSB09に変わるとも考えることができる。[*2]

郡庁域に井戸が伴っていたかは検討を要する(払田柵政庁に井戸を伴う例がある。[*3]) が、井戸が全時期を通じて併存すると、これまでの郡庁例には見られず、厩家などの曹司や館などになる可能性もある。SE08(覆屋付か)やSE09（斉串が多数出土、近接する溝から多数の則天文字入りの土師器が出土）は、郡衙内での祓いの場など特殊な機能を掌っていたことも推測される。

４群はSF01の北側に梁行２間の東西棟の建物が整然と並ぶ、北端のSB13・SB17・SB20の重複や切

り合いなどから当地区は少なくとも３時期の建物変遷が推定される。１群の建物群が郡衙（郡家）の中枢施設である「郡庁」とすると、その周囲には「館」(宿泊施設）や「厨家」(食膳準備や食料・食器の調達管理施設)、「曹司」(行政の実務的な施設)、「正倉」などの施設が郡衙域には所在する(神奈川県長者原遺跡（武蔵国都筑郡衙)、滋賀県岡遺跡（近江国栗太郡衙)など）。このような視点から４群をみると、１群の棟方向に共通する方位を示す建物が複数棟存在する（１群のSB05・SB06と４群のSB13・SB15・SB19など）ことや大小の井戸が１基ずつ建物群に付随して存在することなどから１群との関連が指摘でき、郡衙域に伴う建物群と考えられる。そこで、館や厨家などが推定されるが現段階では判別は難しい。４群域のSD26から「酒」と「室」が同一固体に記された墨書土器(杯B)が出土し、調査区北東部の包含層からは「家」が記された墨書土器(杯B)が出土した。また、「室」墨書も３～４群域からまとまって出土したことも注視される。SB21の総柱建物は倉庫と考えられる。４群域ではSF03に区切られ、別群の建物群(正倉など)に属することも推測されるが、ここでは１棟のみの検出なので４群域に付属する単独の倉庫と考えたい。

２群についても若干触れておくと、調査区西端に３棟とその北側の１棟がある。井戸が５棟検出され、他の地区よりも密集する傾向にあり、生活域の様相を示す。合わせて「井」の墨書土器がこの地区から多く出土する。「公麻呂」などの人名と思われる墨書土器がこの地区から３点出土し、「館」や郡庁の北側に近接することから郡司居宅などの存在も類推される。２群と３群の間に位置する竪穴状遺構からは「田邊」や「道公」といった人名や役職名を付した墨書土器が出土し、関連が注目される。

これらのことから遺構は郡衙に関連した施設と推測される。９世紀中頃を中心に営まれた越中国新川郡衙(郡家)と考えられる。今後、建物配置や変遷などの詳細な検討を重ねていきたい。

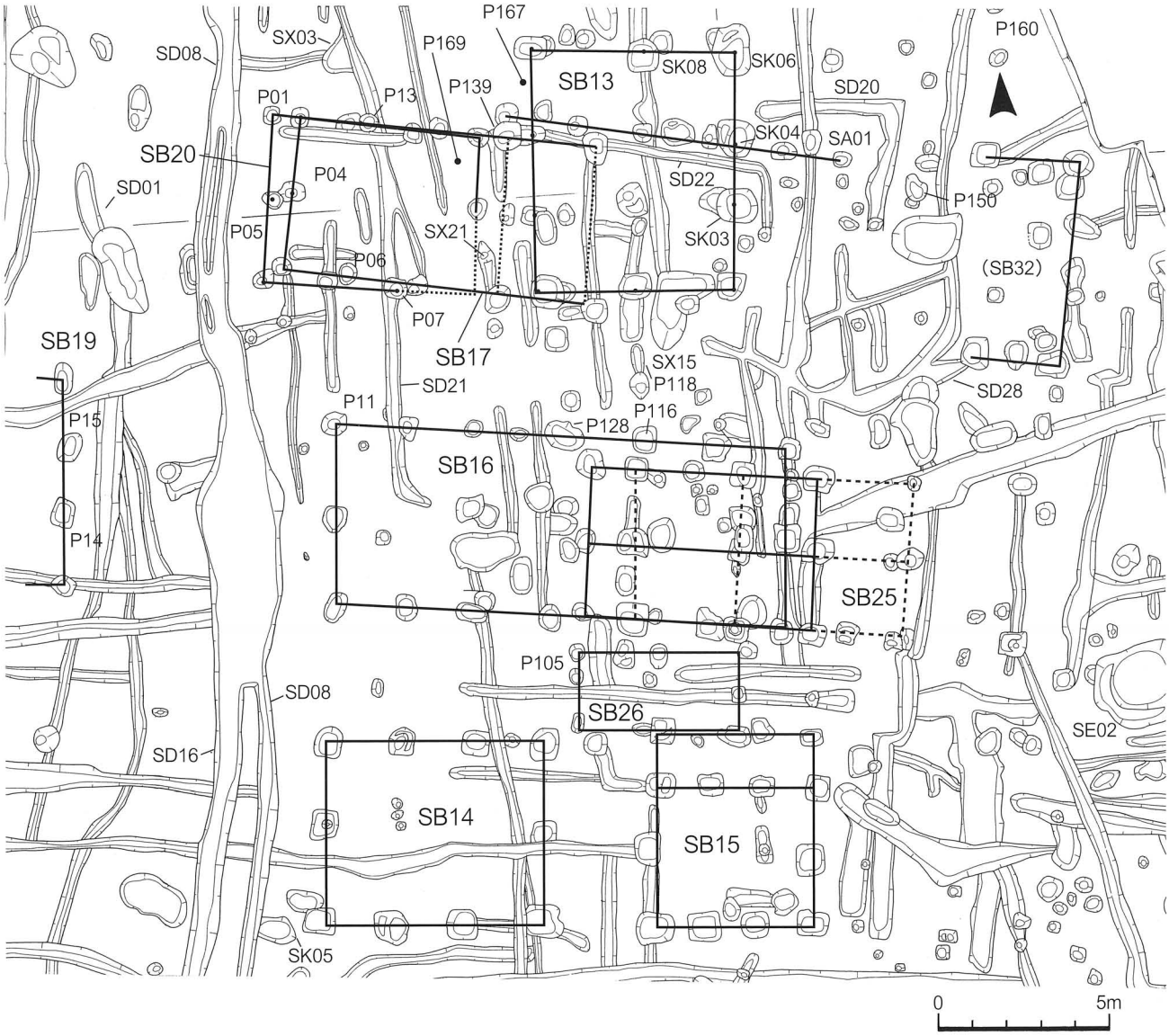
参考文献

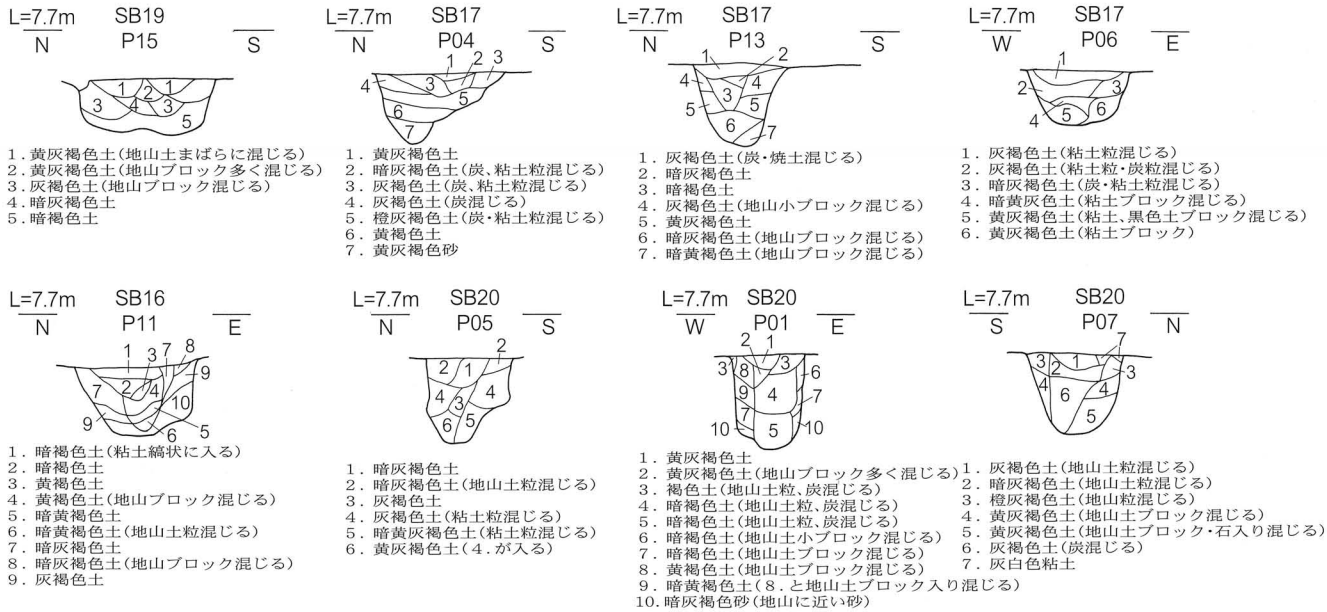
安達　志津　1997「北陸における銙帯・石帯」『富山市考古資料館報』第31号
平川　　南　2000「墨書土器の研究」
『第四章　墨書と土器と古代の村落　三　墨書土器とその字形』吉川弘文館
藤田富士夫　2004「古代越中国新川郡の「道」と「郷」に関する若干の考察」
『敬和学園大学人文社会科学研究所年報』２
堀沢　祐一　2005「北陸における律令祭祀具と墨書土器について」
『大境』第25号富山考古学会
山中　敏史　2004「Ｖ郡衙」『古代の官衙遺跡』Ⅱ遺物・遺跡編
（独）文化財研究所　奈良文化財研究所
石川県小松市教育委員会　2002『二ツ梨一貫山窯跡』
（社）石川県埋蔵文化財保存協会　1998　『古代北陸と出土文字』
石川考古学会・北陸古代土器研究会　1988
『北陸の古代土器研究の現状と課題』
大島町教育委員会　1995『富山県大島町　北高木遺跡
発掘調査報告書』
金沢市教育委員会他　1987『金沢市千木ヤシキダ遺跡』
高岡市教育委員会　1997『麻生谷遺跡・麻生谷新生園遺跡調査報告書』
高岡市教育委員会　2002『中保Ｂ遺跡　調査報告』
富山県教育委員会　1974「じょうべのま遺跡」『富山県埋蔵文化財
発掘調査概要Ⅲ』
富山考古学会　2000「特集　道　富山県道路遺構集成」
『大境』第20・21号
富山市教育委員会　1998『富山市豊田大塚遺跡発掘調査概要』
富山市教育委員会　1999『富山市千原崎遺跡発掘調査概要』
富山市教育委員会　2004『フォーラム　奈良時代の富山を探る』
富山大学人文学部考古学研究室　1989『越中上末窯』
北陸古代土器研究会　1997『北陸古代土器研究』第６号
北陸古代土器研究会　1997『北陸古代土器研究』第７号

註＊１　富山大学黒崎直氏ご教示
＊２、３（独）奈良文化財研究所山中敏史氏ご教示

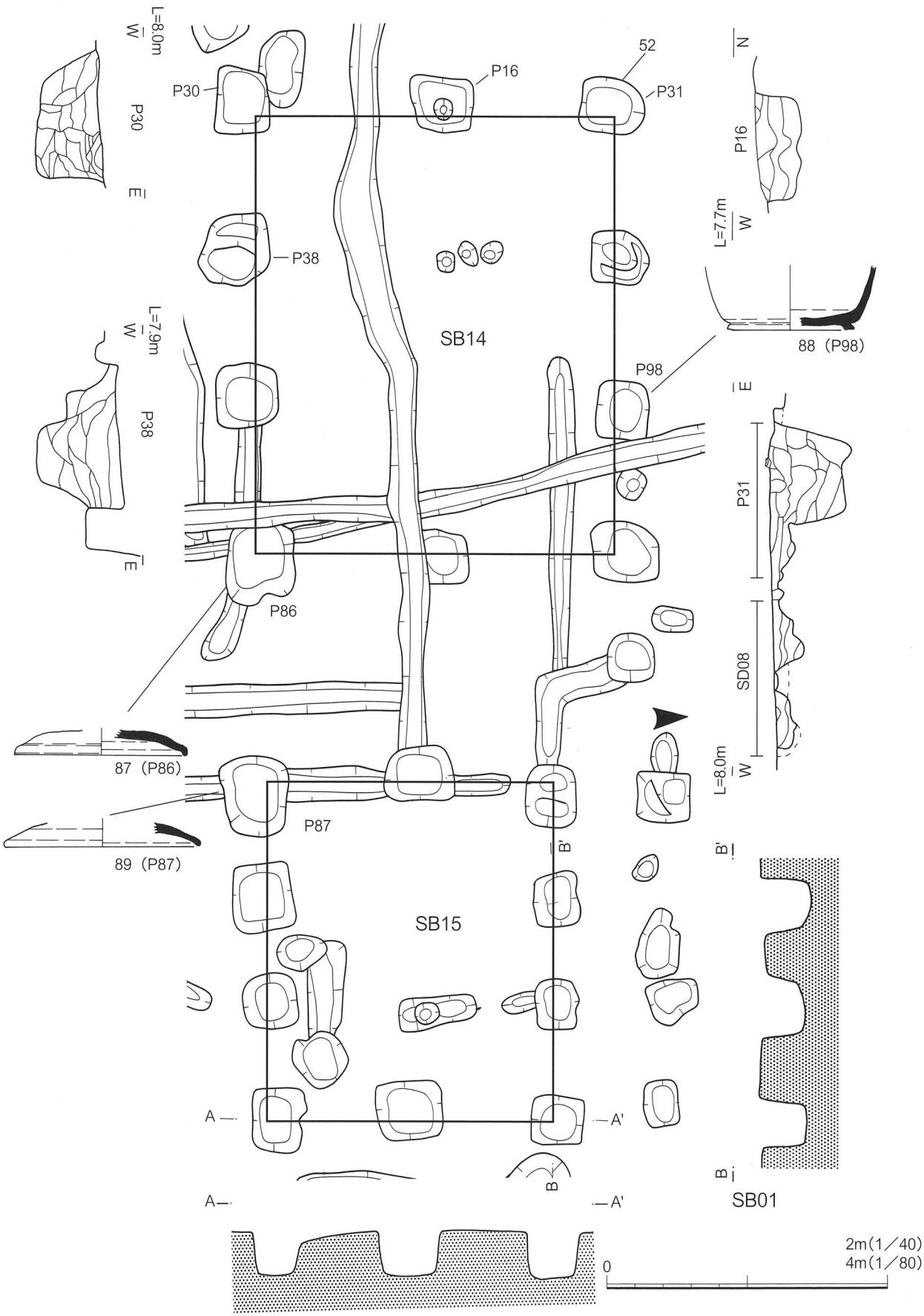
第４図　掘立柱建物・井戸
(アミカケ)配置図

0　　10m

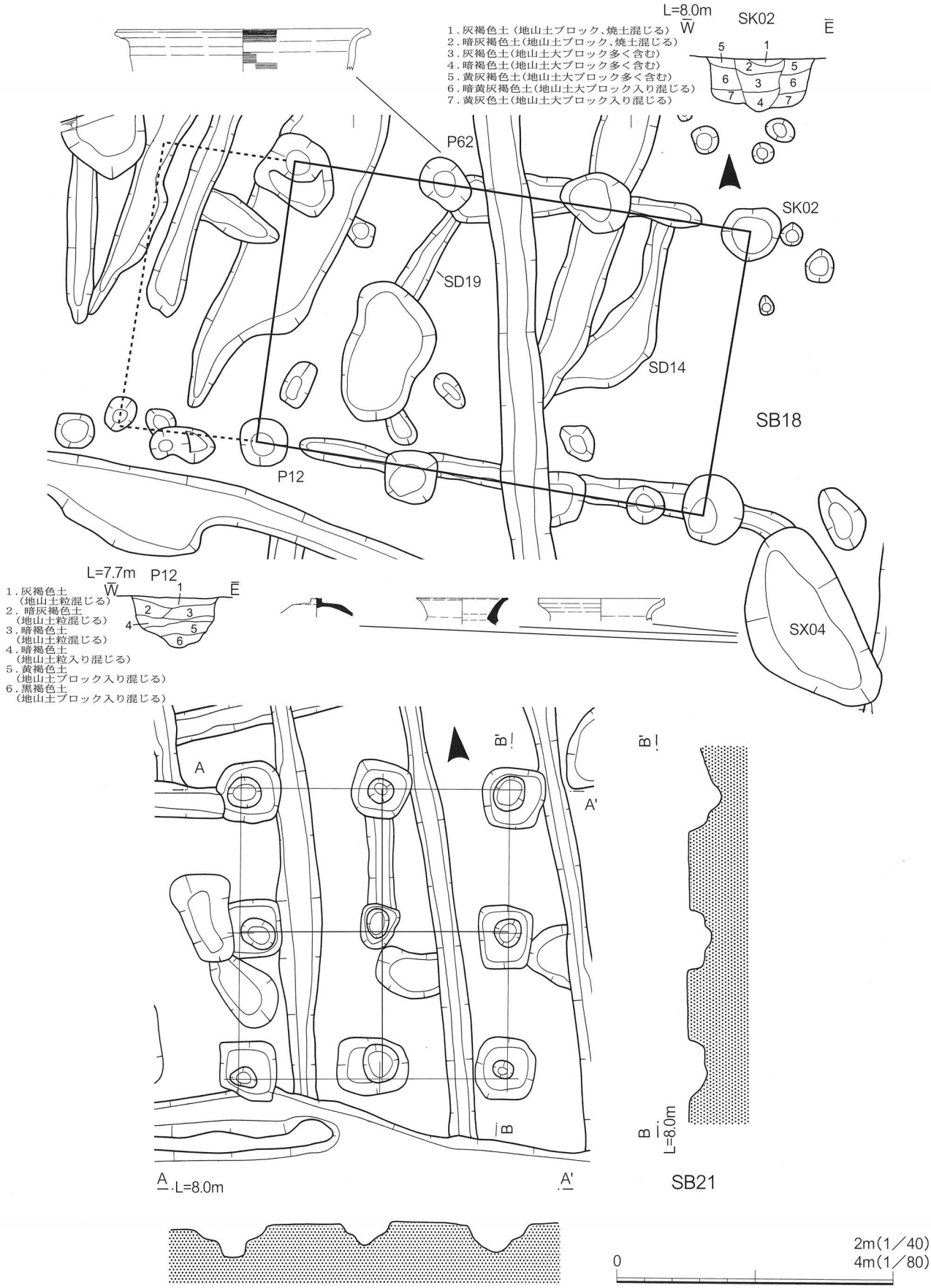




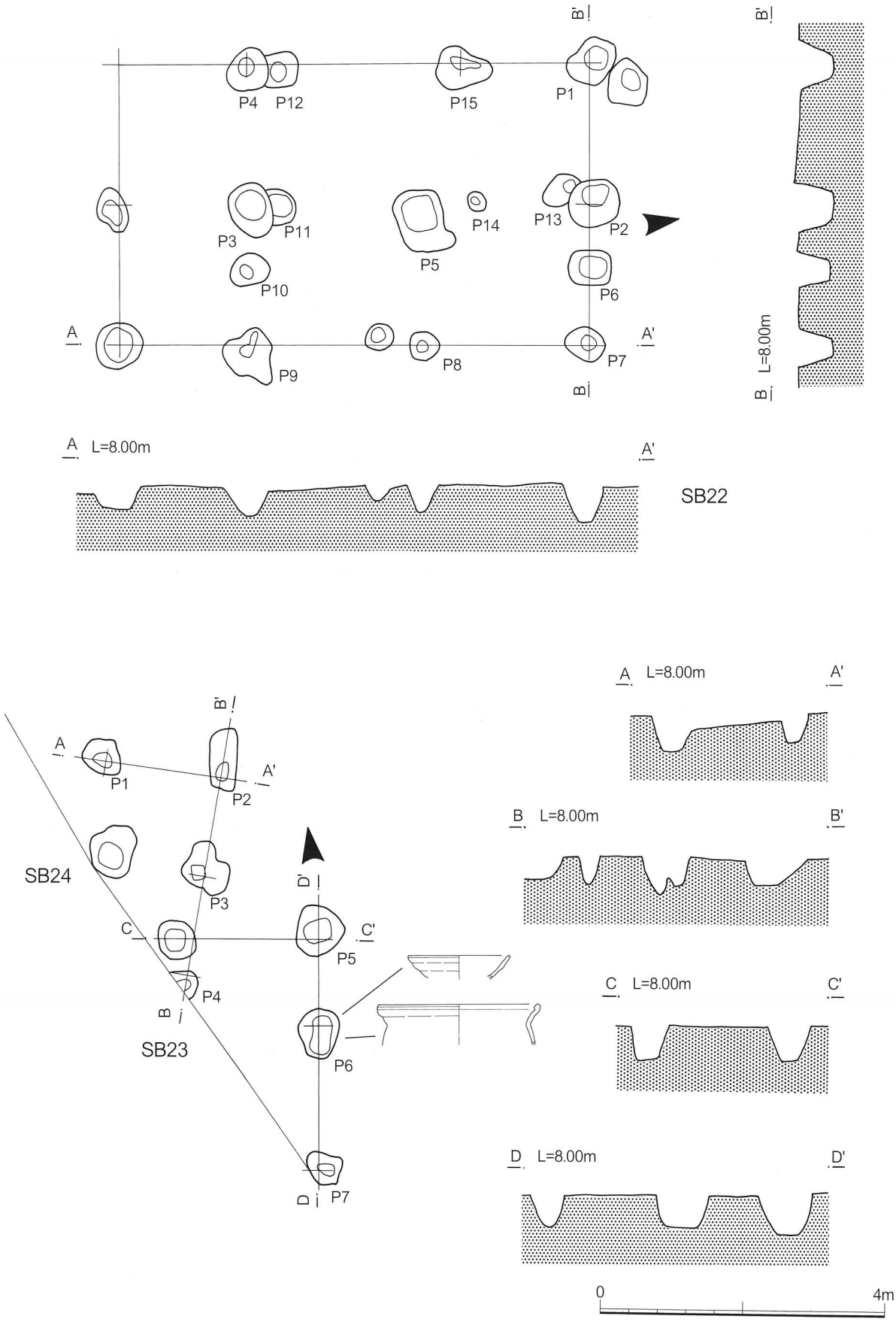
第５図　遺構図平面図（1／200）、掘立柱建物の柱穴土層断面図（1／40）



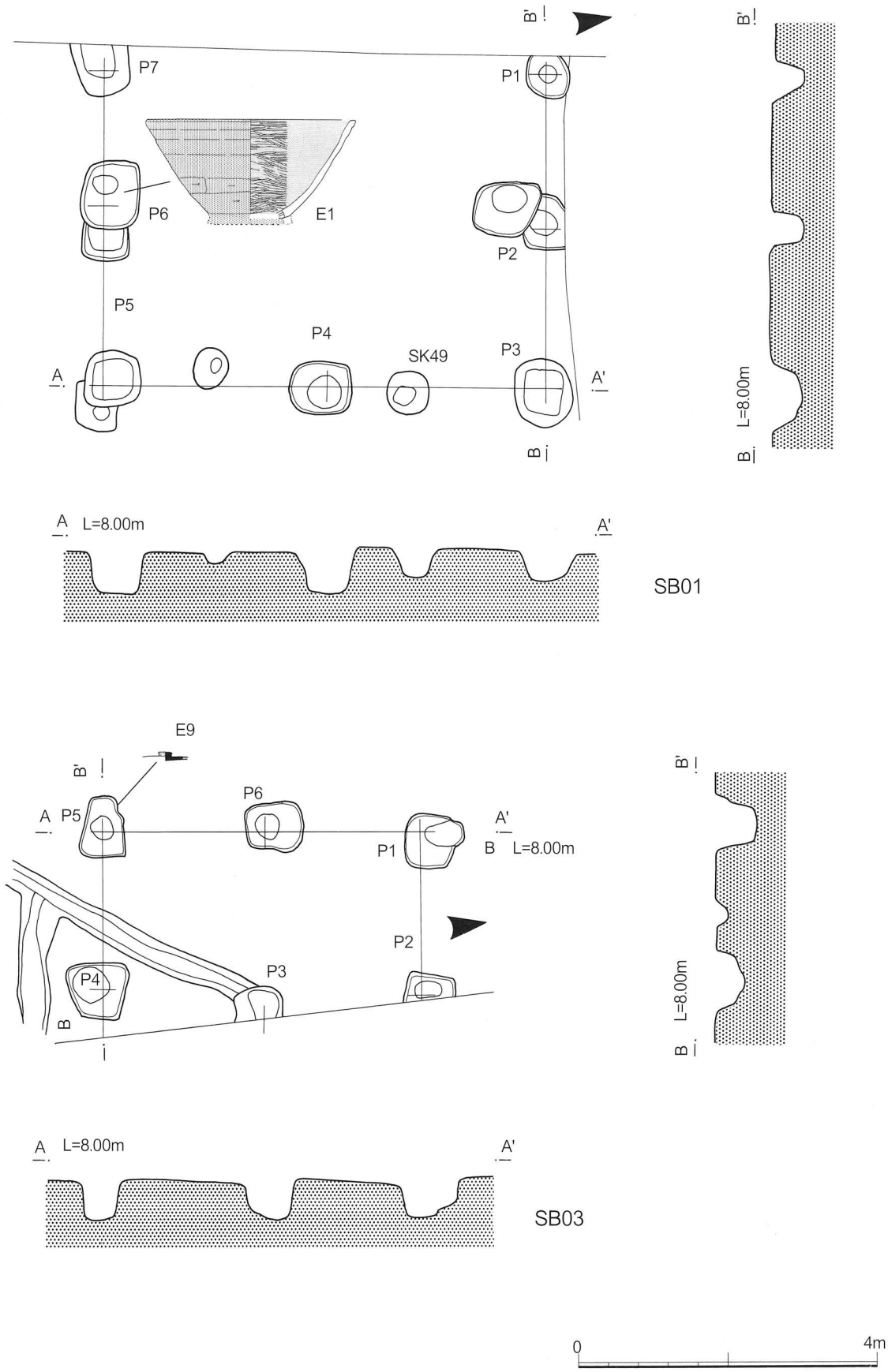
第６図　堀立柱建物(SB14、SB15)平面図(1／80)、柱穴土層断面図(1／40注記なし)、エレベーション図(1／80)



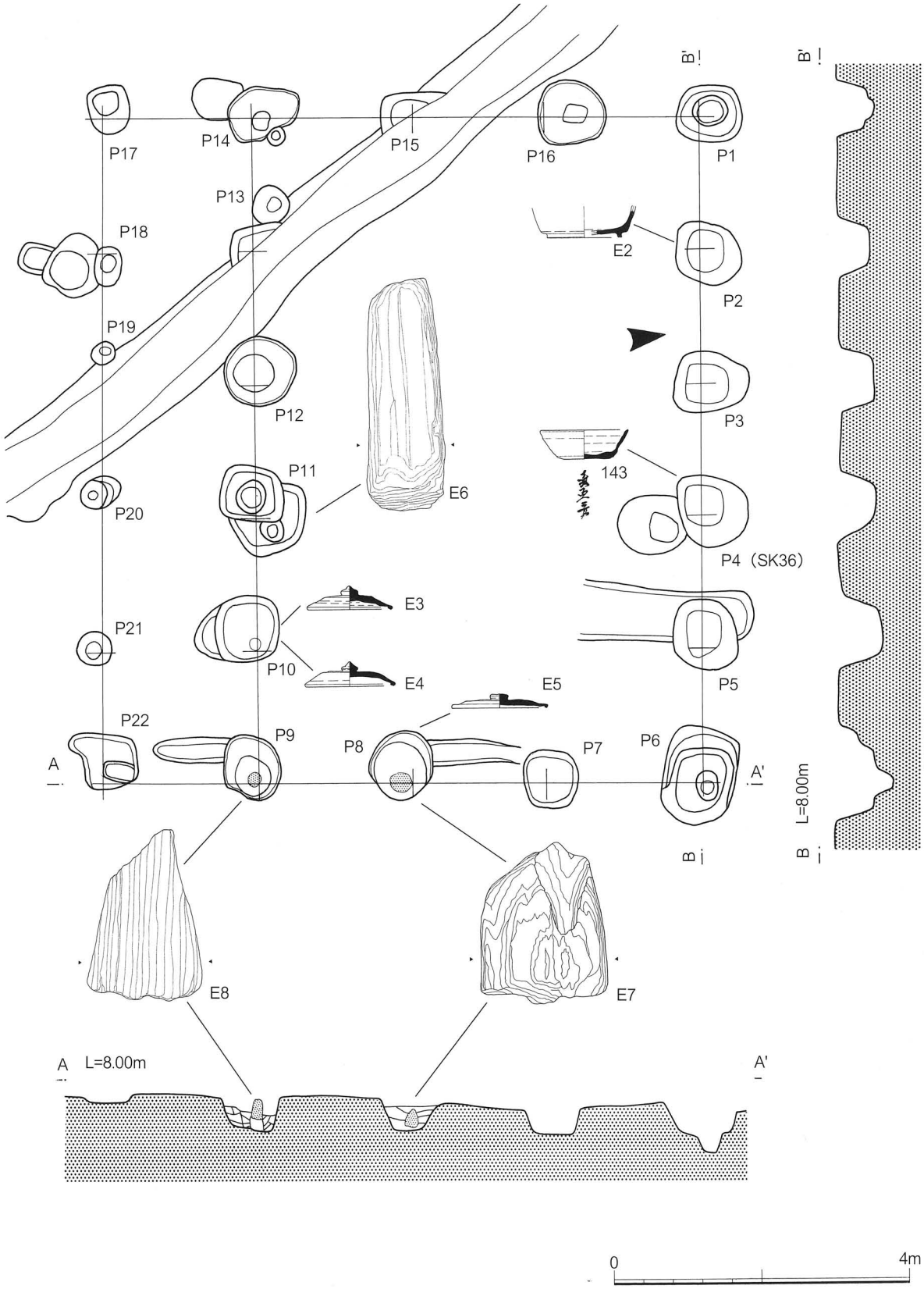
第７図　掘立柱建物（SB18、SB21）平面図（1／80）、柱穴土層断面図（1／40）、エレベーション図（1／80）
土杭（SX04）



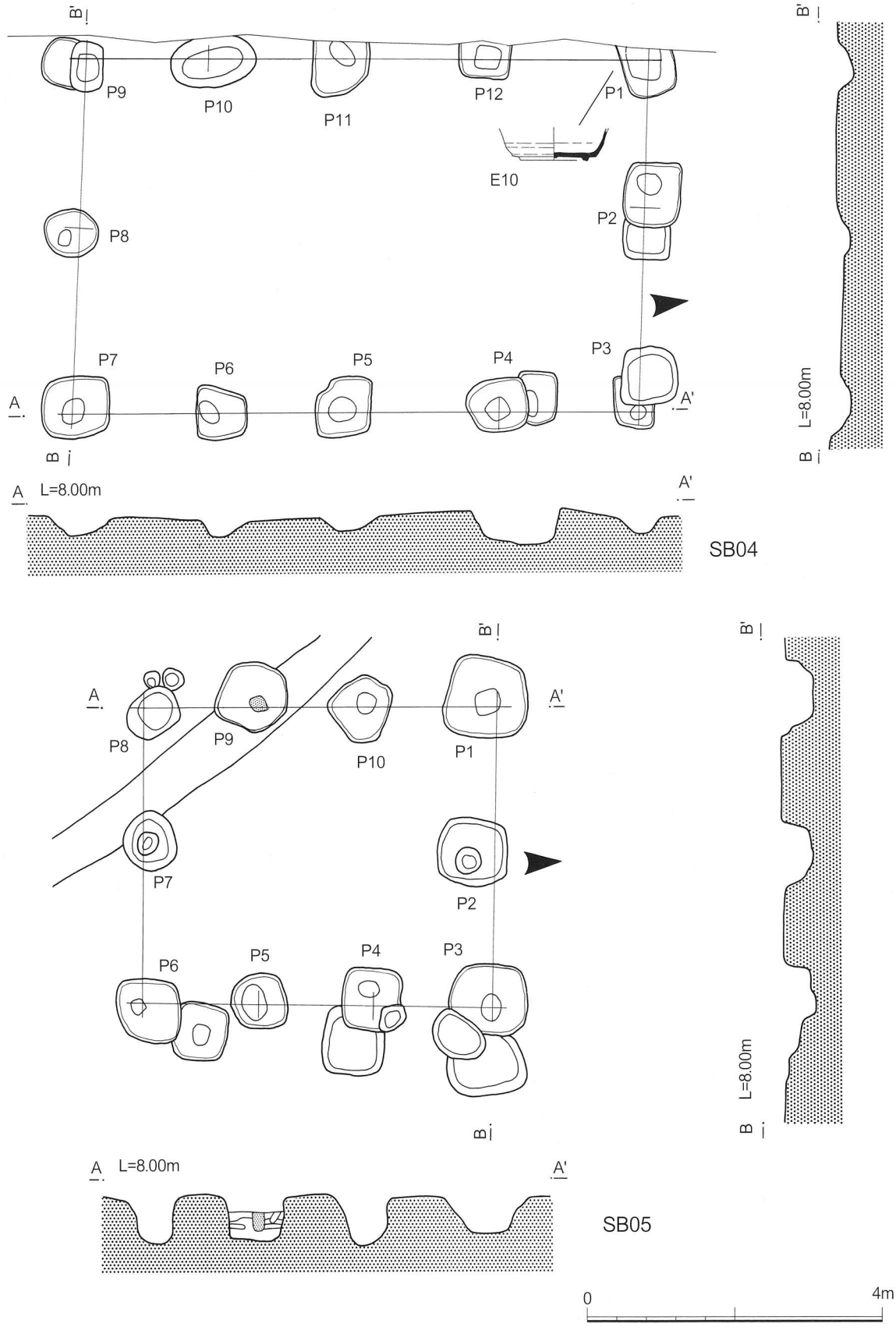
第８図　掘立柱建物（SB22、SB23、SB24）平面図、柱穴エレベーション図（1／80）



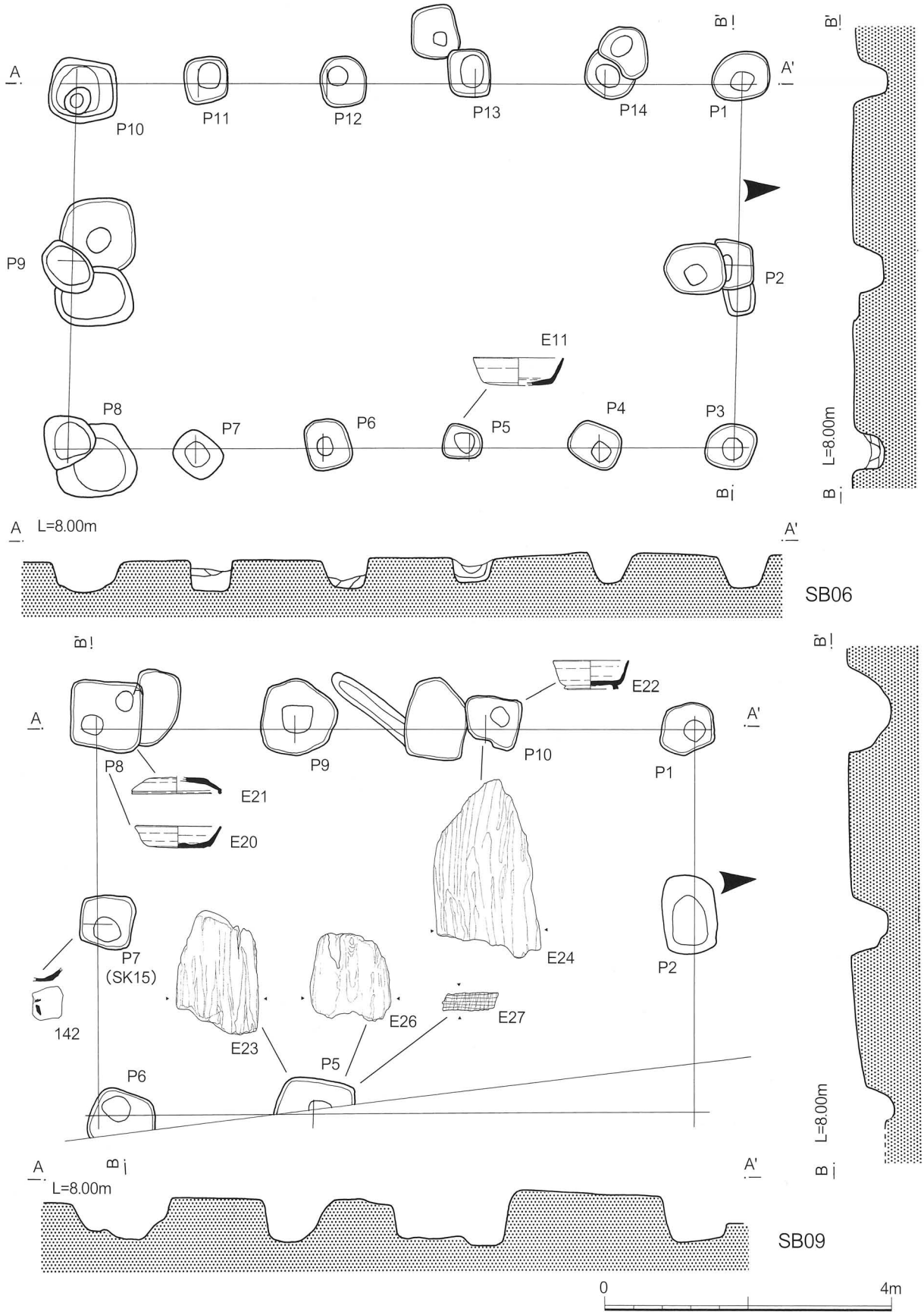
第９図　掘立柱建物（SB01、SB03）平面図、柱穴エレベーション図（1／80）



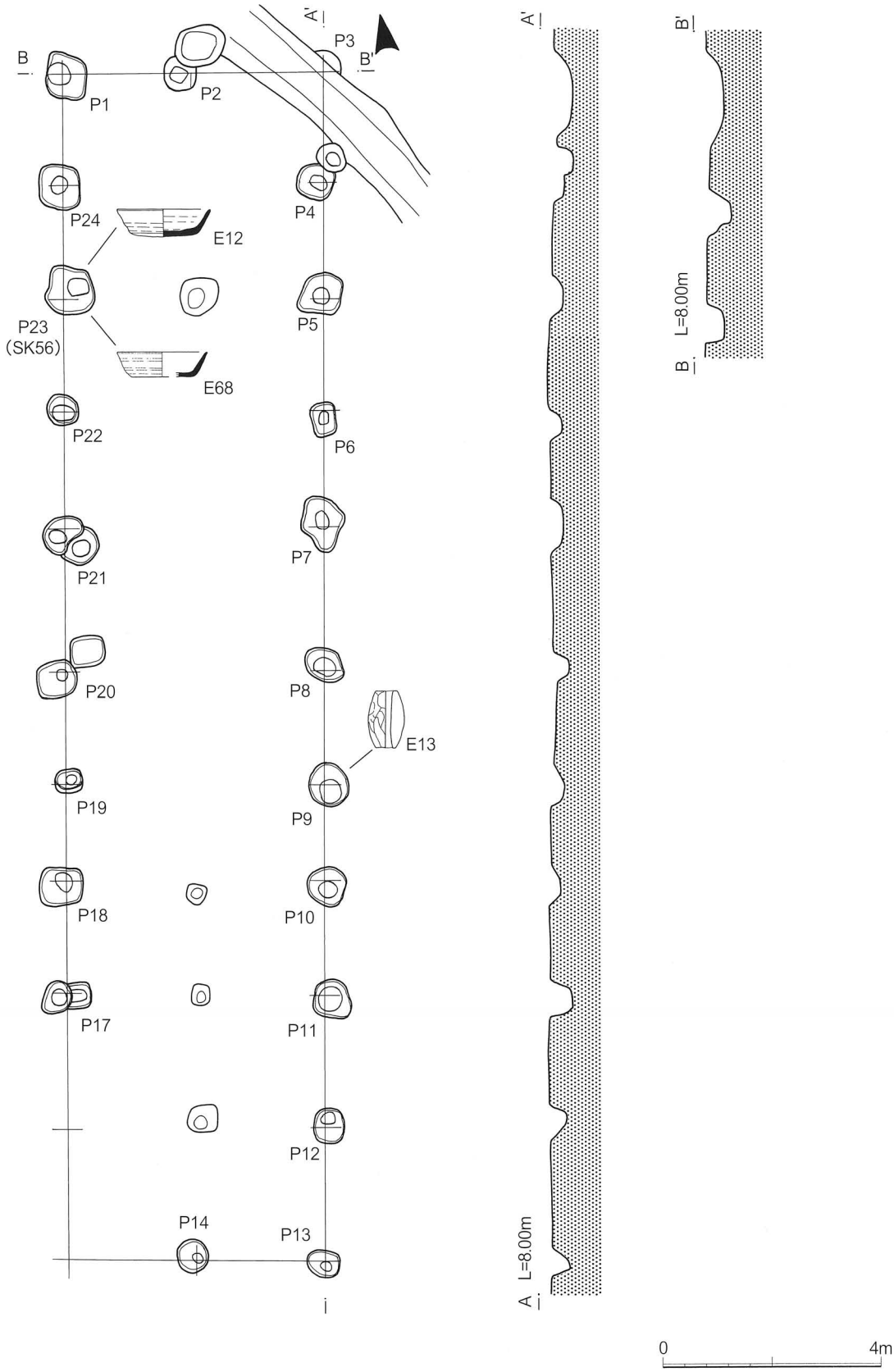
第10図　掘立柱建物（SB02）平面図、柱穴エレベーション図（1／80）



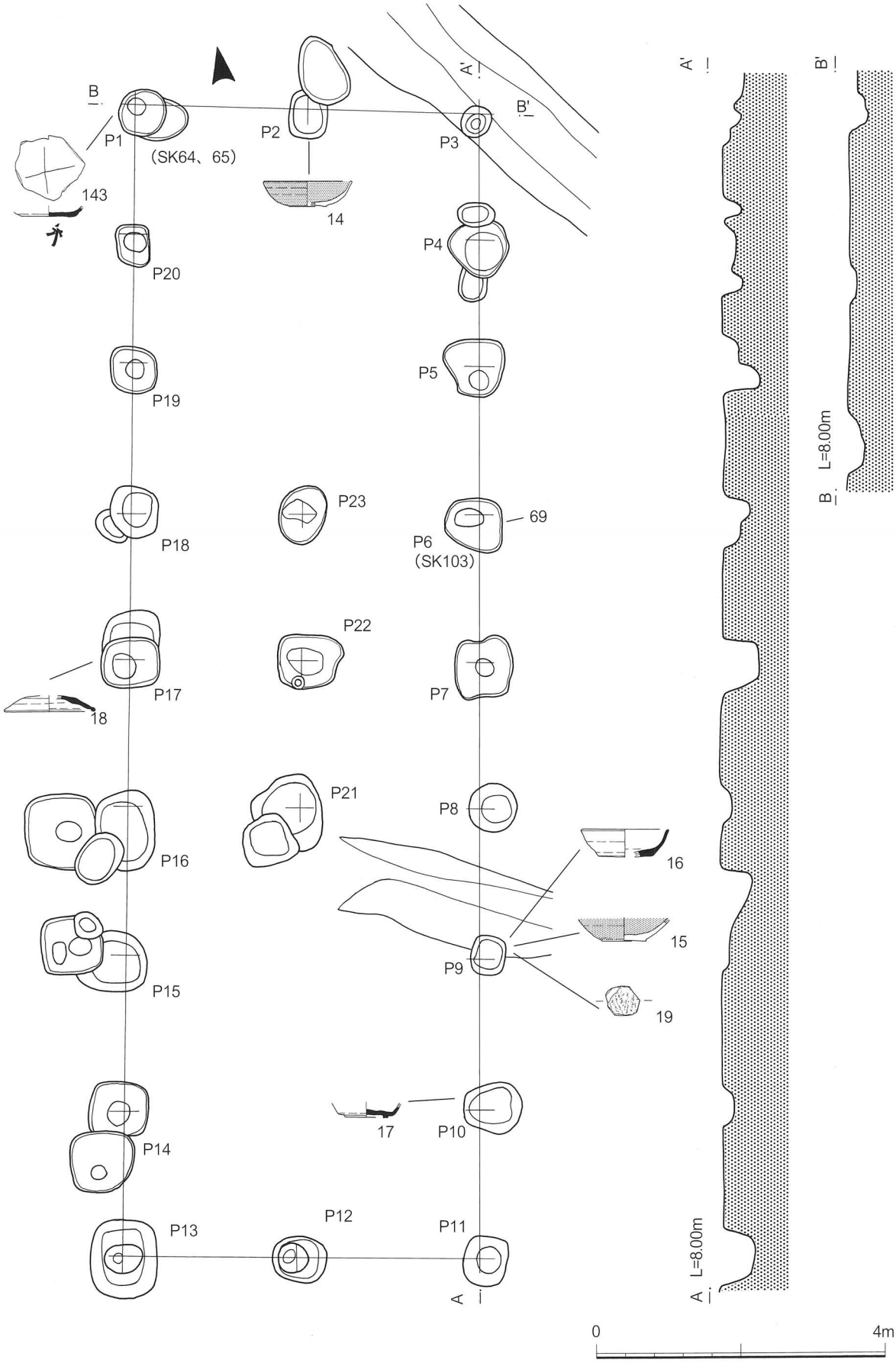
第11図　掘立柱建物（SB04、05）平面図、柱穴エレベーション図（1／80）



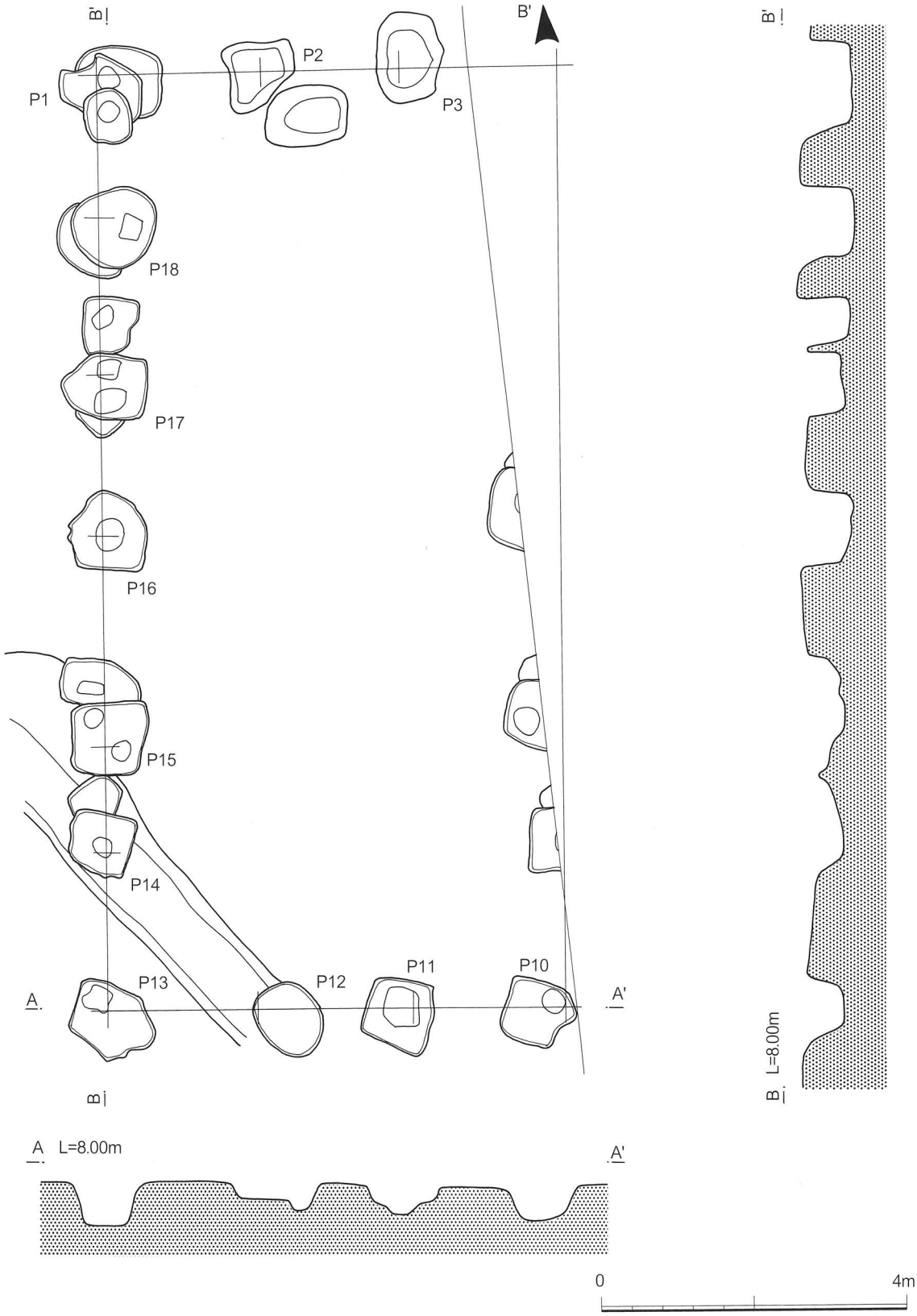
第12図　掘立柱建物（SB06、09）平面図、柱穴エレベーション図（1／80）



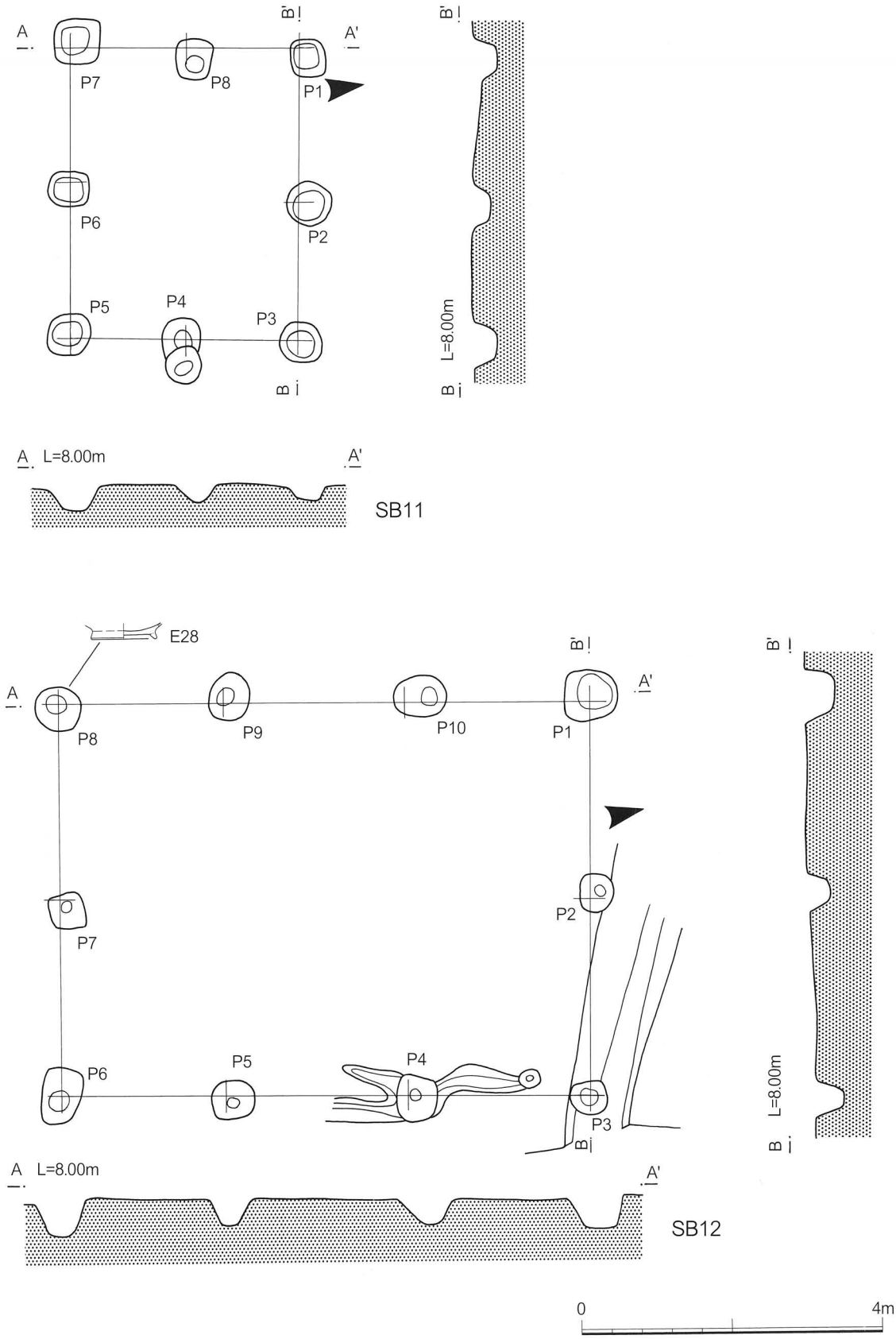
第13図　掘立柱建物（SB07）平面図、柱穴エレベーション図（1／80を70％）



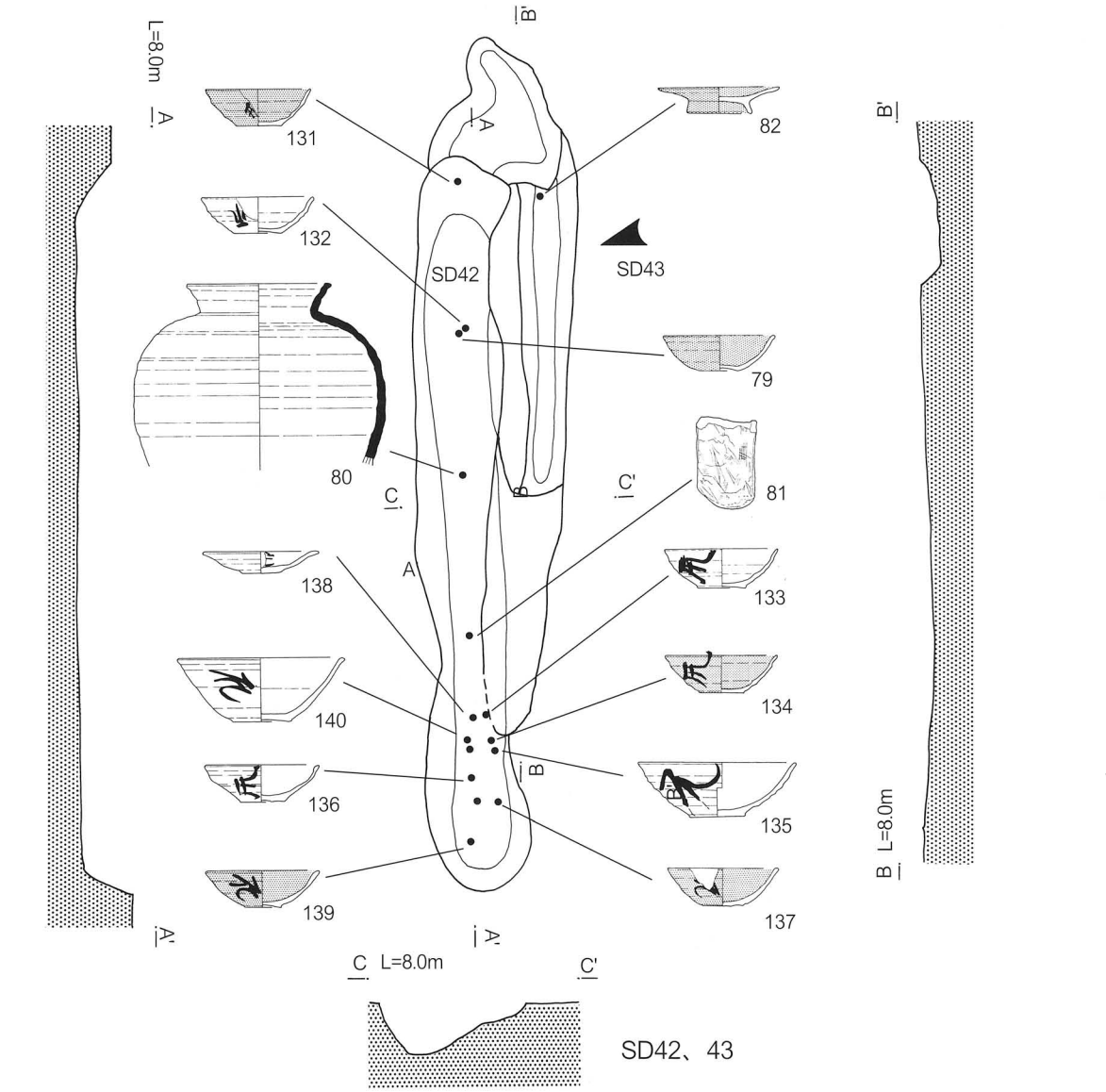
第14図　掘立柱建物（SB08）平面図・柱穴エレベーション図（1／80）

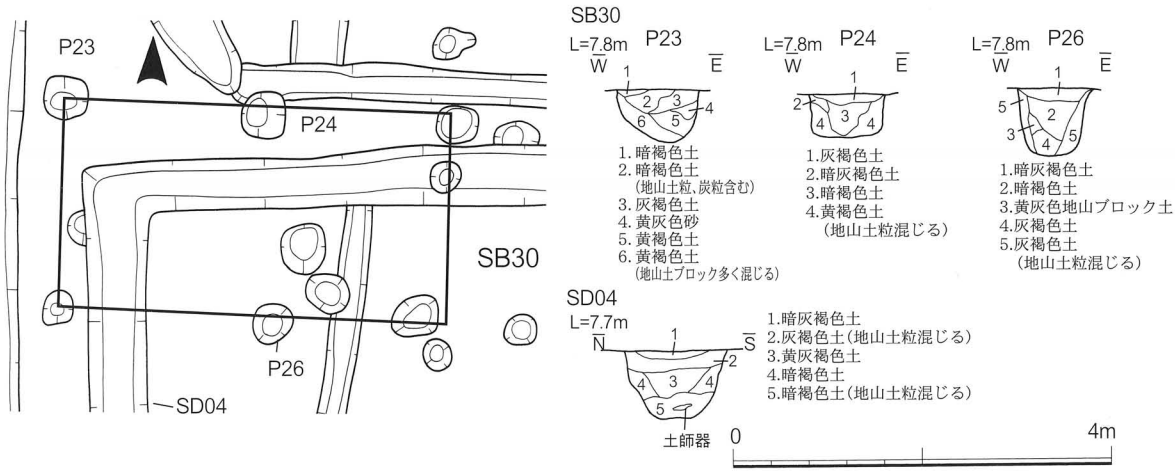


第15図　掘立柱建物（SB10）平面図・柱穴エレベーション図（1／80）

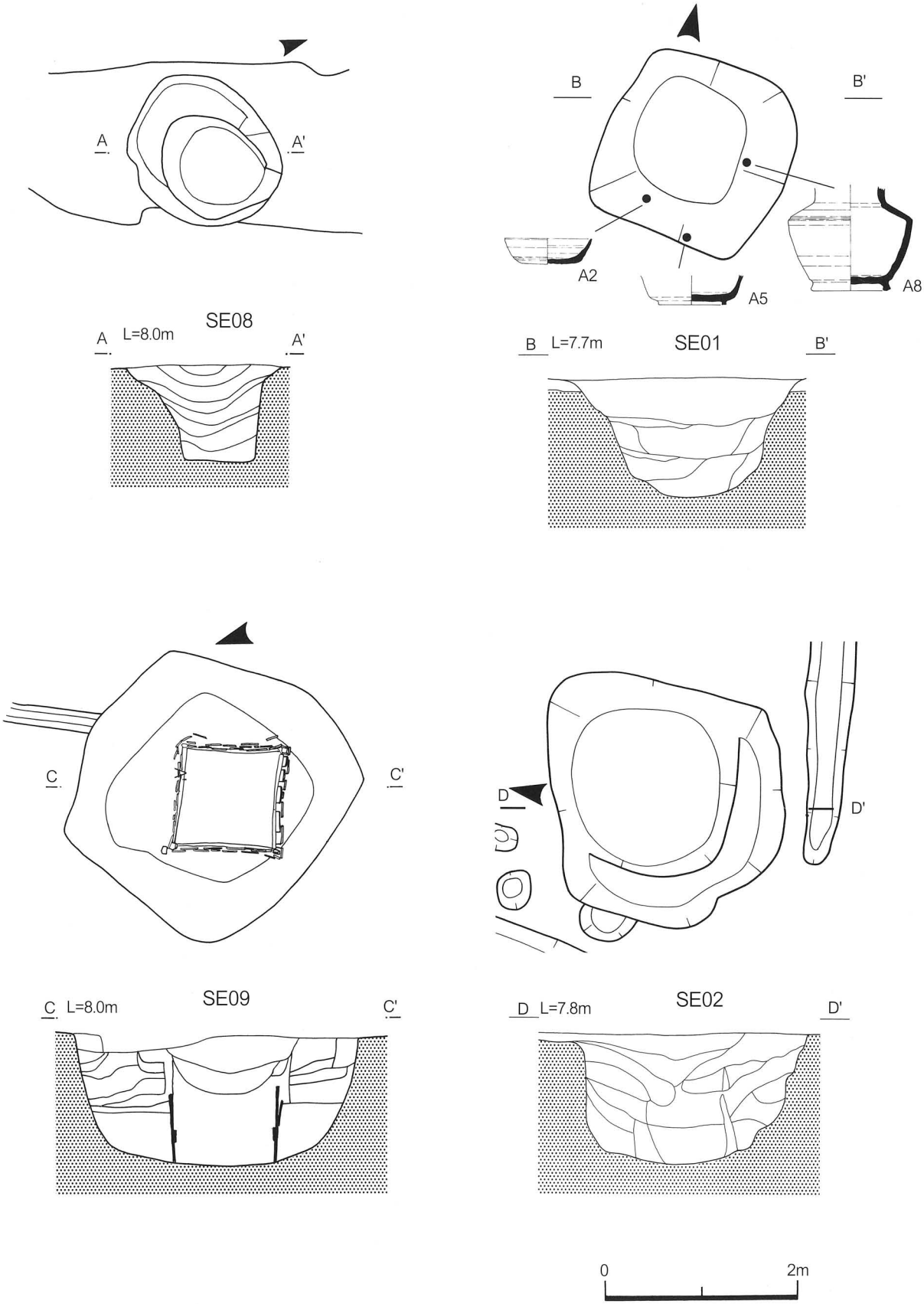


第16図　掘立柱建物（SB11、SB12）平面図・柱穴エレベーション図（1／80）

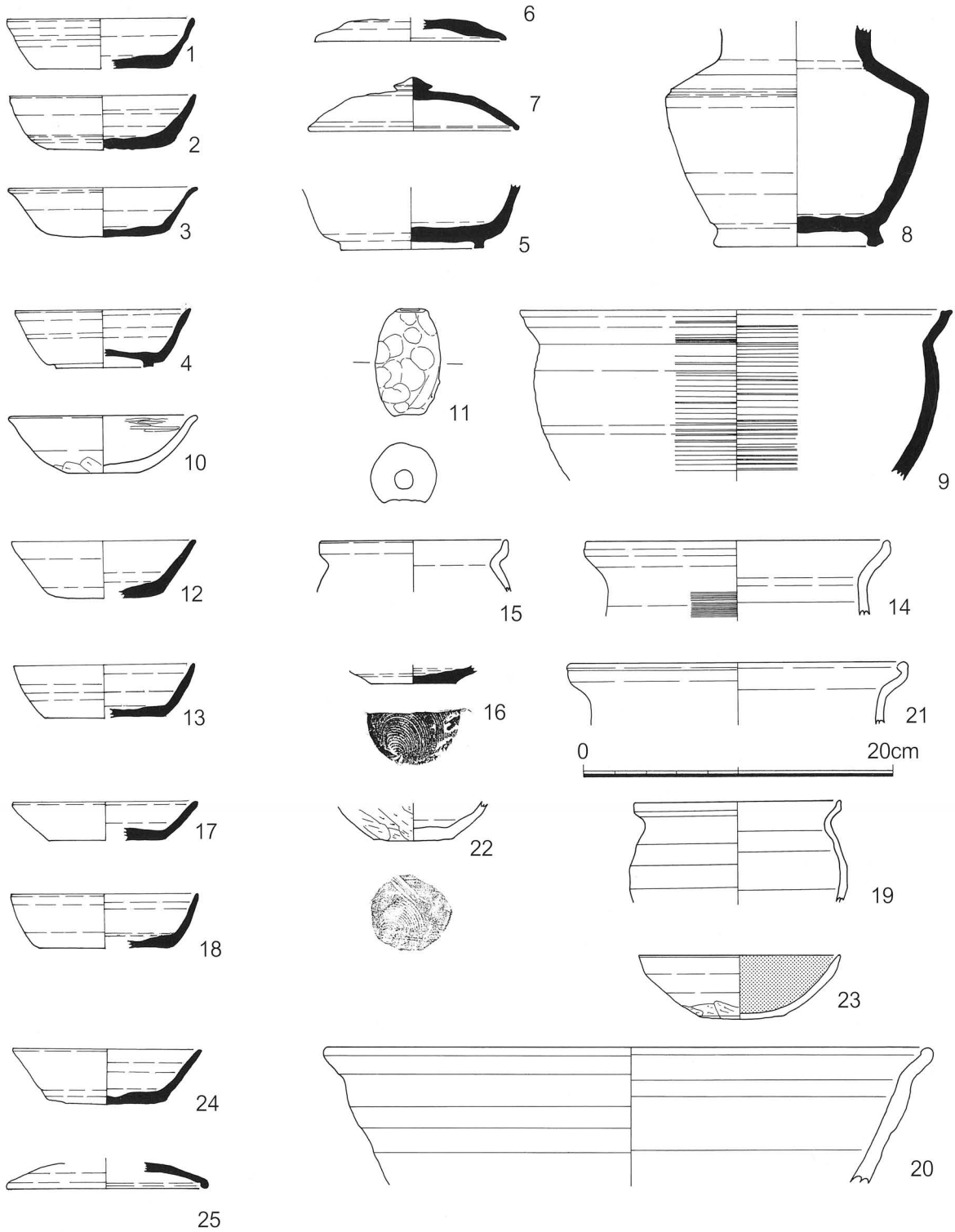




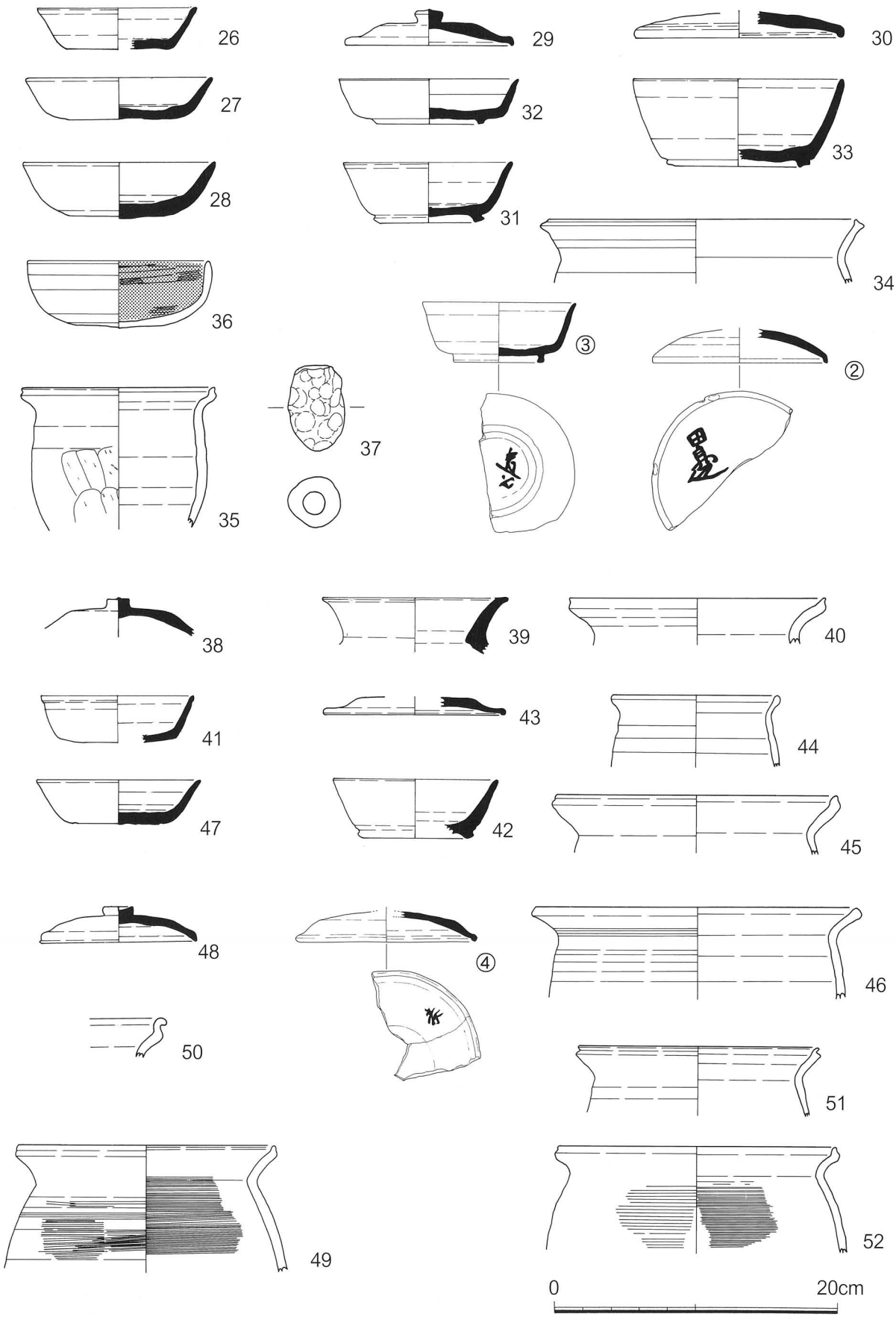
第17図　SD42・SD43遺物出土図（1／80）、掘立柱建物（SB30）柱穴・SD04土層断面図（1／40）



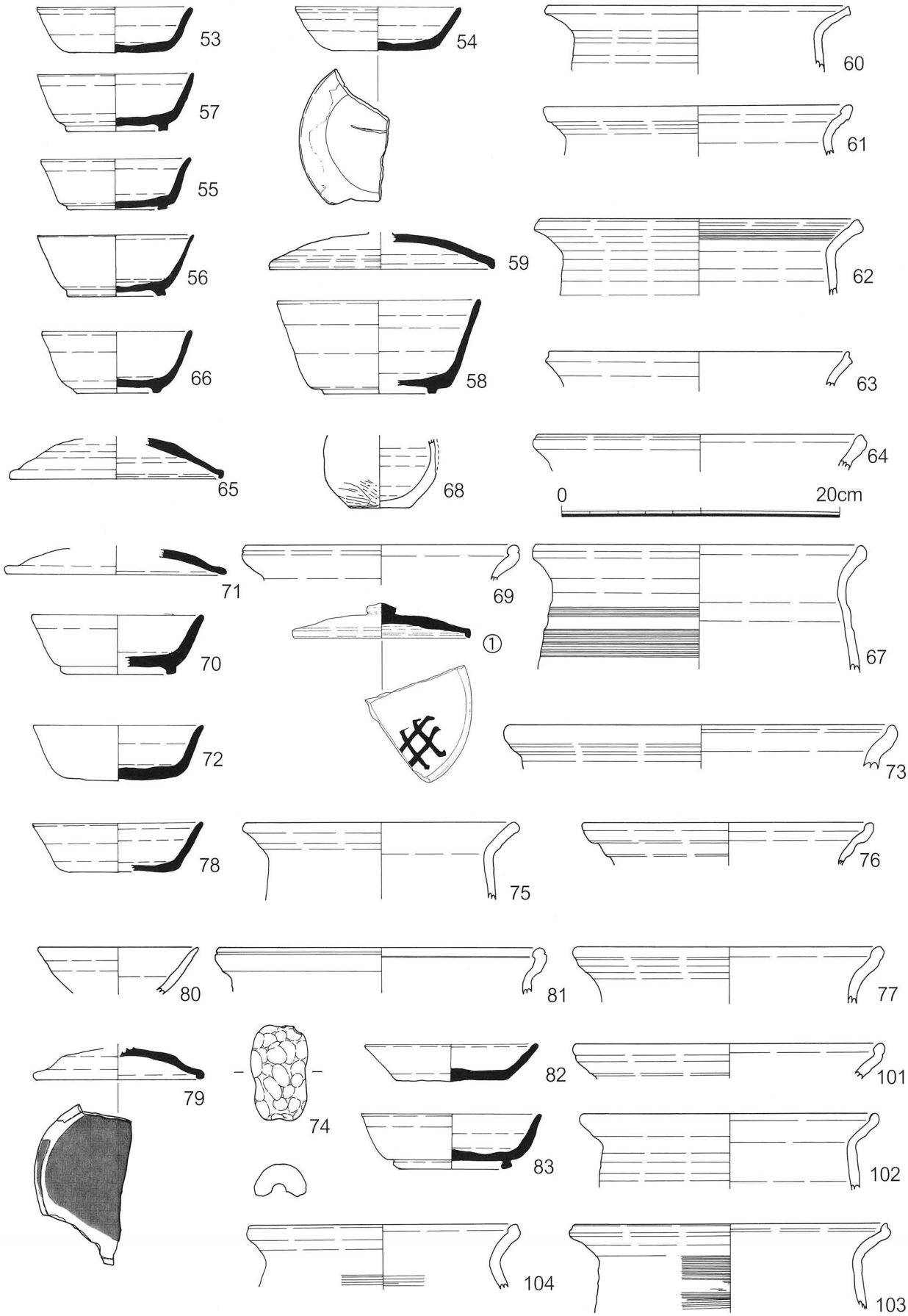
第18図　井戸（SE01、02、08、19）　平面図、土層断面図（1／60、注記なし）



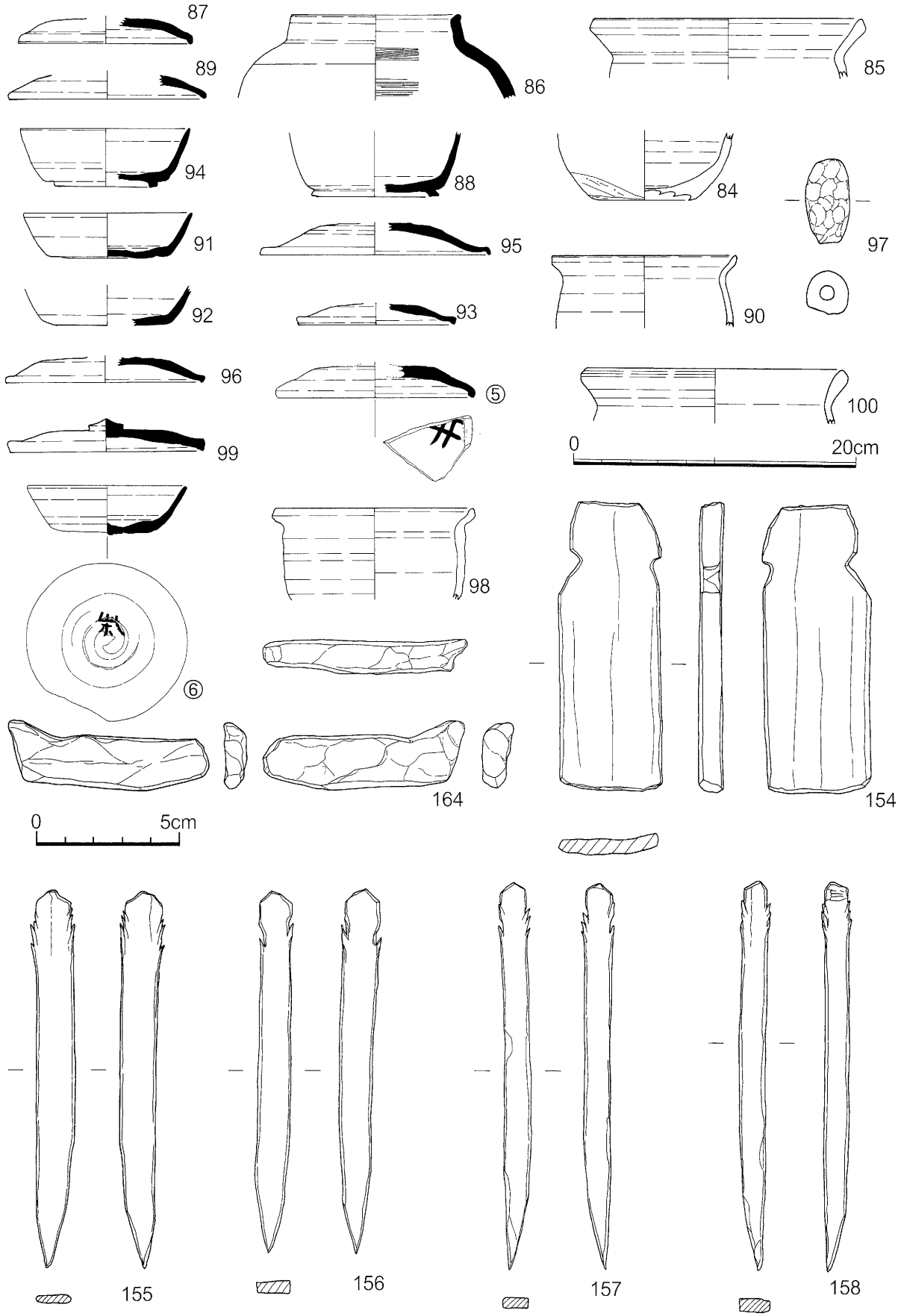
第19図　A区遺物実測図（SE01：1～11、SB13：12～25）　S＝1／4



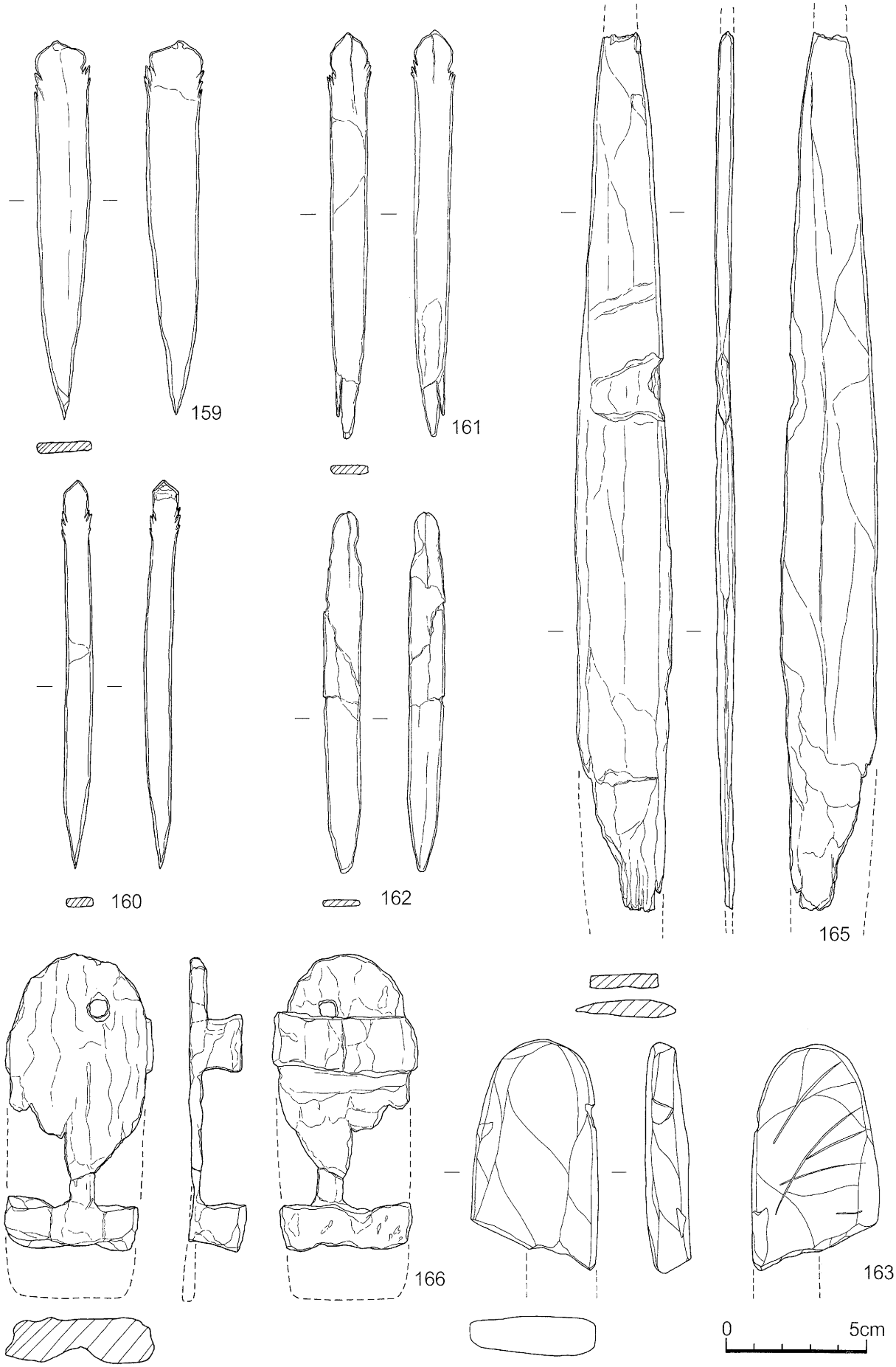
第20図　A区遺物実測図（SX01：26～37、②、③、SX04：38～40、SX06：41、SX07：42～45、SX09：46
SX11：47、SX15：48、SX18：49、SX19：50、SX20：51、SX21：52、④）



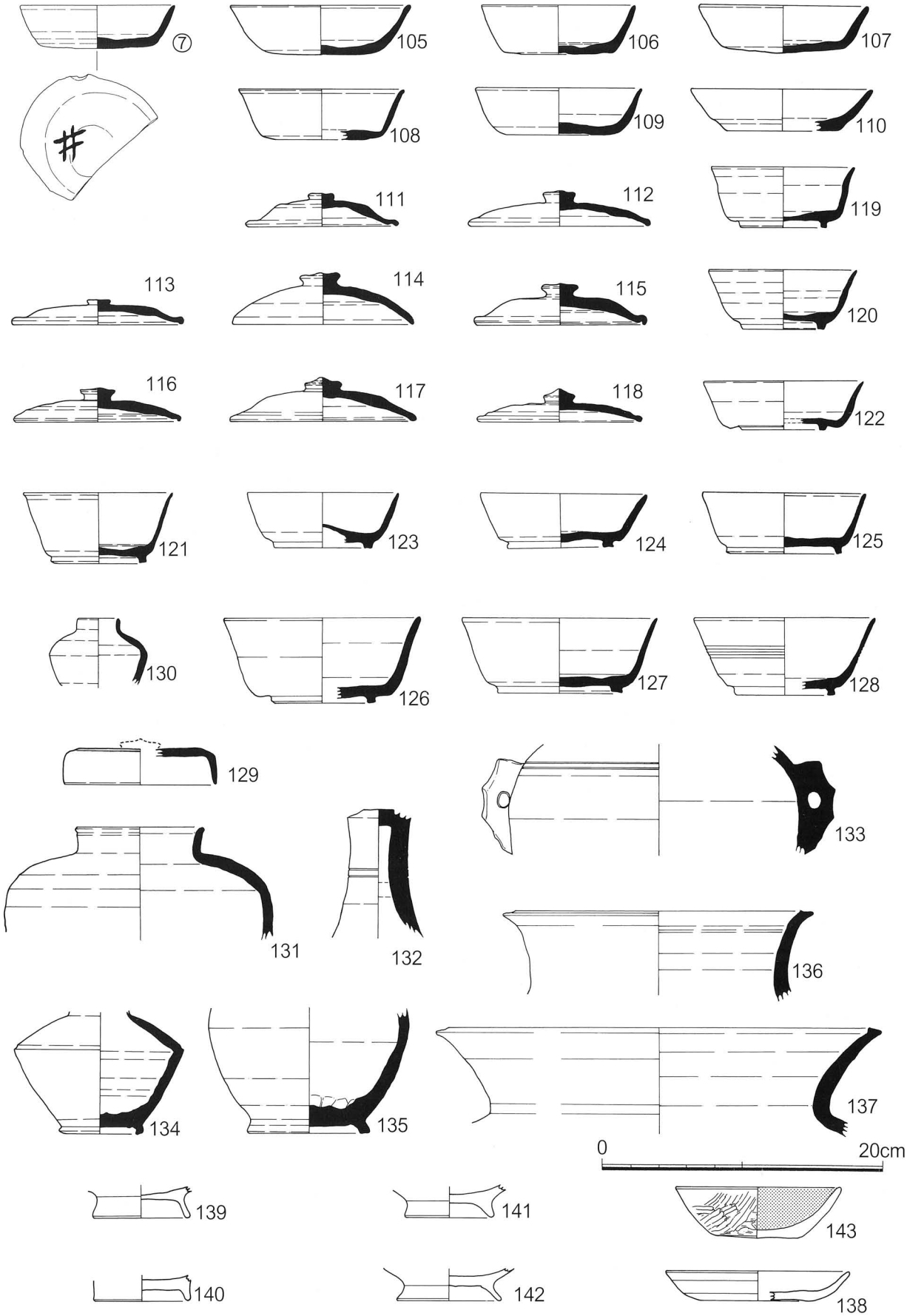
第21図　A区遺物実測図（SD02：53～62、SD16：63、SD04：64、SD05：65～68、SD06：69～71、SD07：72、73、SD09：74、SD10：75、SD11：76、77、SD12：78、SD20：79～81、SD22：82、SD23：83、①、包含層：101～104）



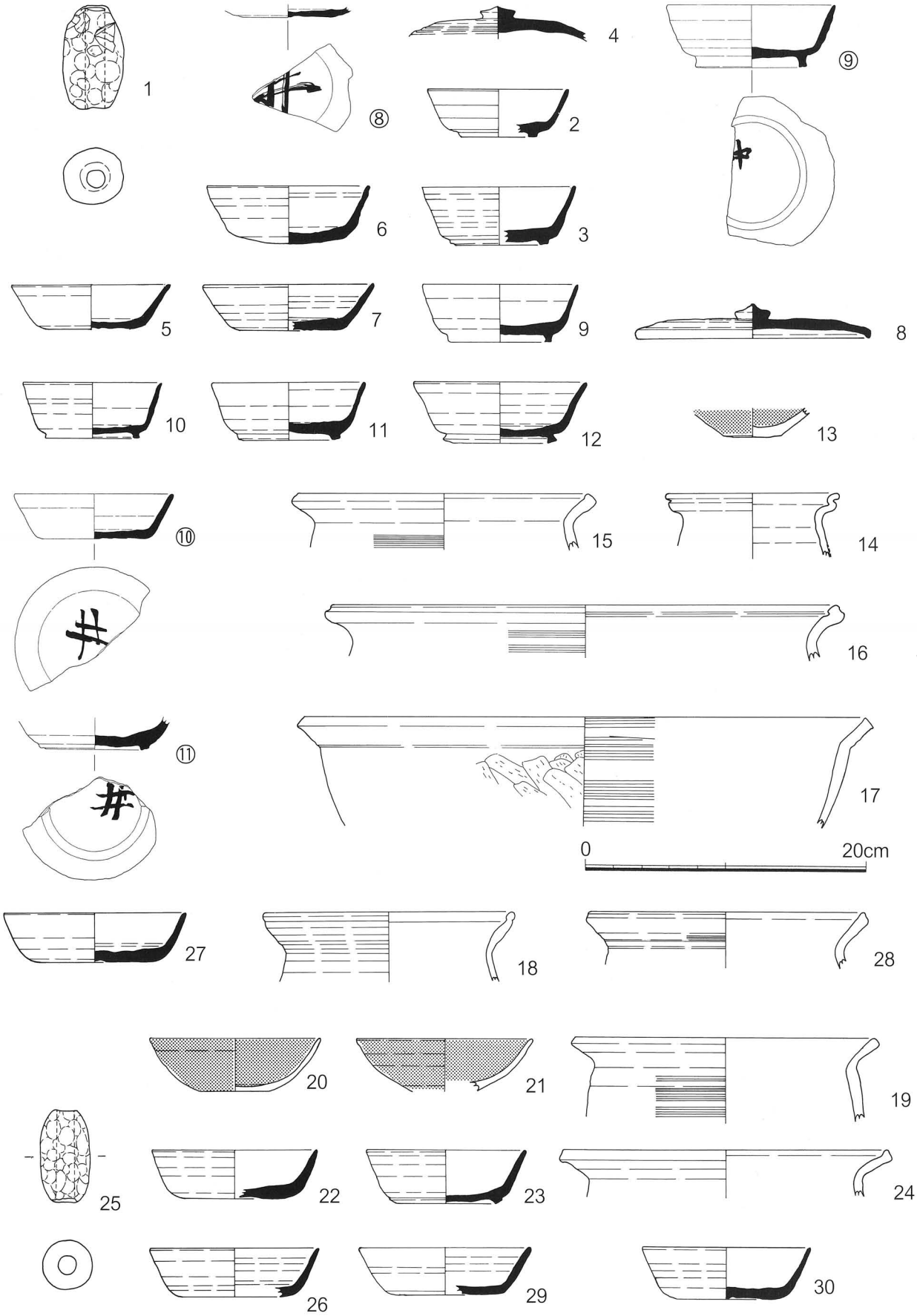
第22図　A区遺物実測図（P16：84、P20：⑤、P34：85、⑥、P83：86、SB14：87、88、SB15：89、SB16；90、91、SB17：92、93、P105：94、P118：95、P150：96、P160：97 P167：98、P169：99、P175：100、SE01：154～158、164）
SE01はS＝1／2、その他はS＝1／4



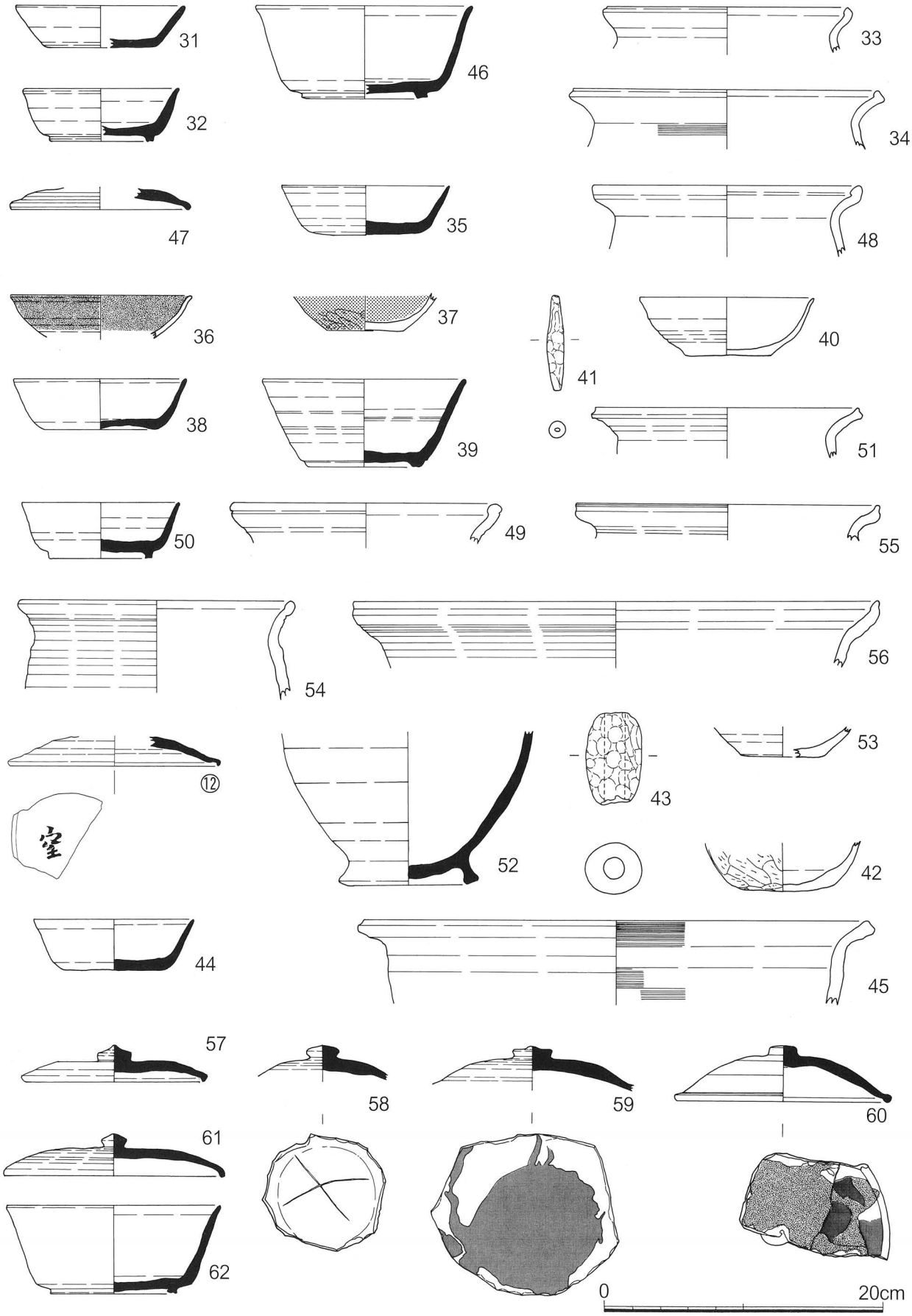
第23図　A区遺物実測図（SE01：159～163、165、166）S＝1／2



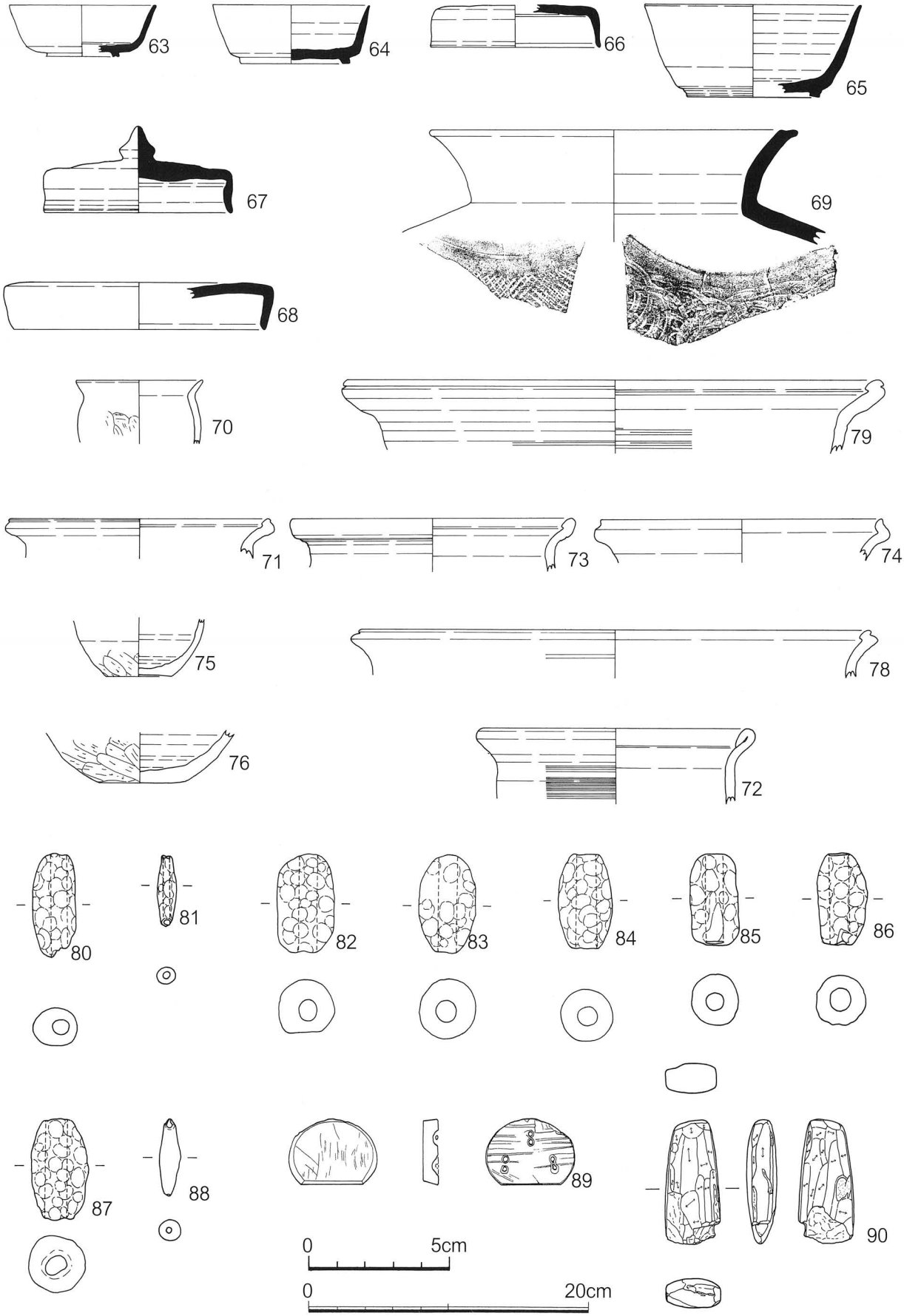
第24図　A区遺物実測図（包含層）S＝1／4



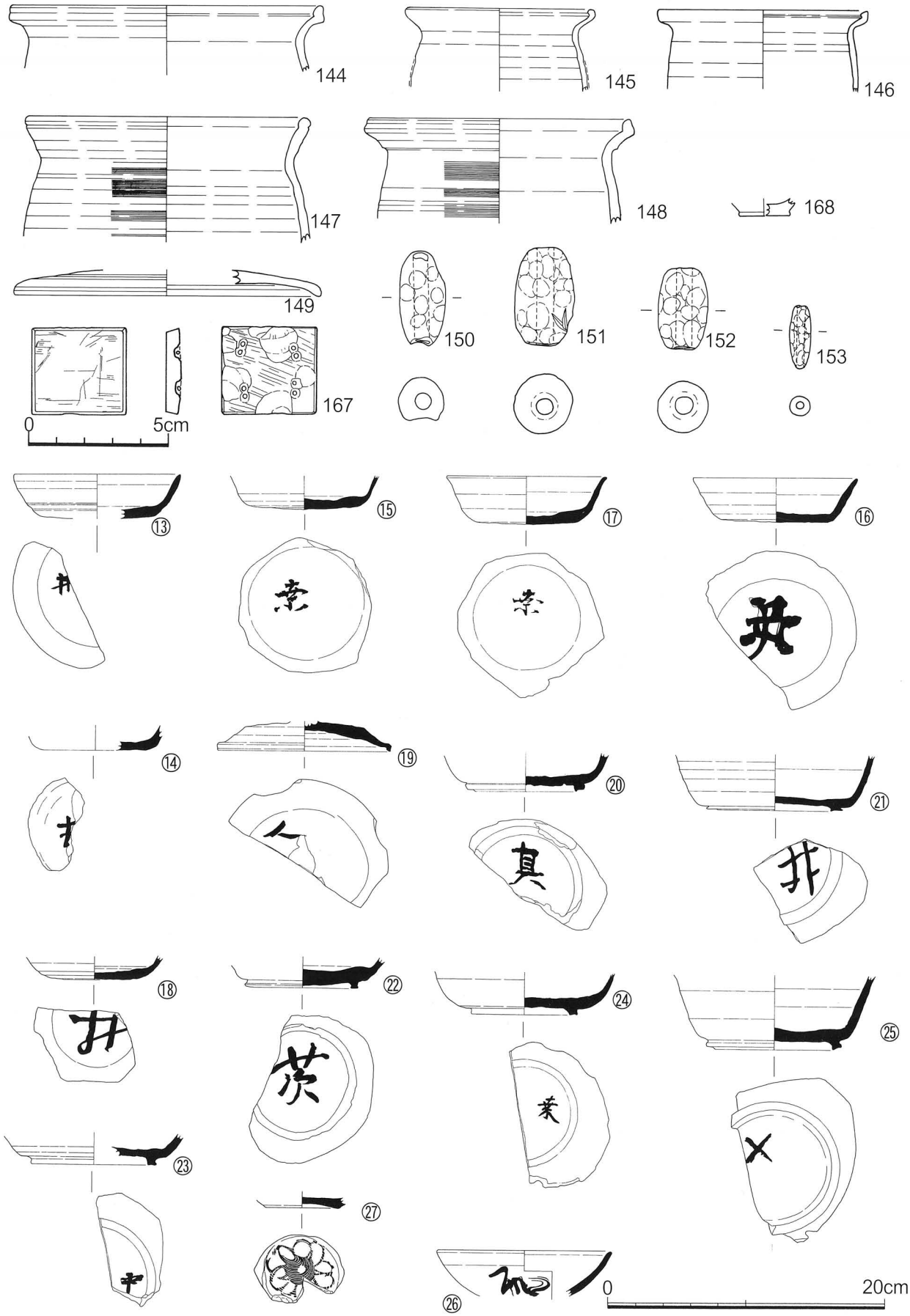
第25図　B区遺物実測図（SK05：1、SD01：2～4、⑧、SD08：5～17、⑨、SD13：18、SD14：19、SD15：20、21、SD16：22～25、SD17：26、SD18：27、⑪、SD19：28、SD21：29、SD24：30、SD26：⑩）S＝1／4



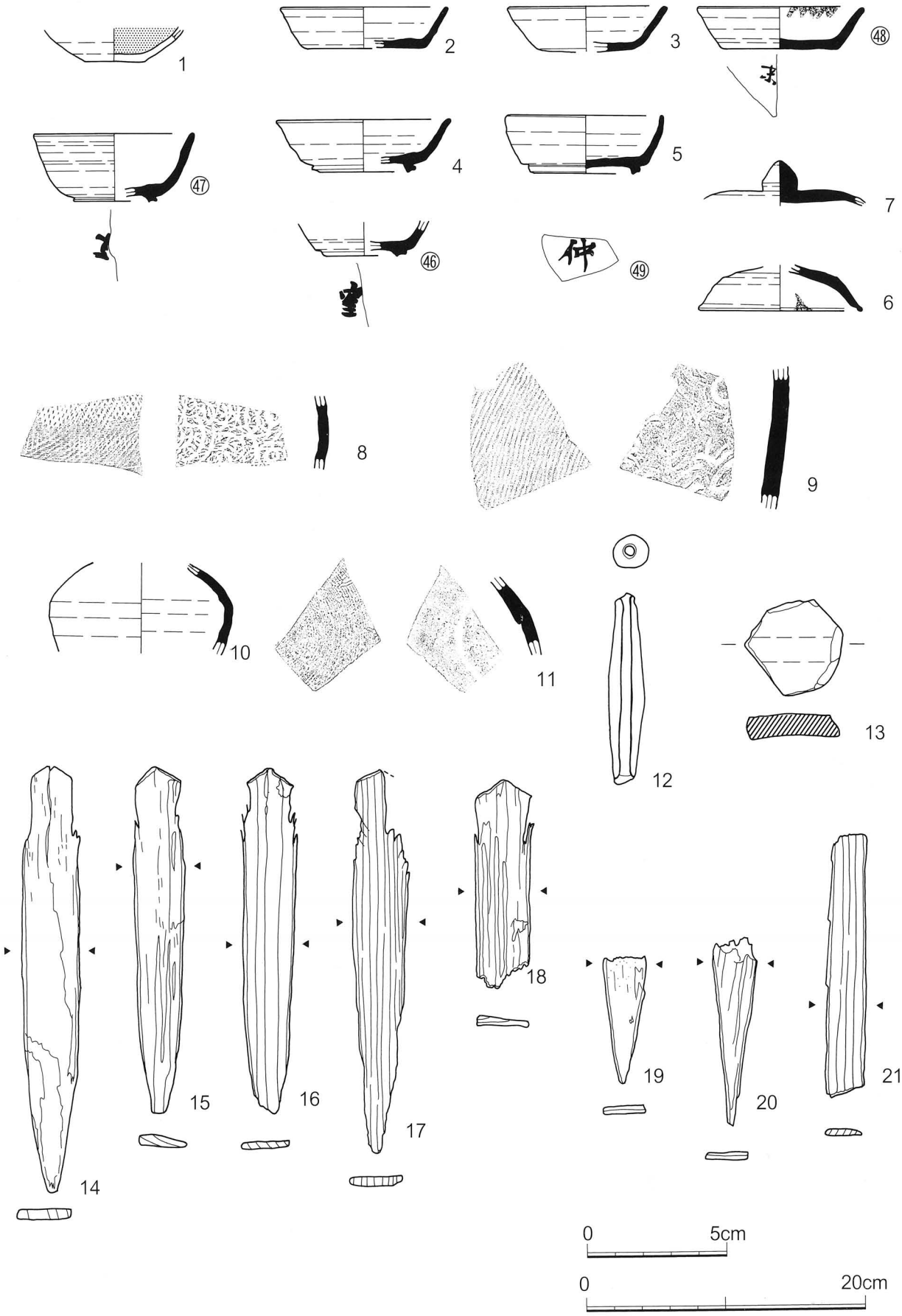
第26図　B区遺物実測図（SD25：31、32、SD31：33、34、SD37：35、SX02：36、37、SX03：38～41
SX05：42、43、SB19：44、SB18：45、SB14：52、包含層：46～62⑫）S＝1／4



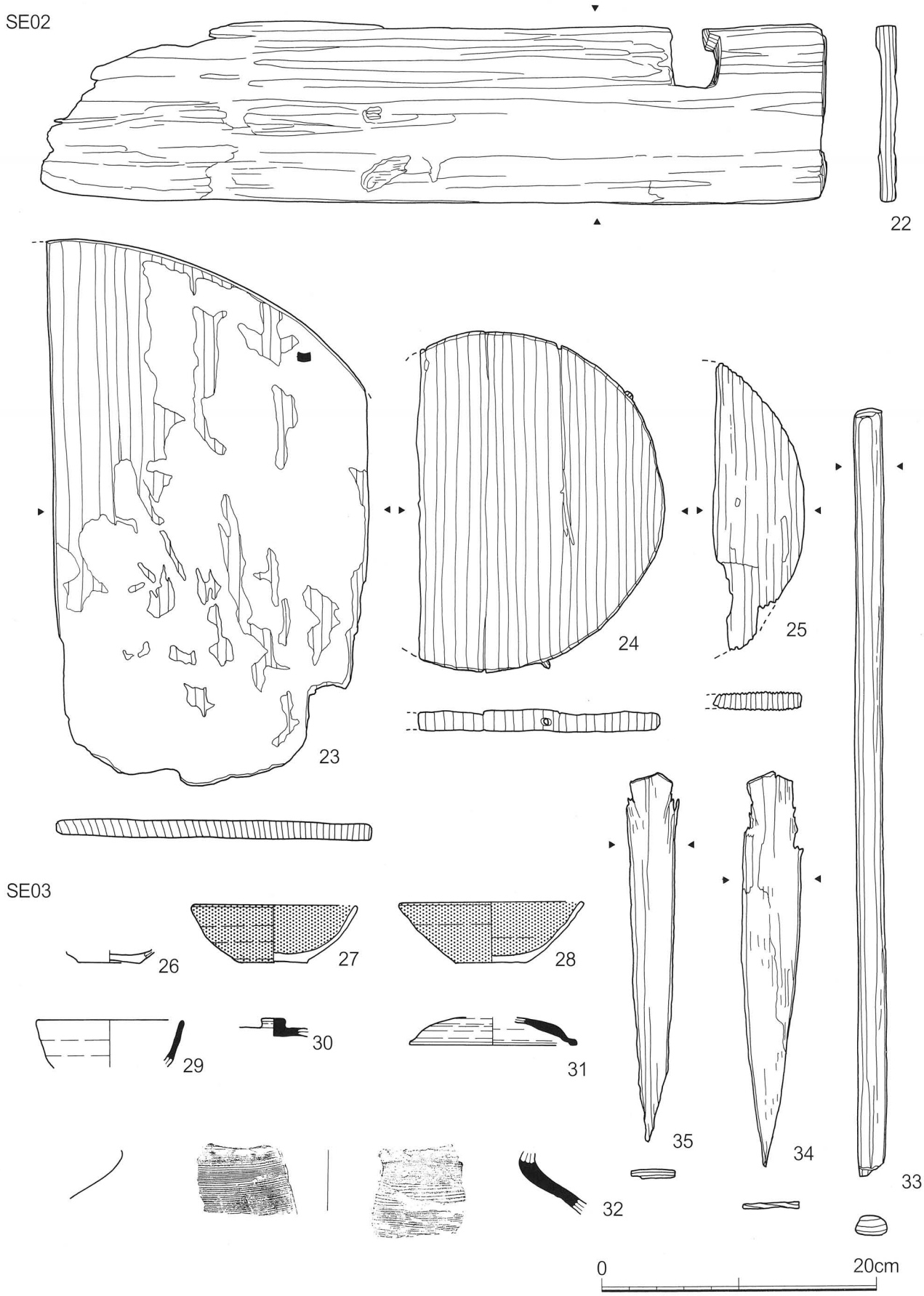
第27図　B区遺物実測図（包含層）　89：S＝1／2、その他：S＝1／4



第28図　A区遺物実測図（包含層、167：S＝1／2　144～153、168：S＝1／4）
B区墨書土器実測図（包含層　S＝1／4）

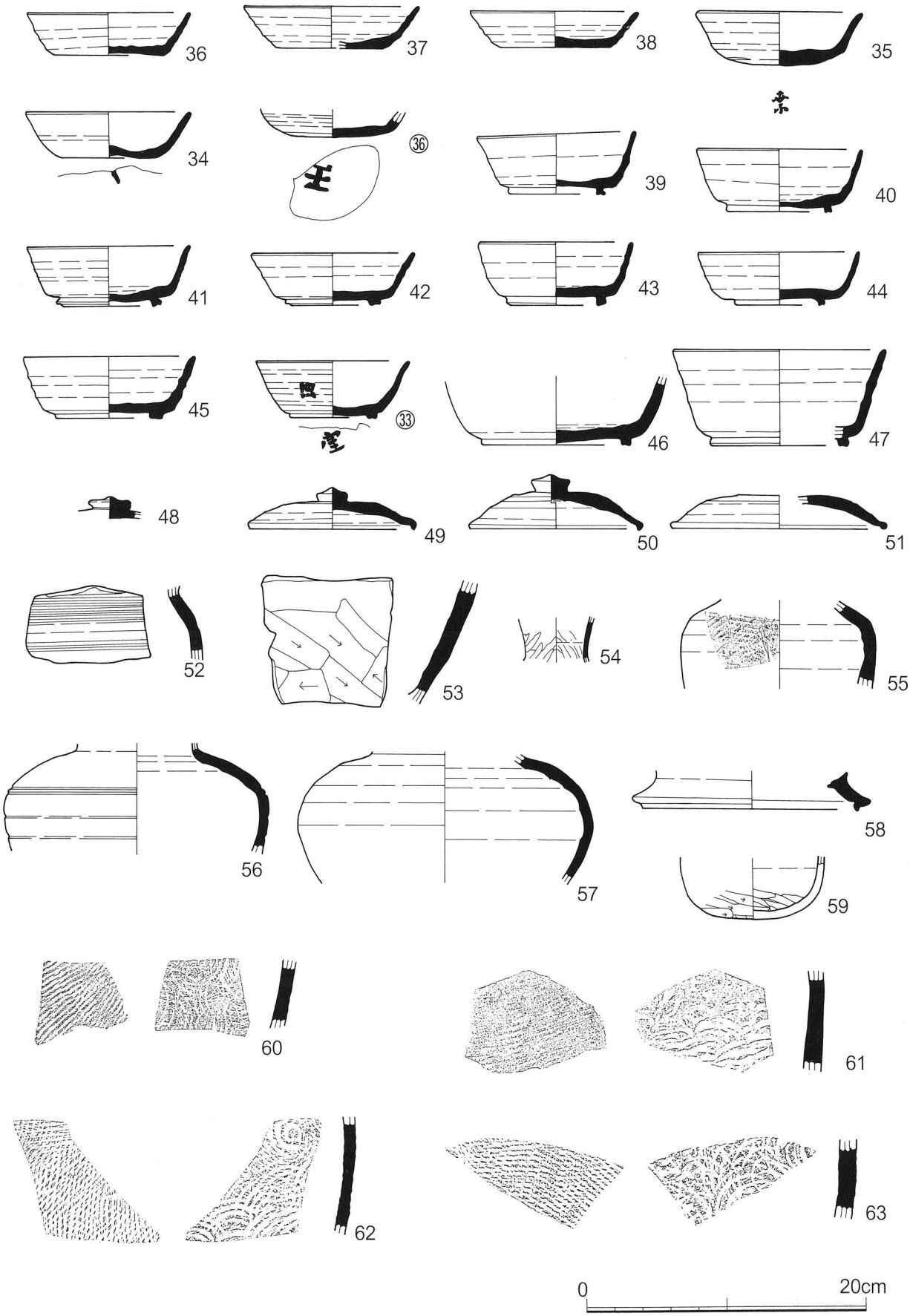


第29図　C区遺物実測図（SE02）12～21：S＝1／2、その他S＝1／4

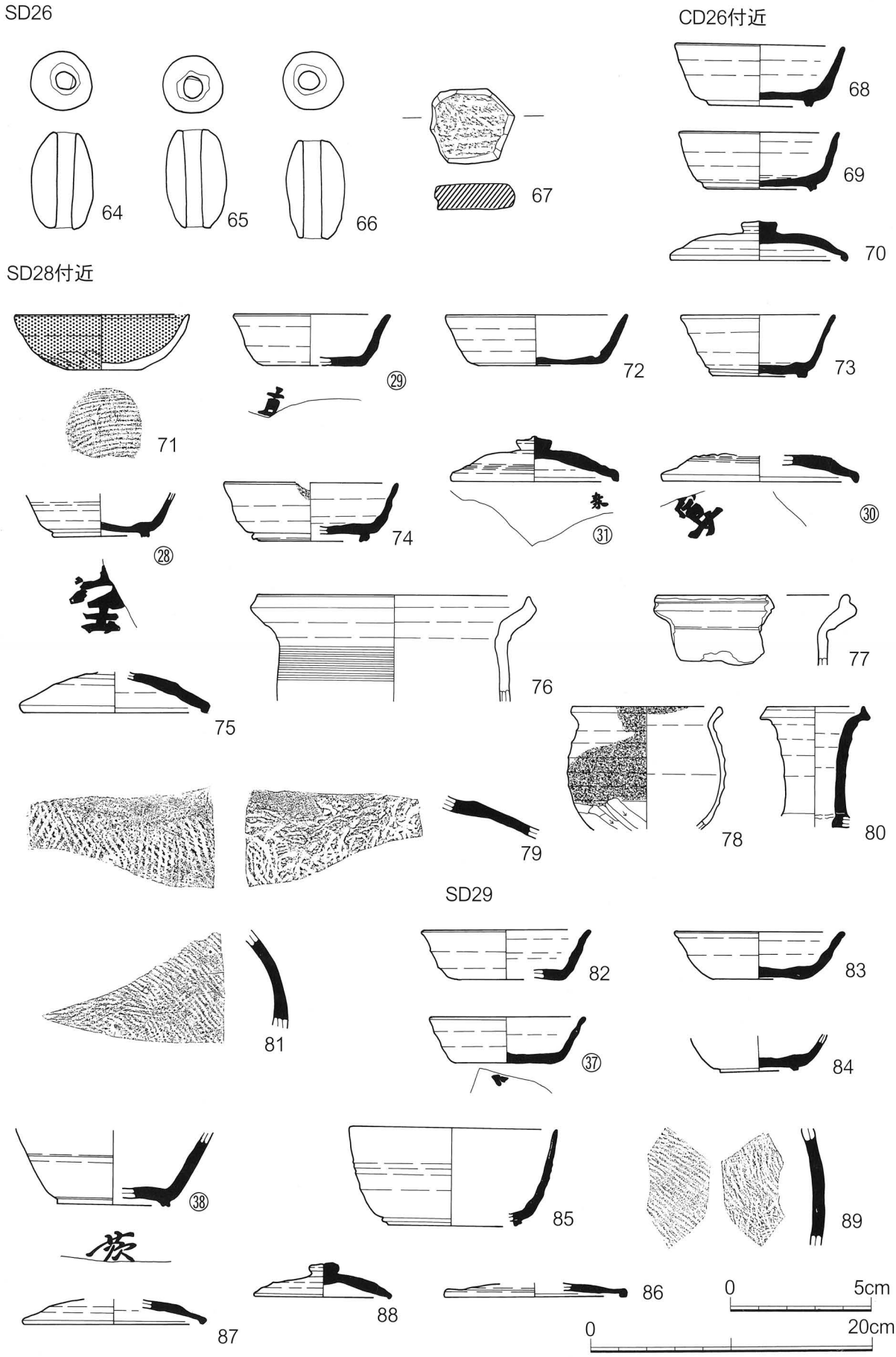


第30図　C区遺物実測図（SE02：22～25、SE03：26～35）24、25、33～35：S＝1／2、その他S＝1／4

SD26

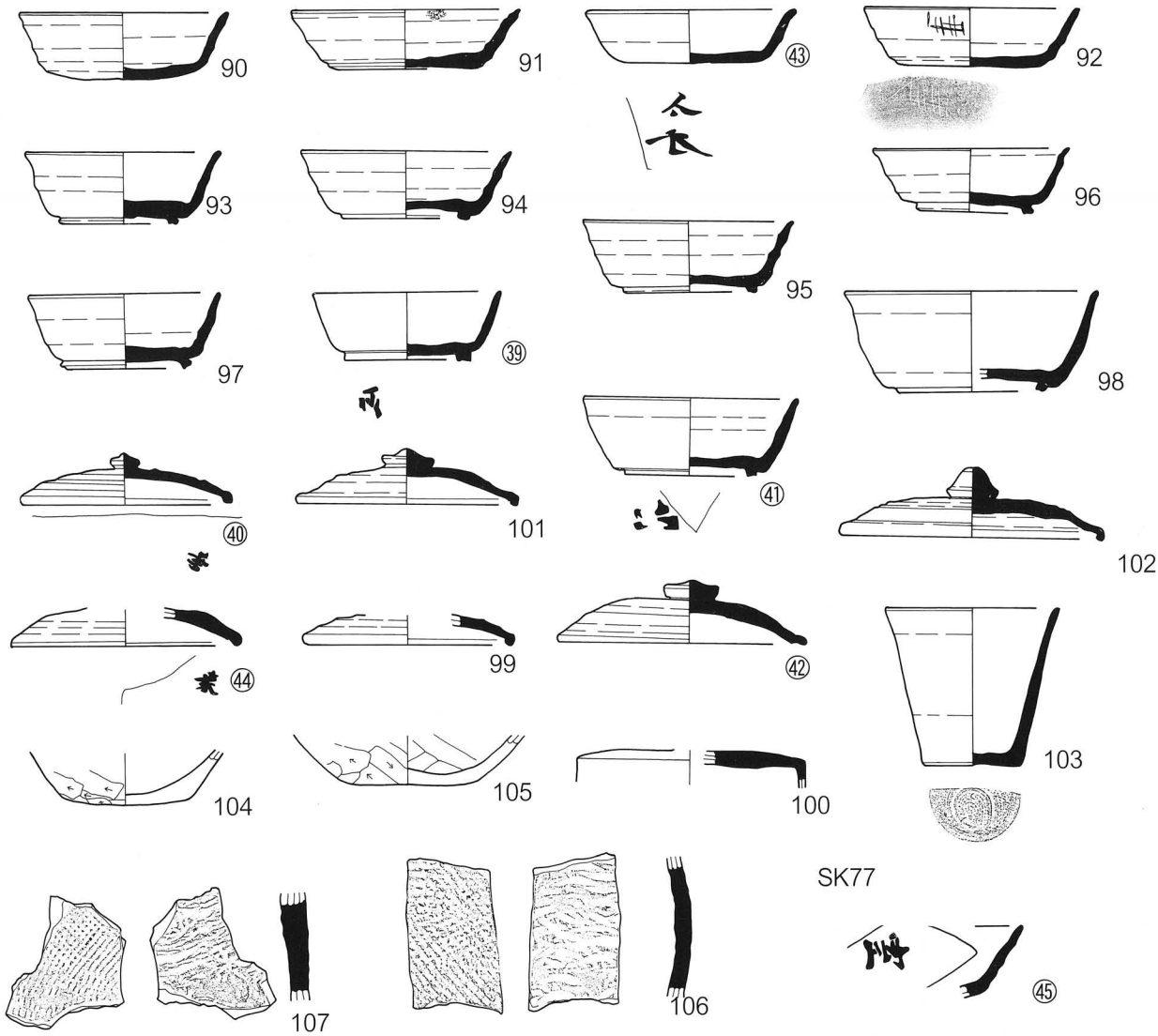


第31図　C区遺物実測図（SD26）S＝1／4

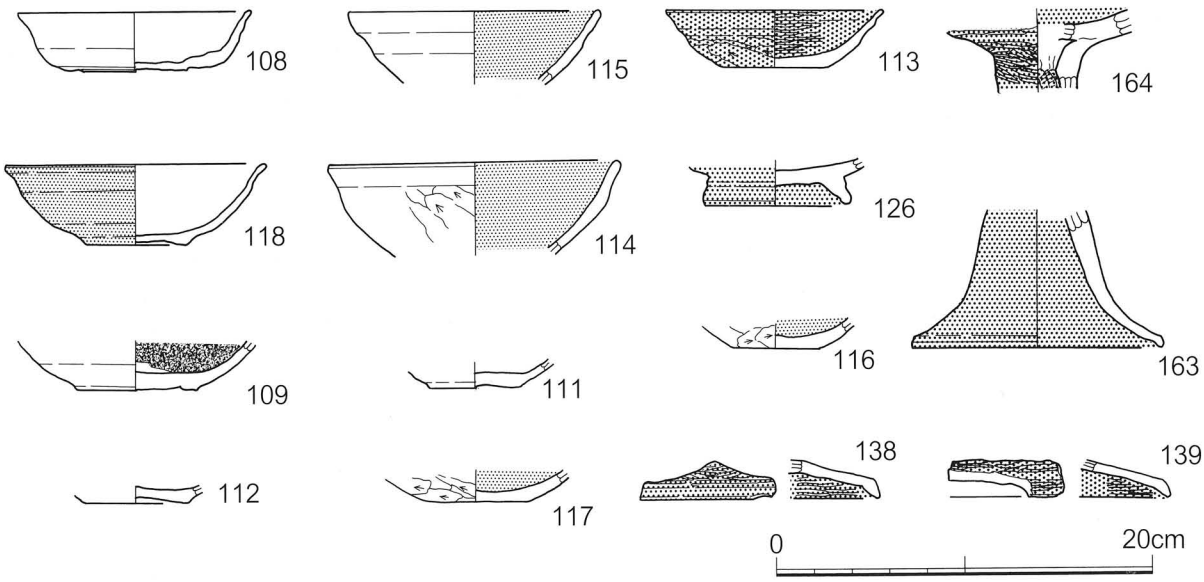


第32図　C区遺物実測図（SD26：64～67、SD26付近：68～70、SD28付近：71～81、㉘～㉛、SD29：82～89、㊲、㊳）67：S＝1／2、その他S＝1／4

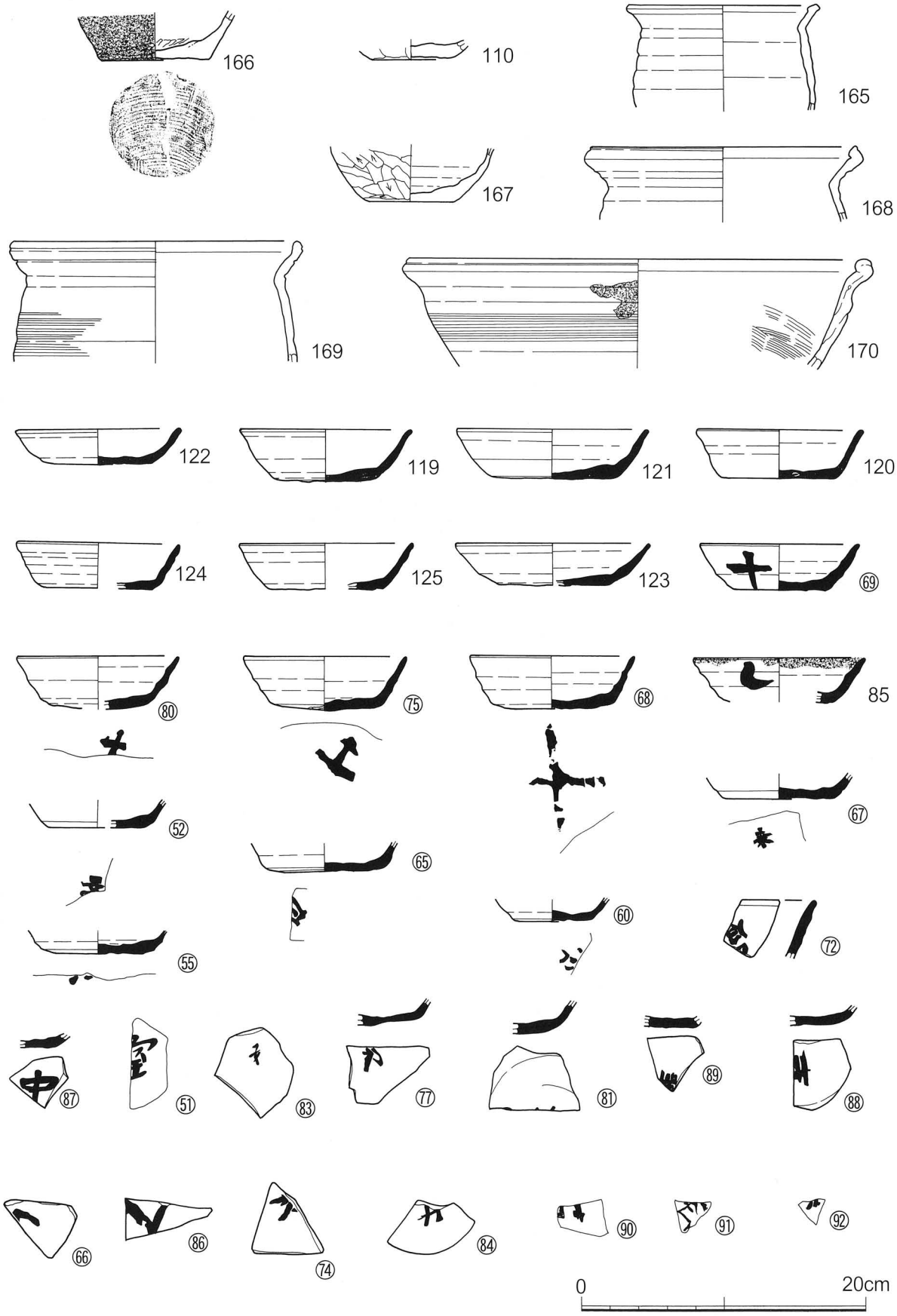
SD29付近



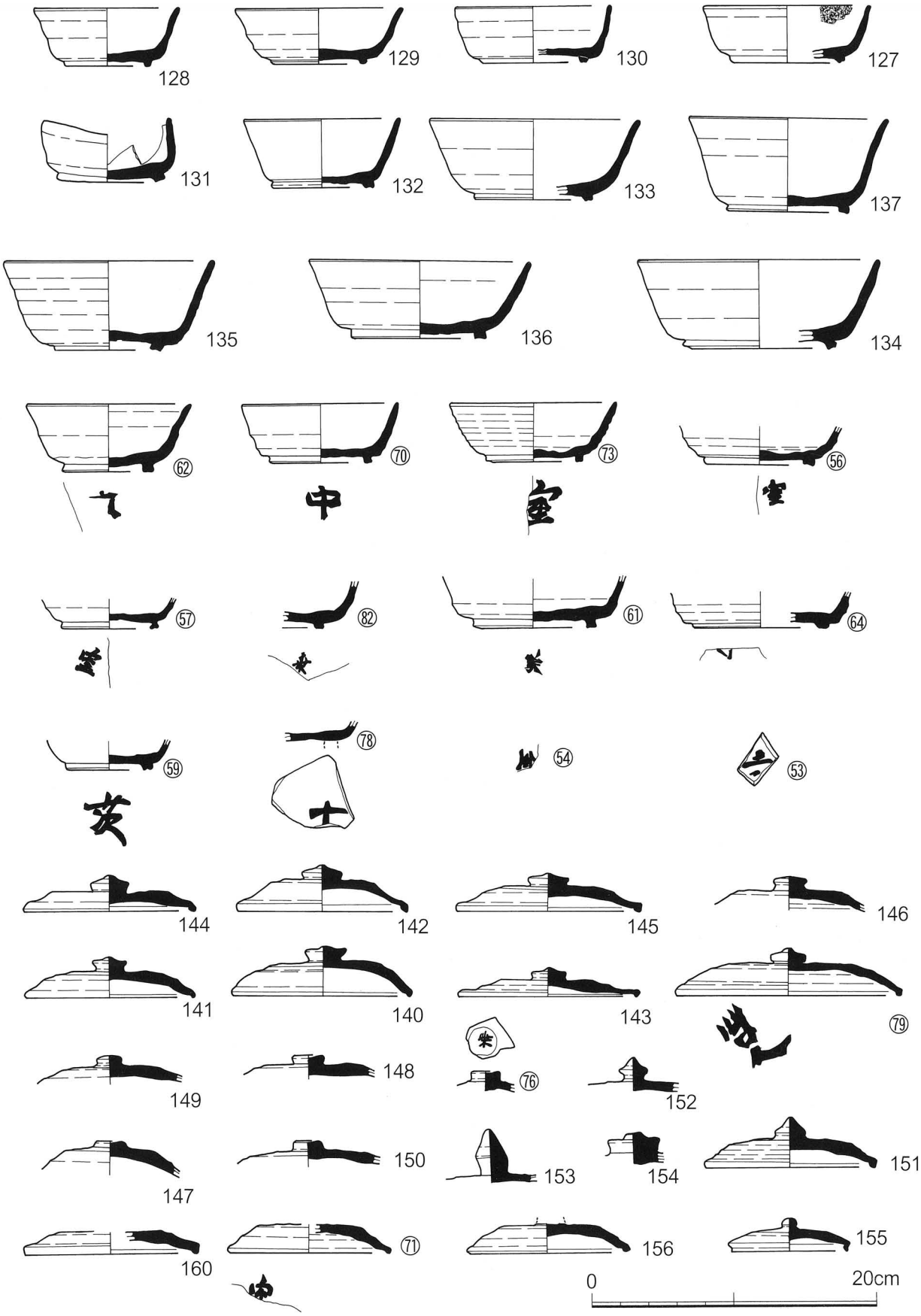
包含層



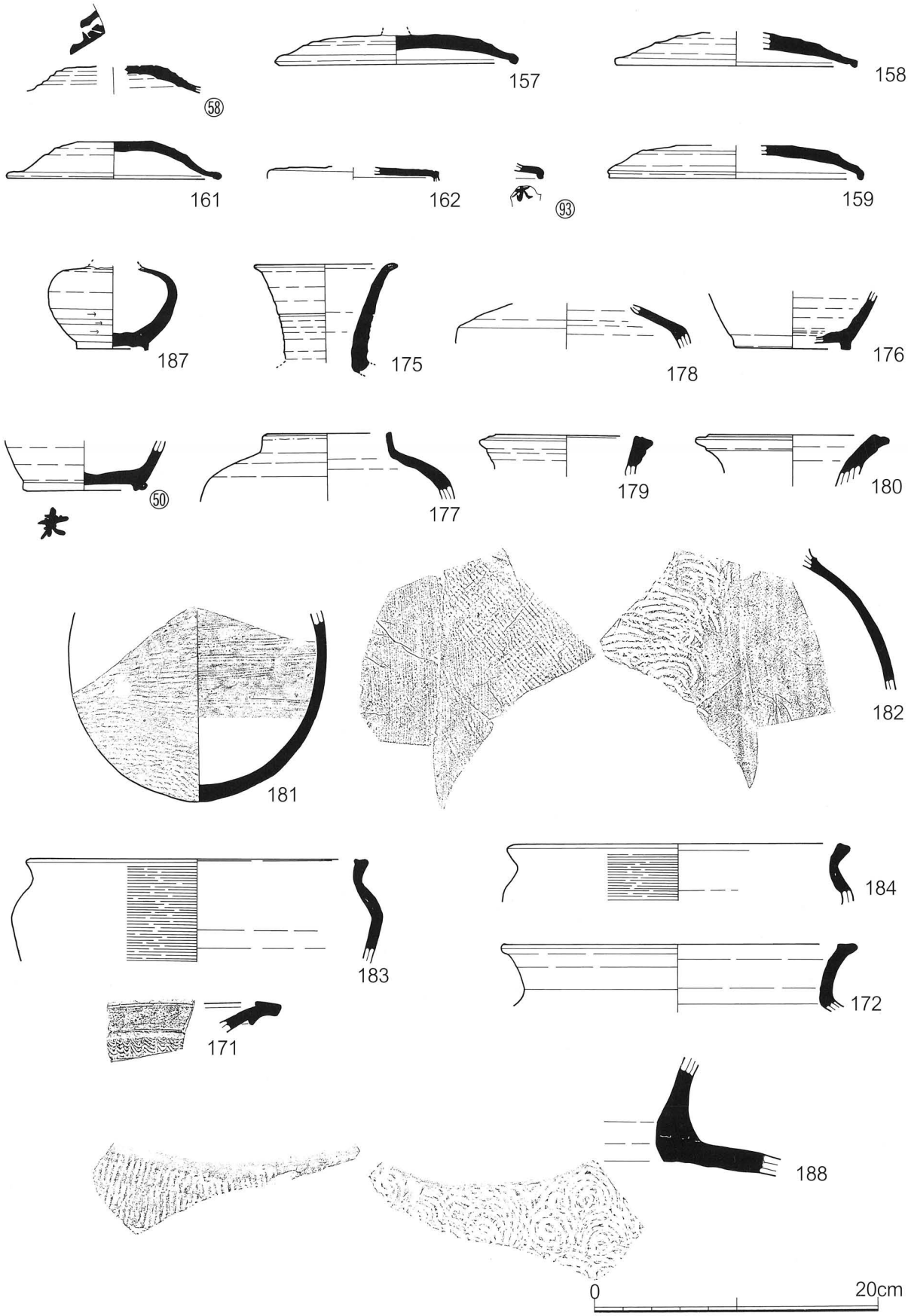
第33図　C区遺物実測図（SD29付近：90～107、㊳～㊹、SK77：㊺、包含層：その他）S＝1／4



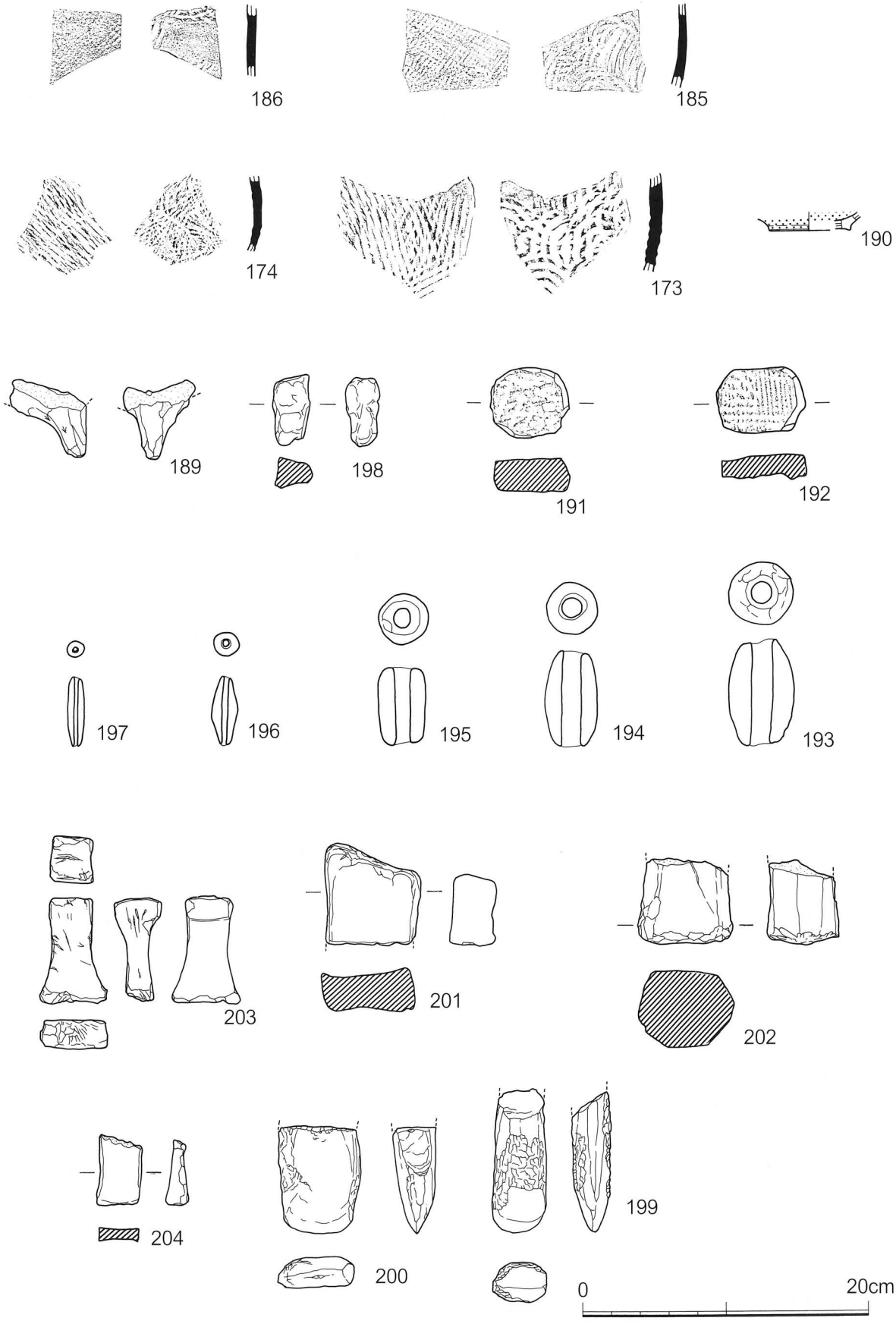
第34図　C区遺物実測図（包含層）S＝1／4



第35図　C区遺物実測図（包含層）S＝1／4

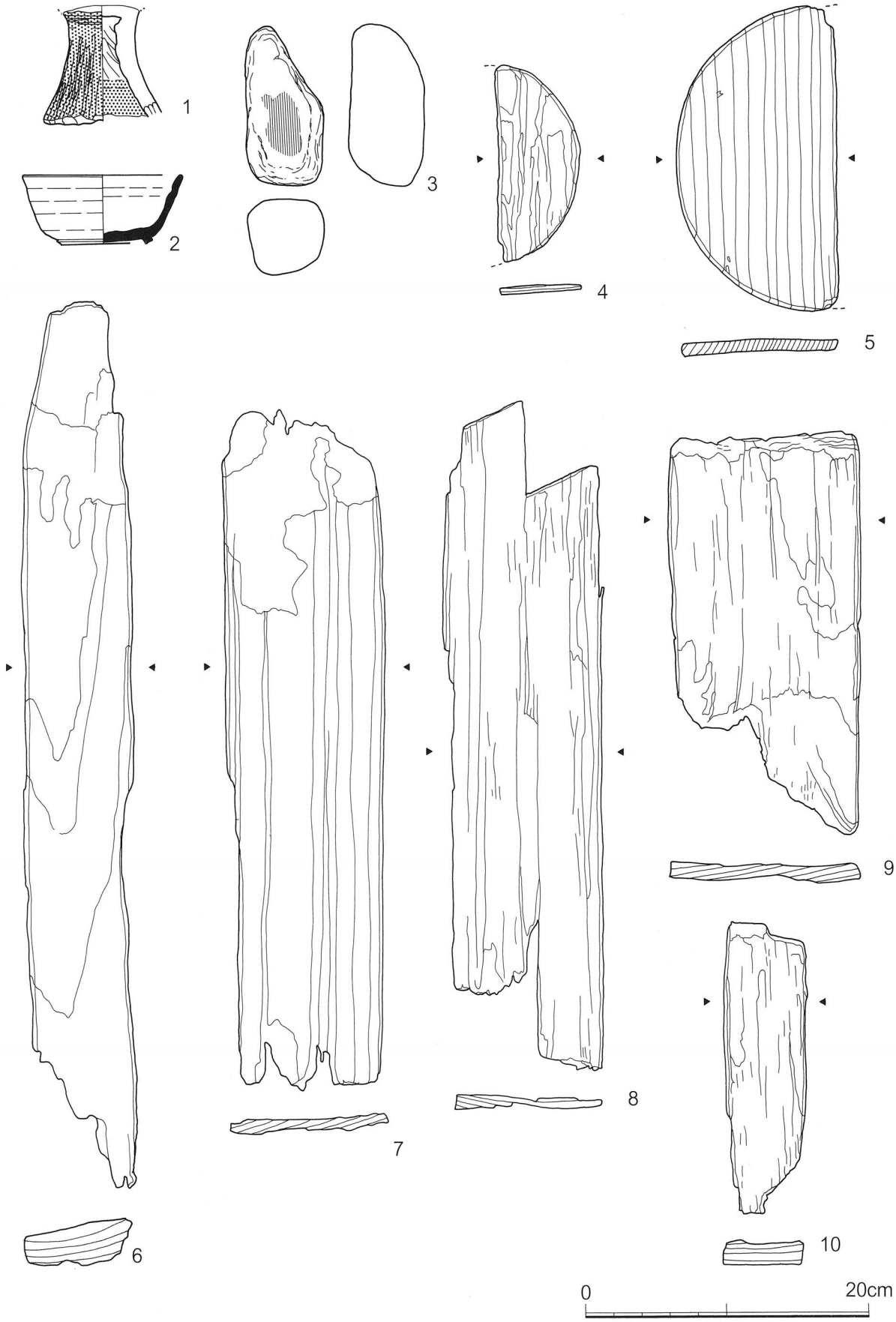


第36図　C区遺物実測図（包含層）S＝1／4

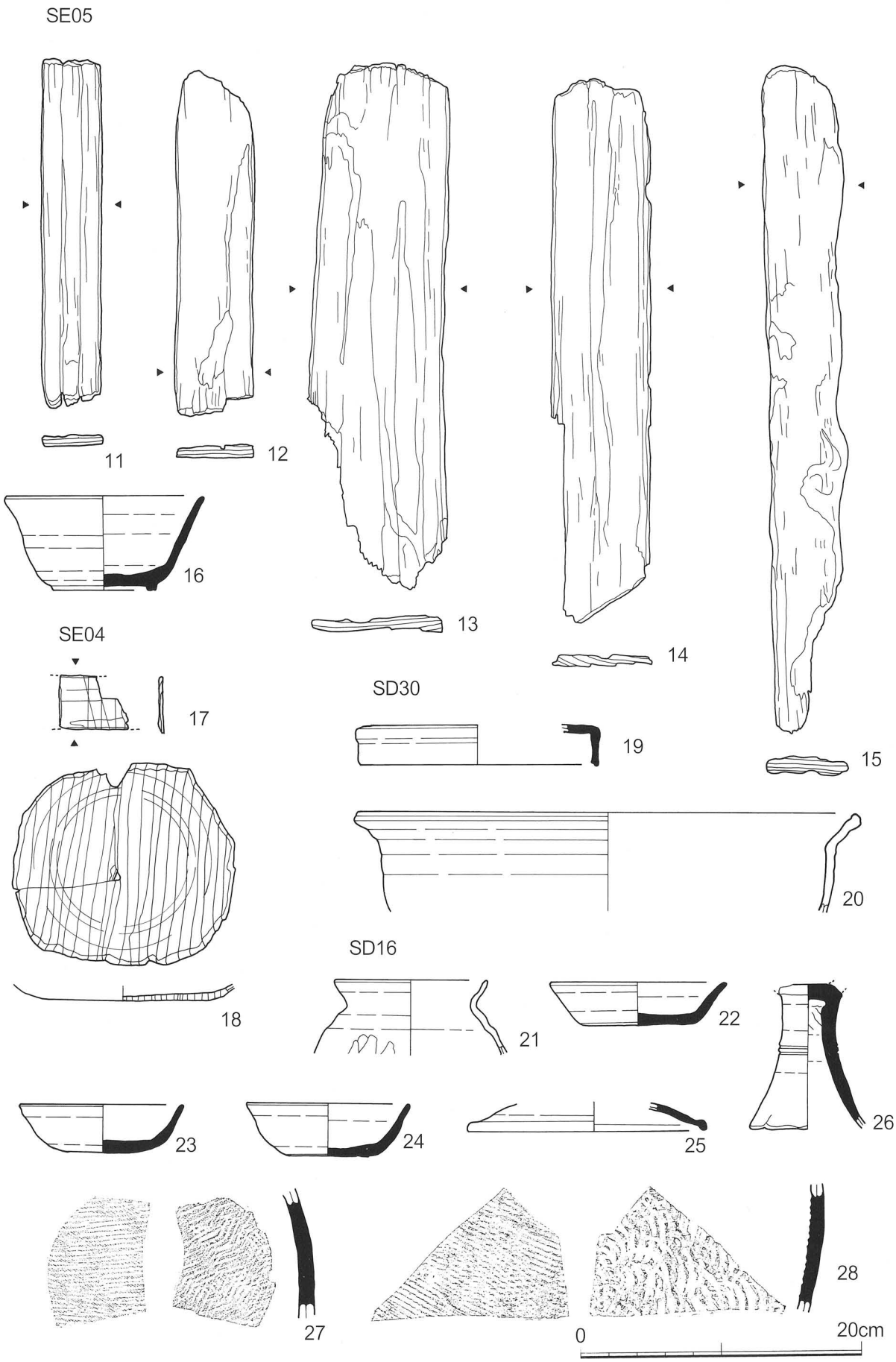


第37図　C区遺物実測図（包含層）S＝1／4

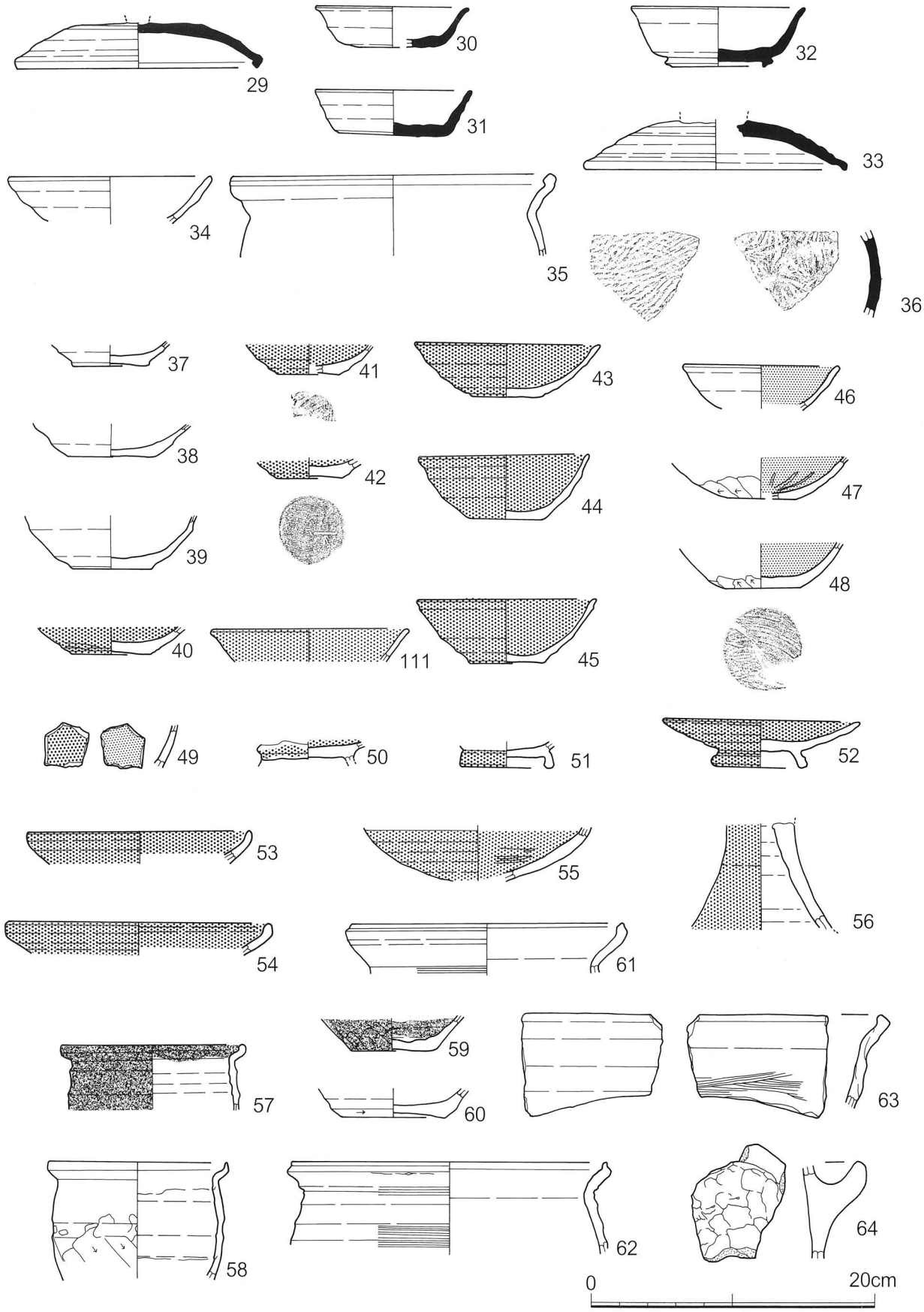
SE05



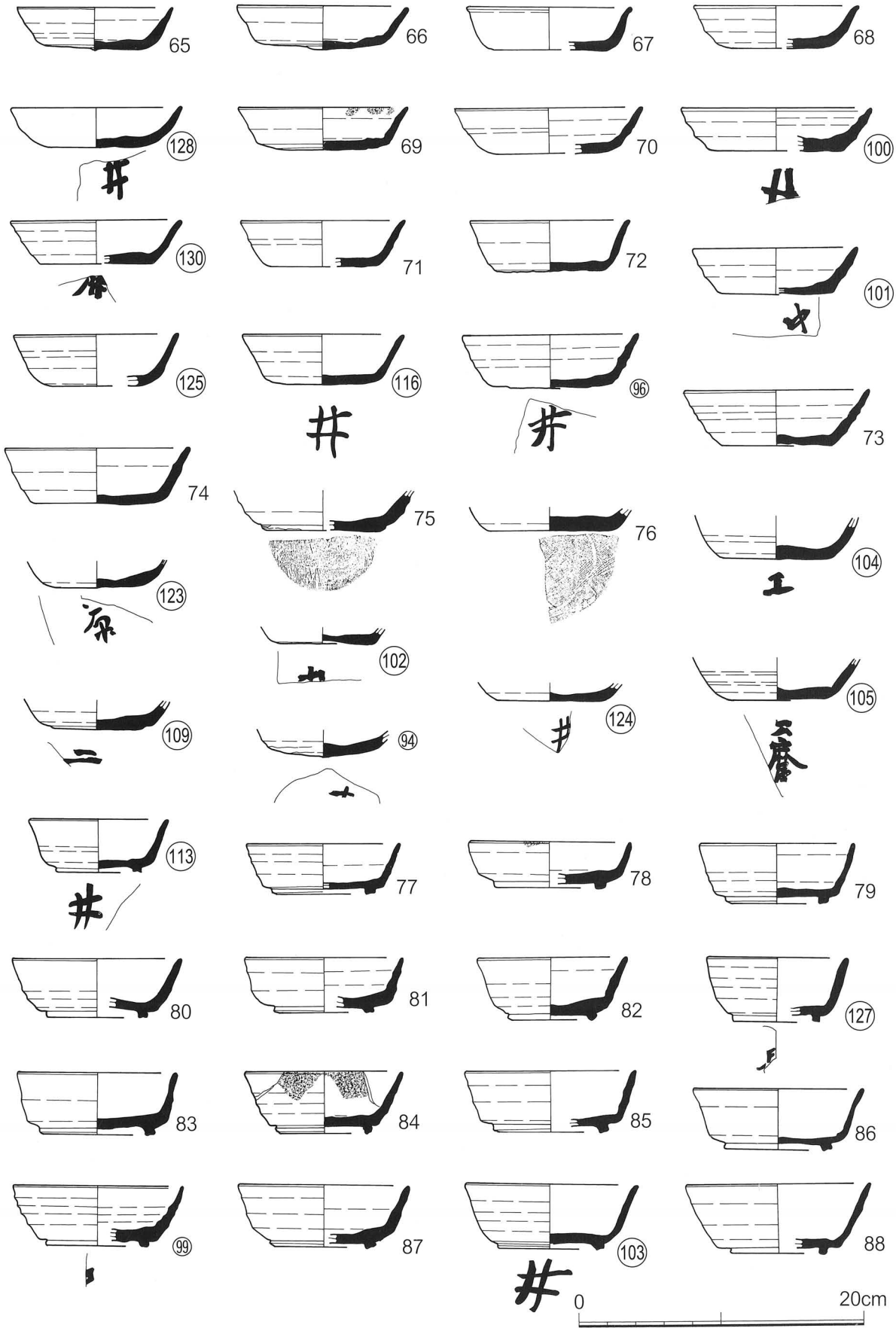
第38図　D区遺物実測図（SE05）S＝1／4



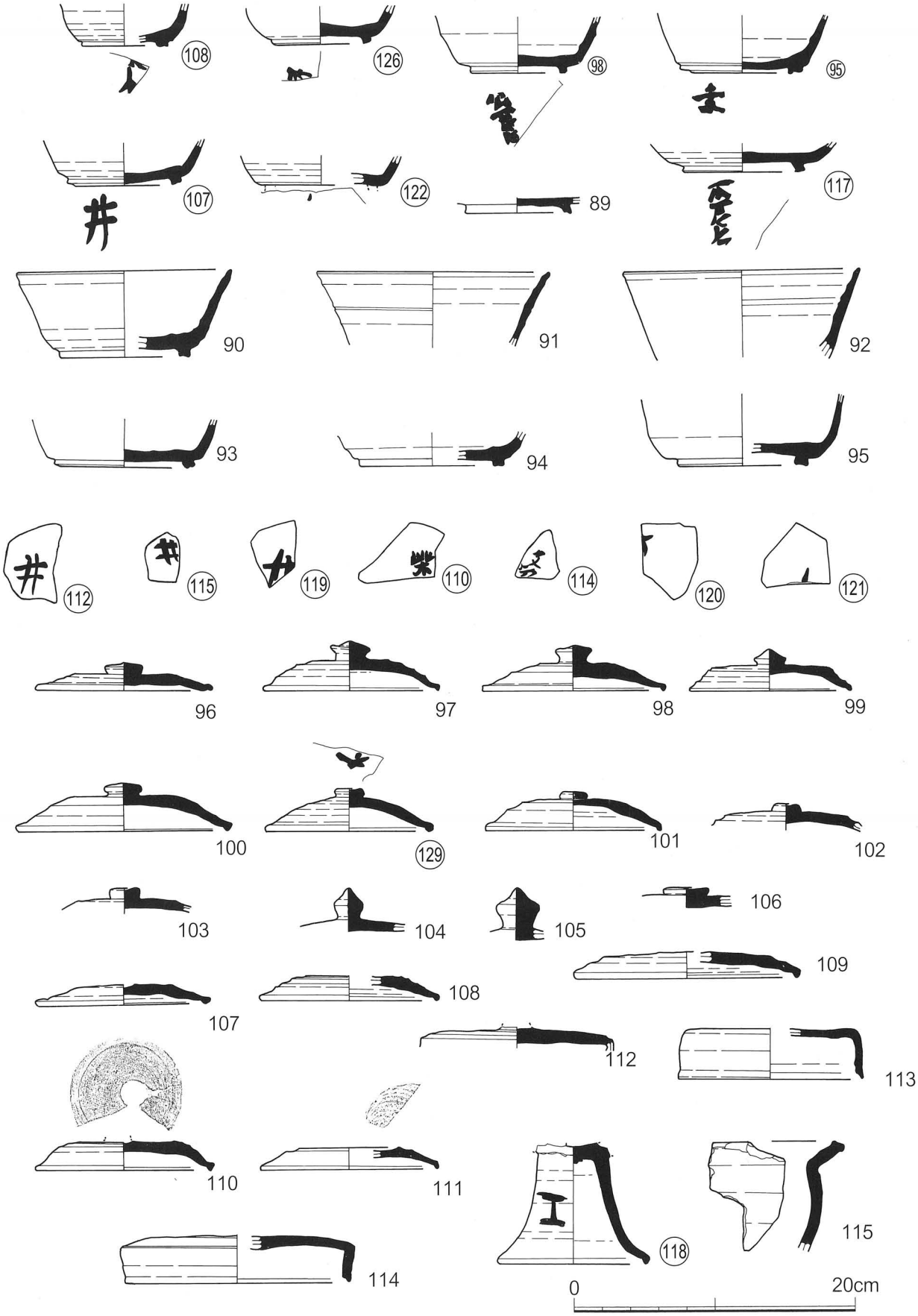
第39図　D区遺物実測図（SE05：11～15、SE05付近：16、SE04：17、18、SD30：19、20、SD16：21～28）
S＝1／4



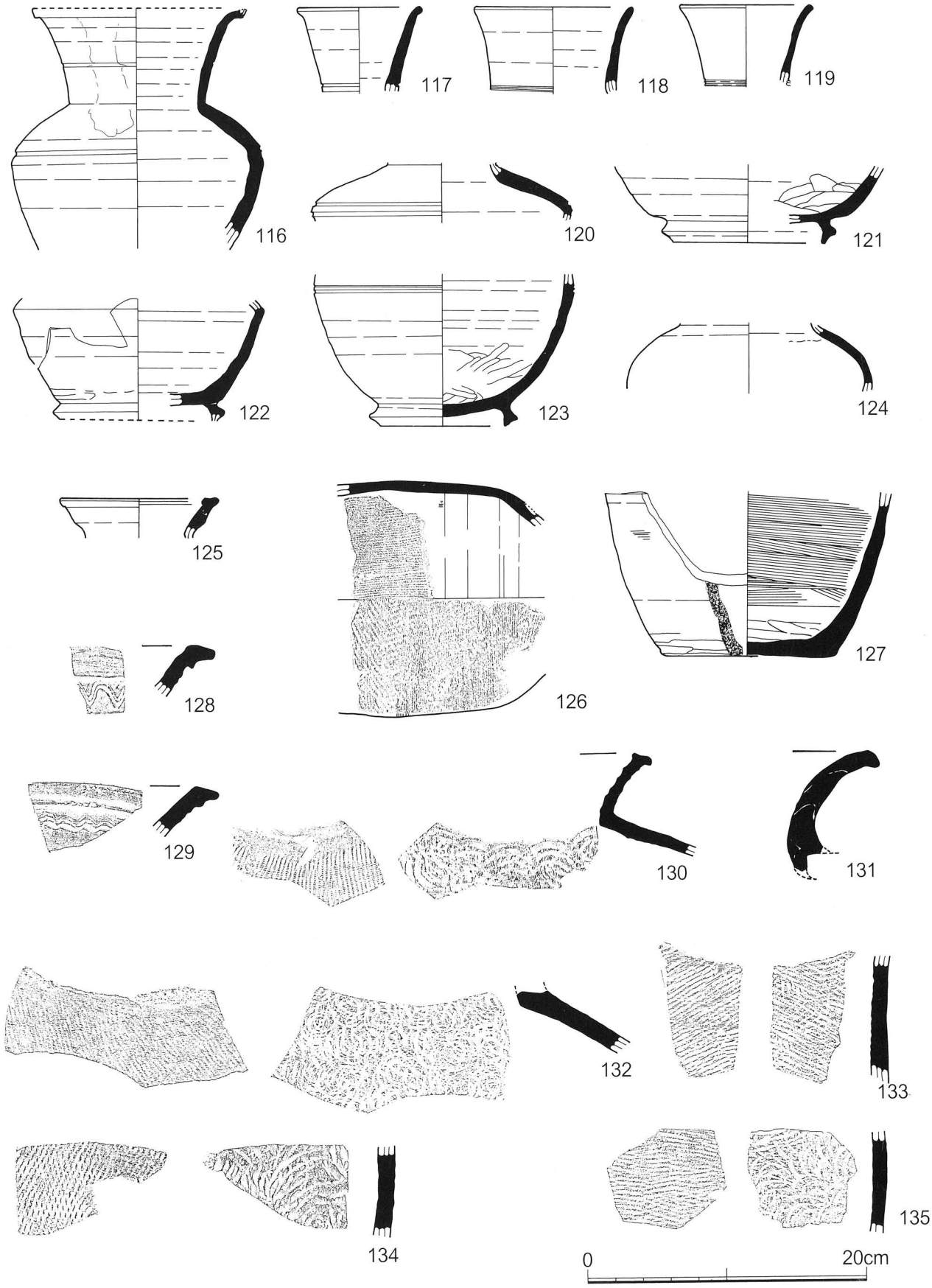
第40図　D区遺物実測図（SD32：29、SD27：30、SD35：31、SD36：32、SD36付近：33、SB23（P6）：34～36、包含層：37～64）S＝1／4



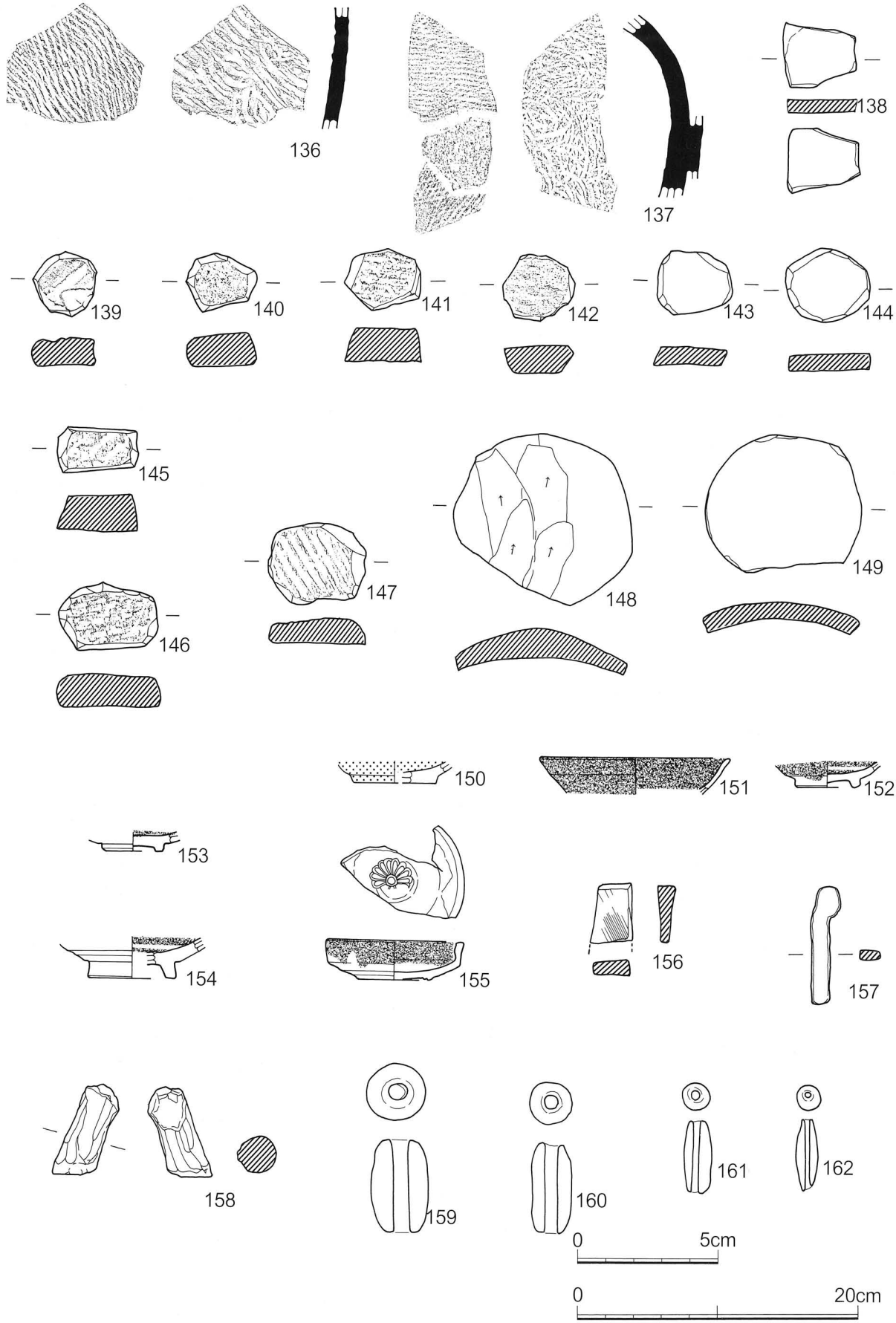
第41図　D区遺物実測図（包含層）S＝1／4



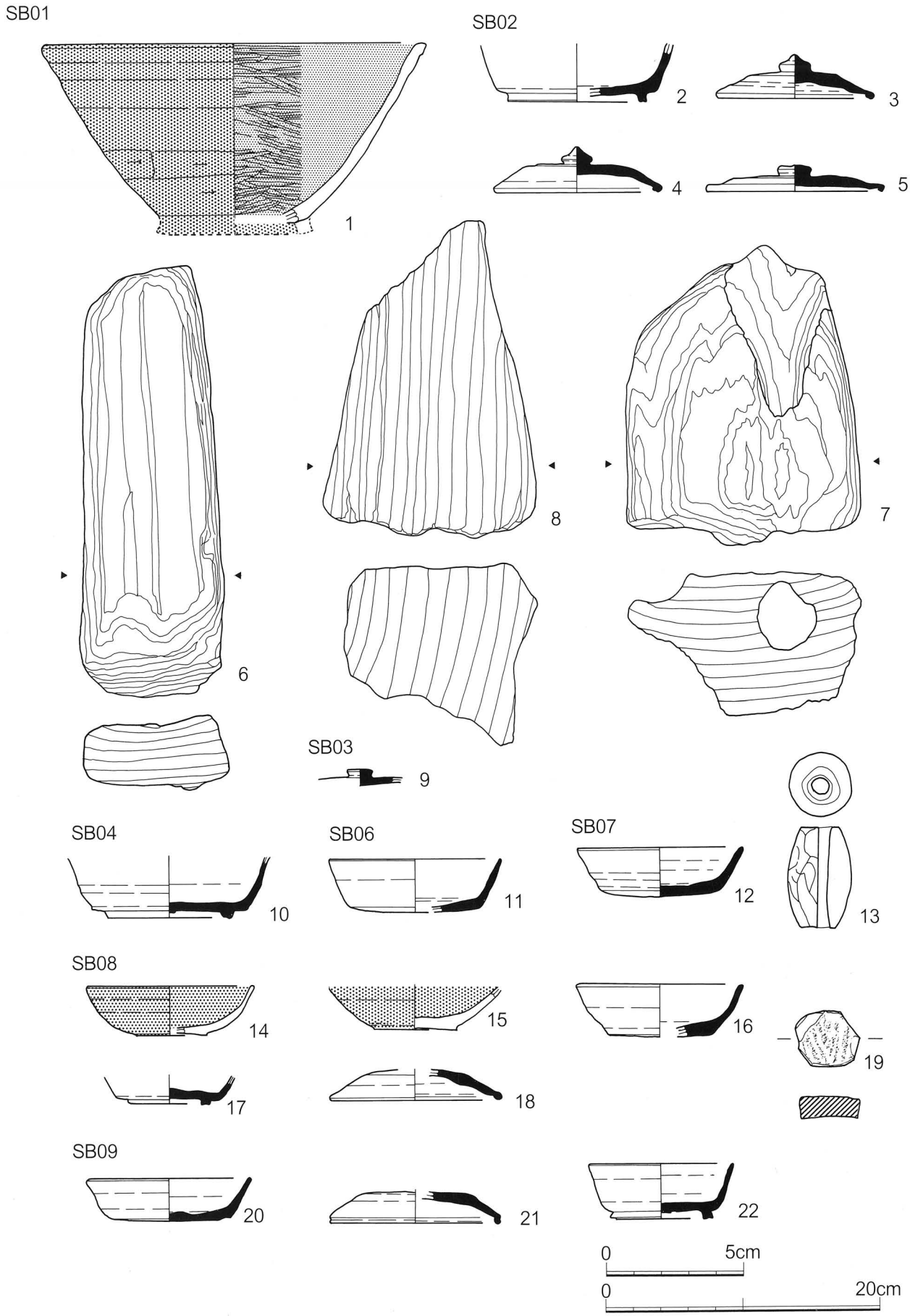
第42図　D区遺物実測図（包含層）S＝1／4



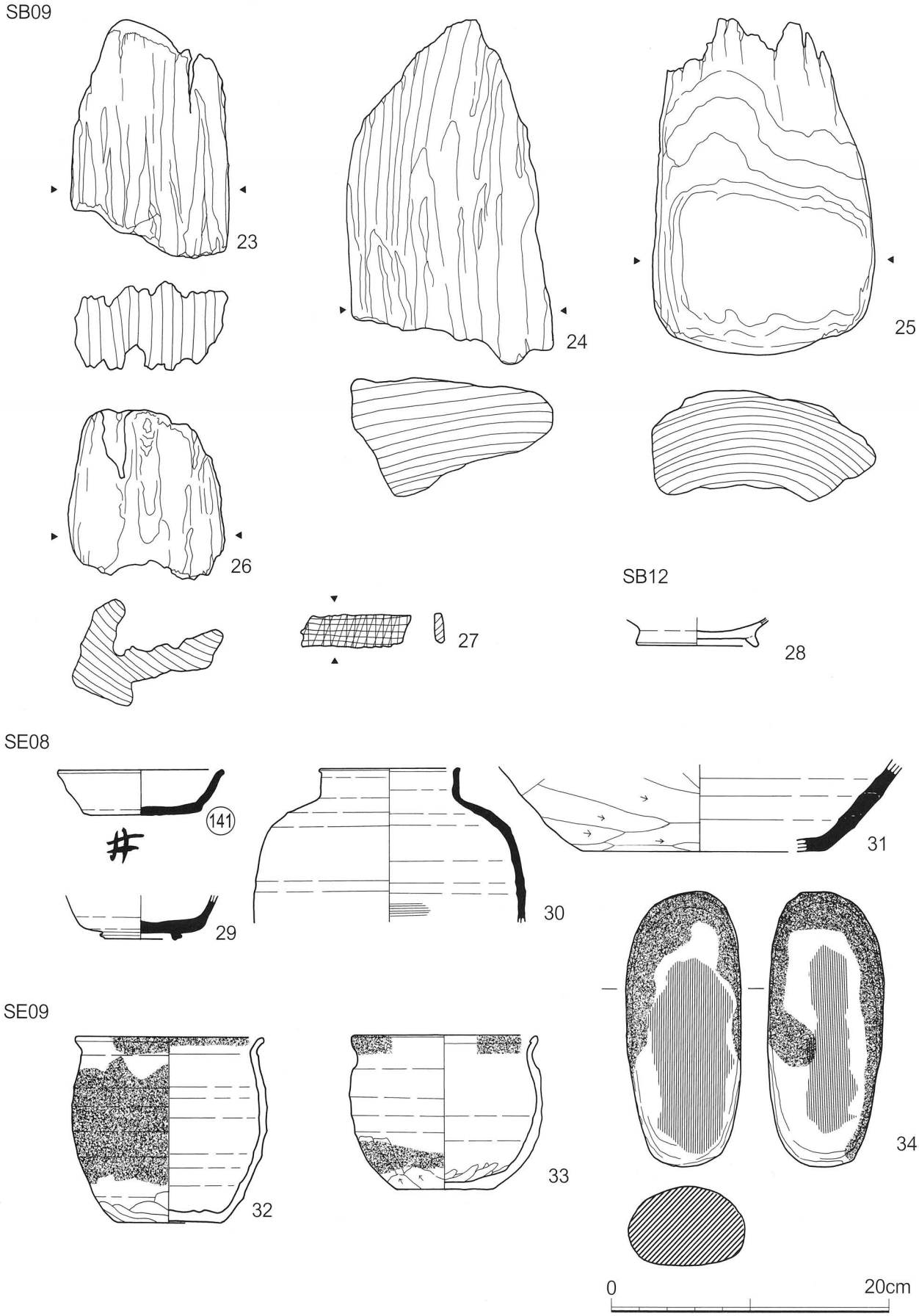
第43図　D区遺物実測図（SE09）S＝1／4



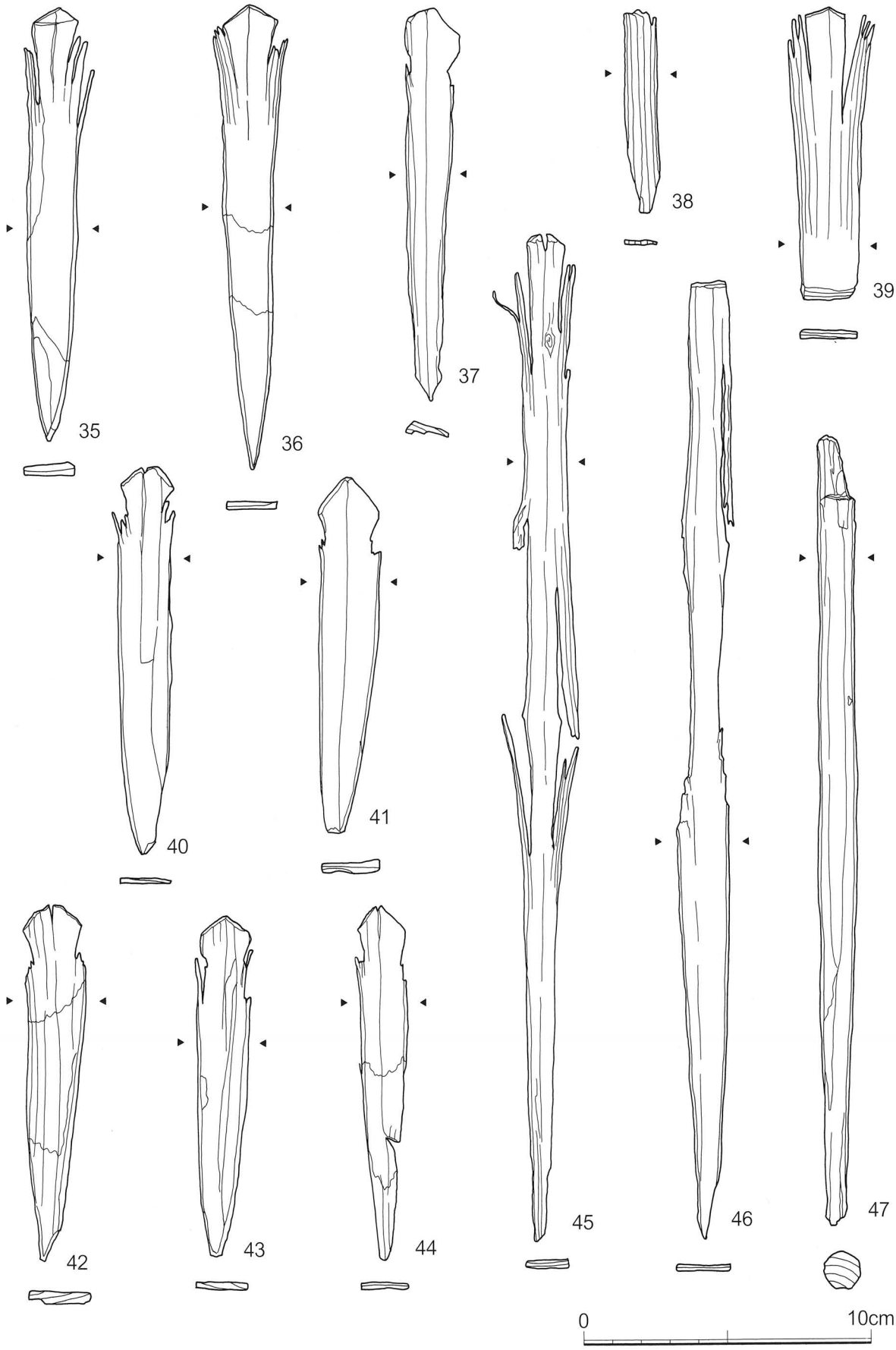
第44図　D区遺物実測図（包含層）138～149：S＝1／2、その他：S＝1／4



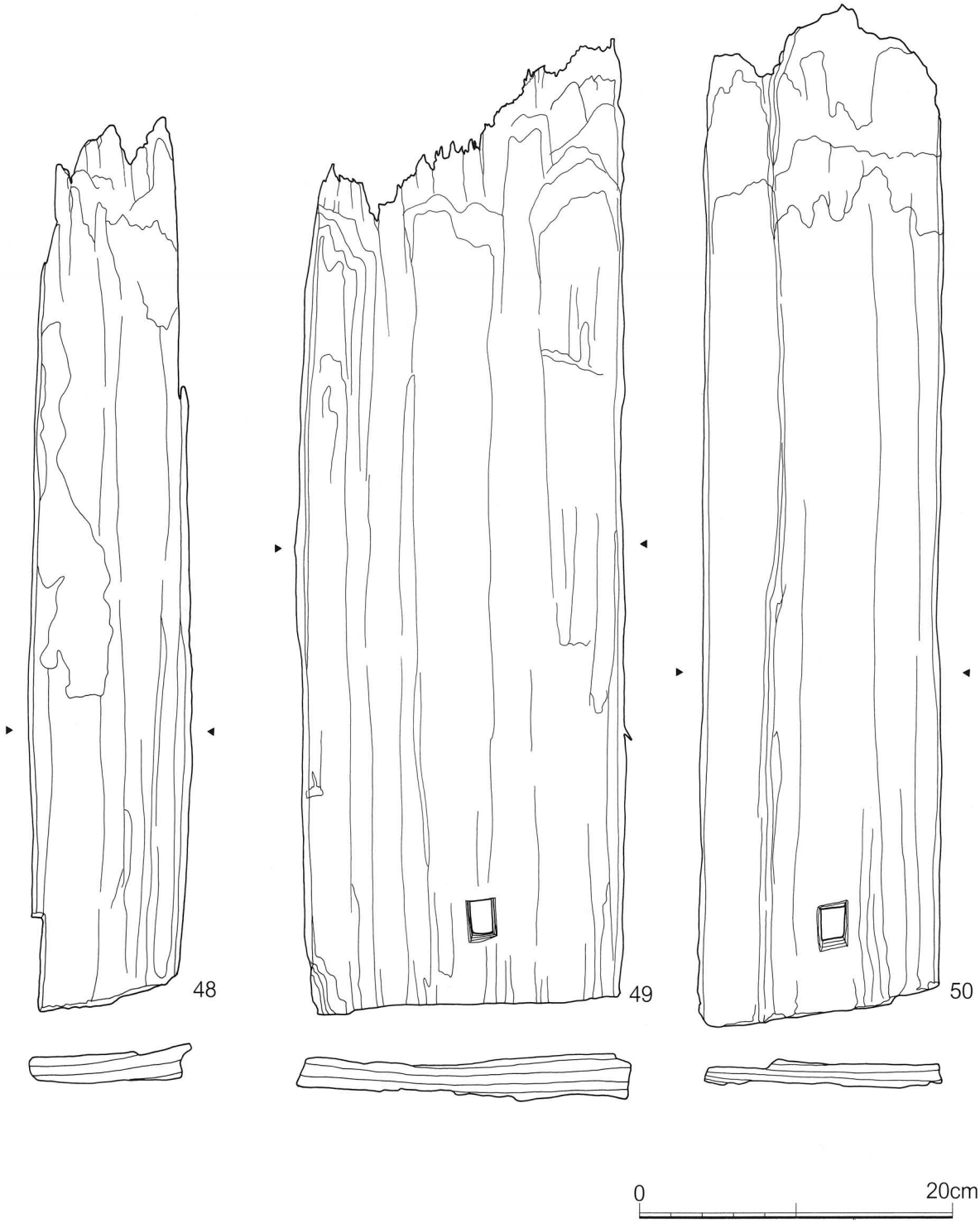
第45図　E区遺物実測図（SB01：1、SB02：2～8、SB03：9、SB04：10、SB06：11、SB07：12、13、SB08：14～19、SB09：20～22）S＝1／2、その他S＝1／4



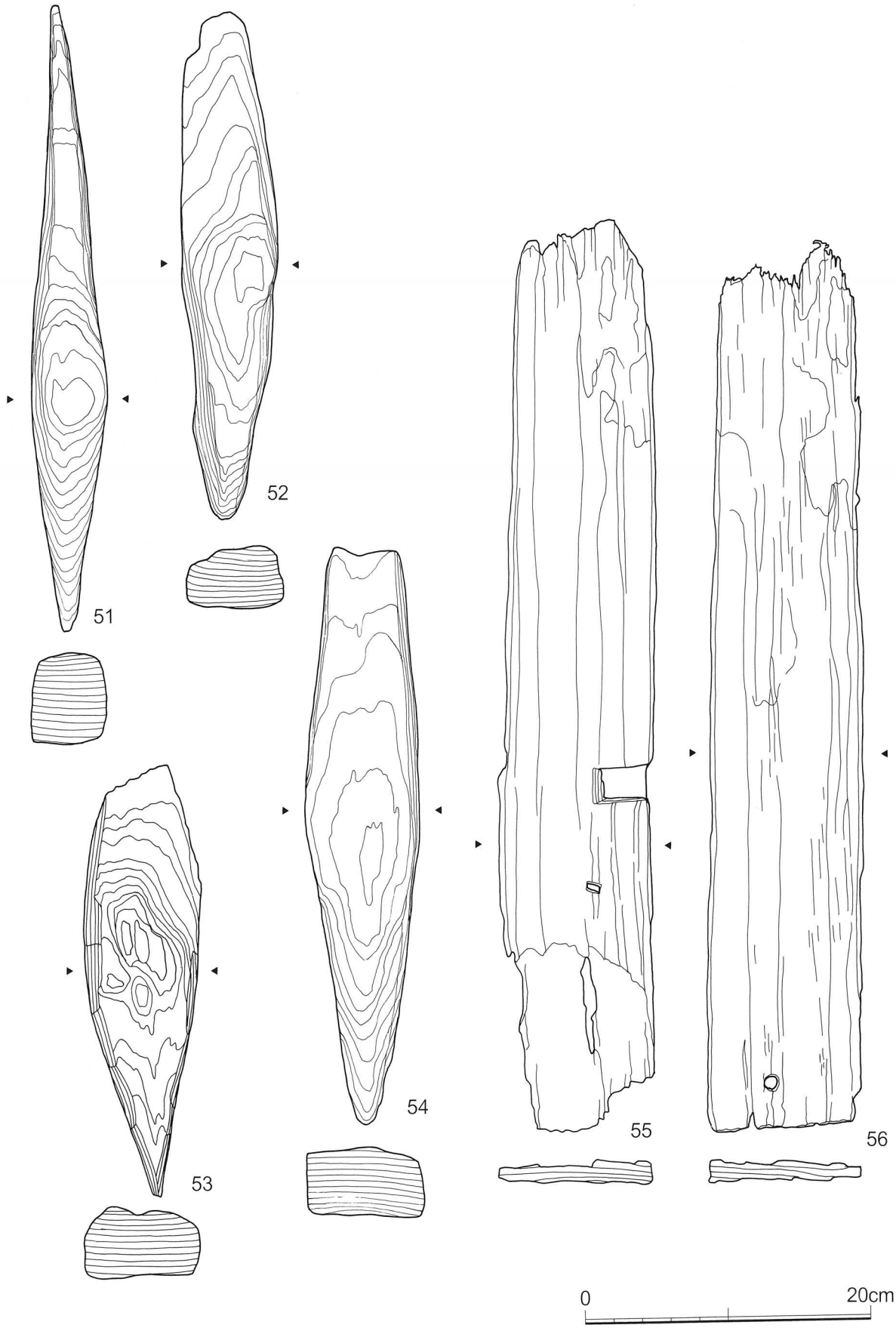
第46図　E区遺物実測図（SB09：23～27、SB12：28、SE08：29～31、141、SE09：32～34）
S＝1／4



第47図　E区遺物実測図（SE09）S＝1／2

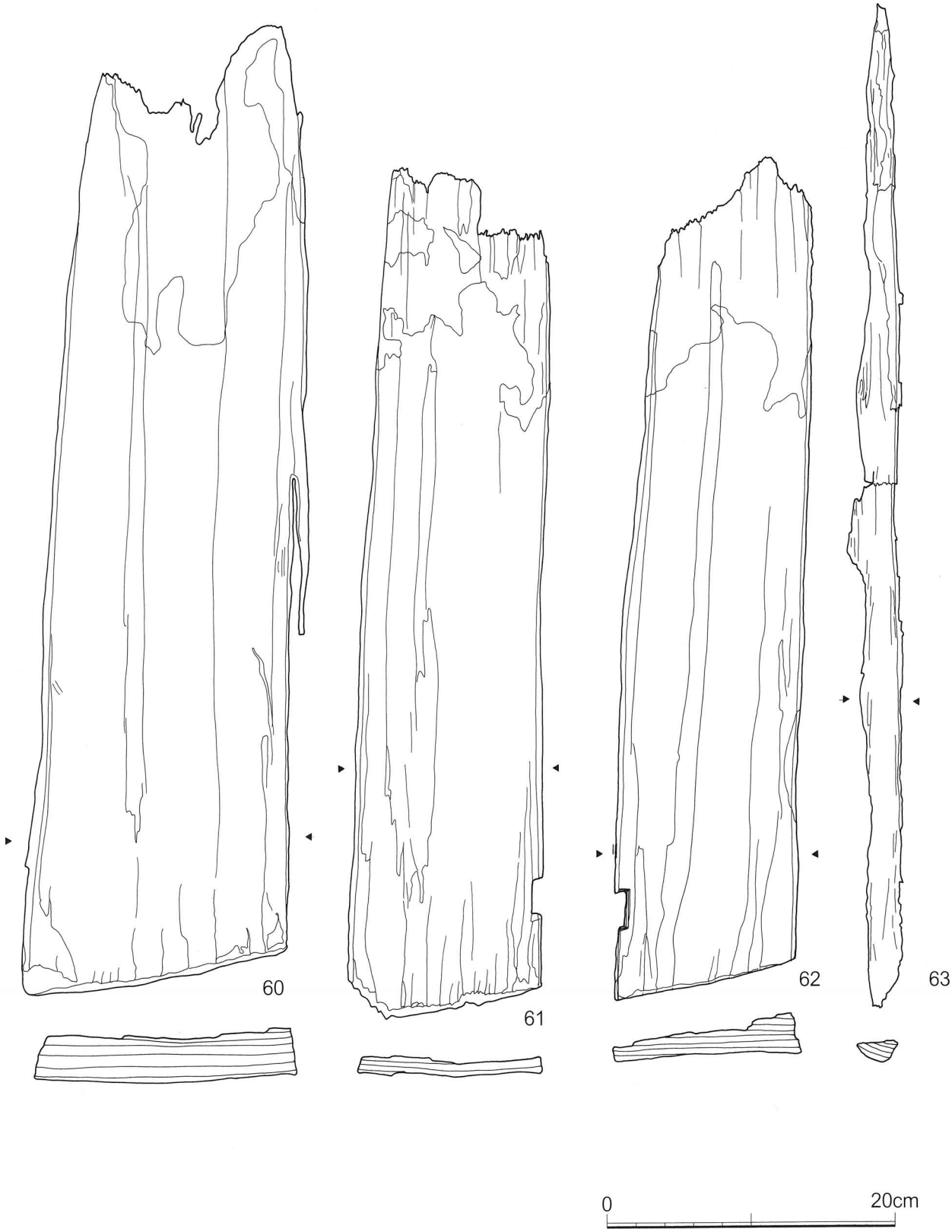


第48図　E区遺物実測図（SE09）S＝1／4

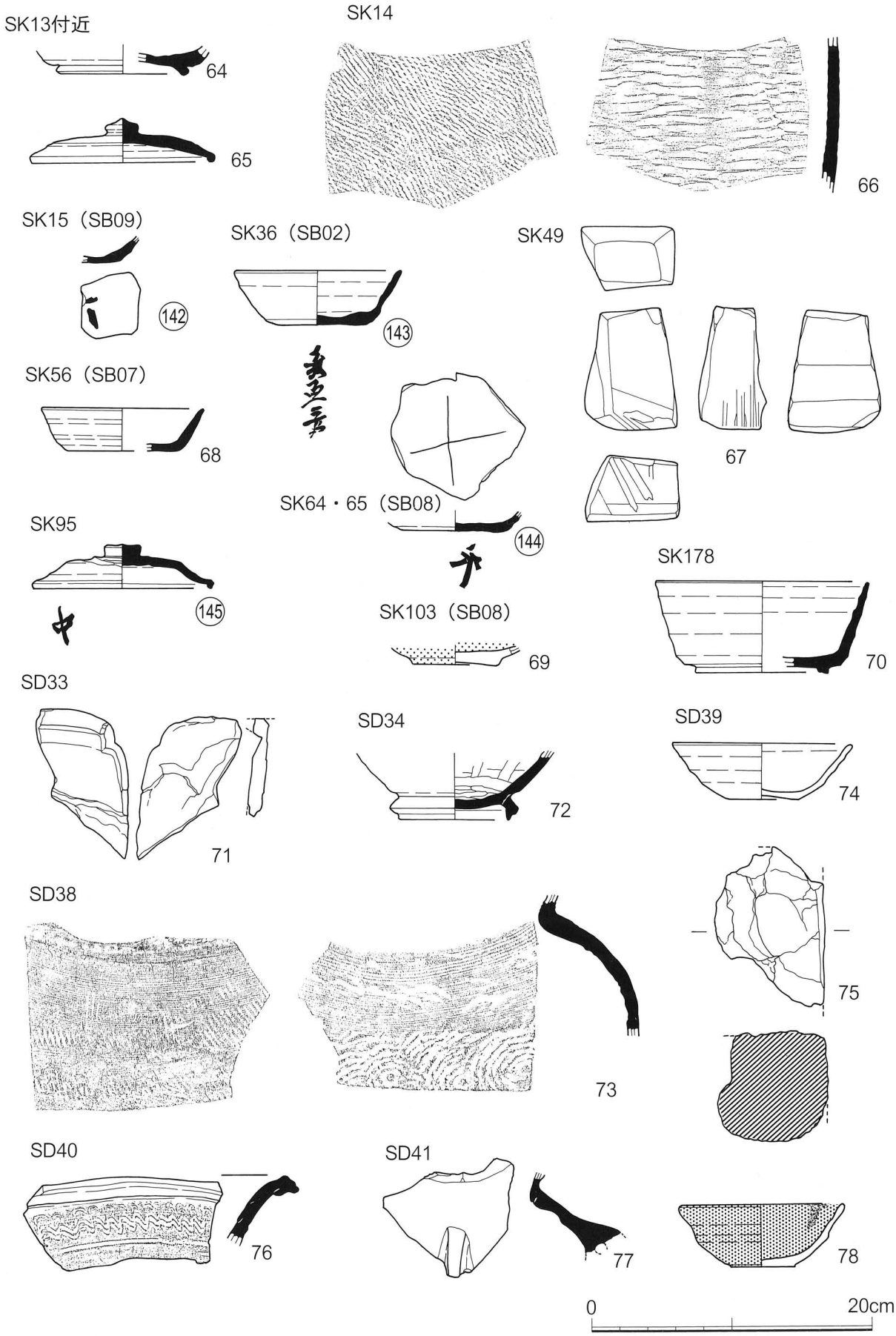


第49図　E区遺物実測図（SE09）S＝1／4

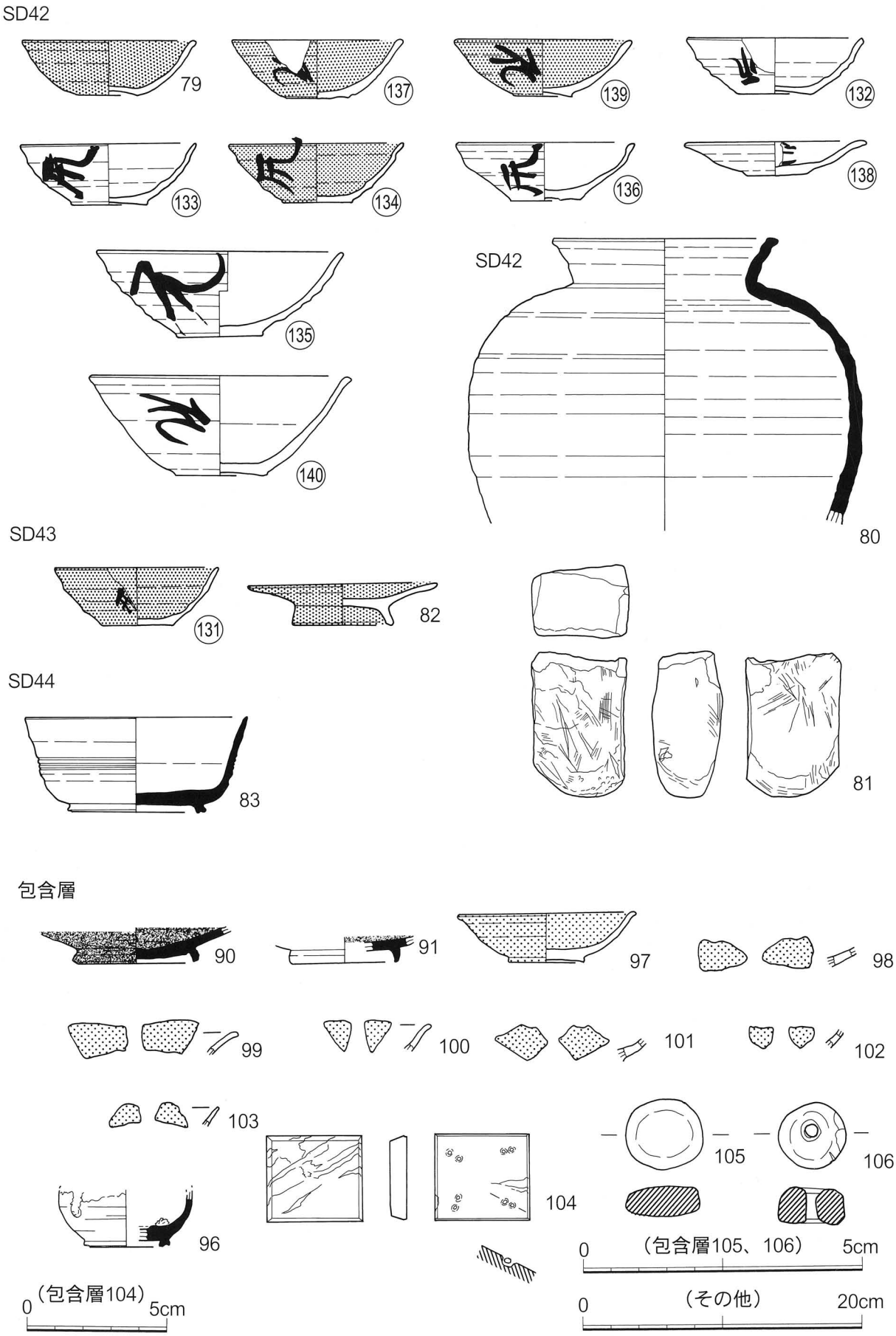
第50図　E区遺物実測図（SE09）S＝1／4



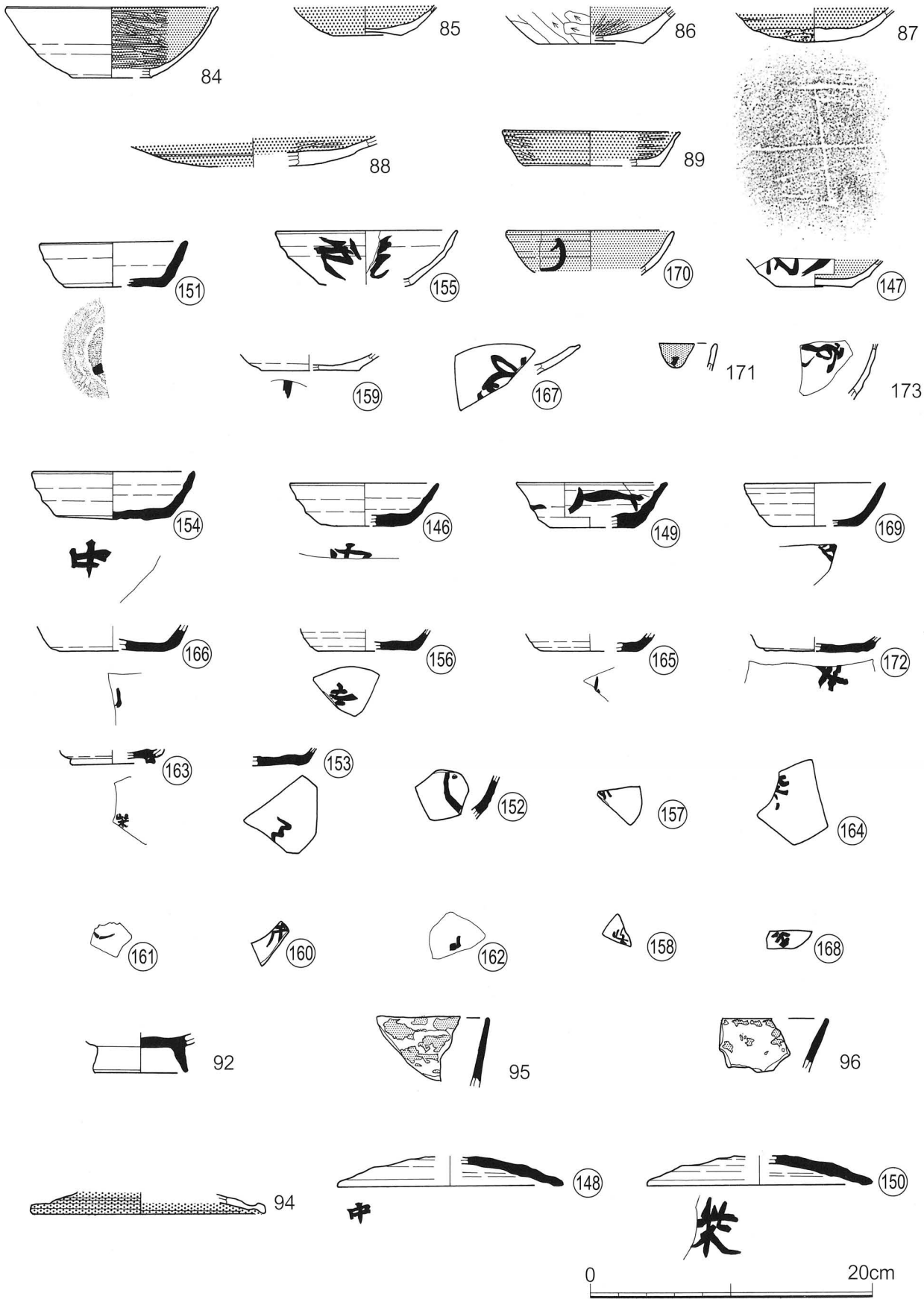
第51図　E区遺物実測図　S＝1／4



第52図　E区遺物実測図　S＝1／4



第53図　E区遺物実測図



第54図　E区遺物実測図　S＝1／4

米田大覚遺跡　遺物観察表（１）　Ａ区

番号	位置・遺構名	器種・器形名	口径 長さ	底径 幅	器高 厚さ・孔径	重さ	遺存率	成・整形の特徴	胎土	色調	焼成	備考
1	SE01	須恵器　杯A	11.8	8.8	3.3	－	1/2	底部回転ヘラ削り後、ロクロ撫で	黒色粒多	淡灰色	還元	
2	SE01	須恵器　杯A	12.0	7.6	3.5	－	3/5	底部回転ヘラ切り	黒色粒	淡褐灰色	還元軟質	内外面被熱
3	SE01	須恵器　杯A	12.2	7.0	3.1	－	1/2	底部回転ヘラ切り後工具撫で	白色・透明粒少	淡灰色	還元	内外面被熱
4	SE01	須恵器　杯B	11.4	6.2	3.7	－	1/2	底部回転ヘラ切り後ロクロ撫で	黒色粒多・白色粒	灰色	還元堅緻	
5	SE01	須恵器　杯B	－	9.4	(4.0)	－	1/3	底部回転ヘラ削り	白色粒φ1mm	灰色	還元堅緻	
6	SE01	須恵器　杯B蓋	12.4	－	(1.6)	－	1/5	天井部回転ヘラ削り後、ロクロ撫で	白色粒	淡褐灰色	還元	内・外面被熱
7	SE01	須恵器　杯B蓋	13.4	－	3.5	－	1/2	天井部回転ヘラ削り後、ロクロ撫で	黒色粒	黄灰色	還元	
8	SE01	須恵器　台付広口壷	－	10.4	(14.4)	－	5/6	ロクロ成形、外面体部下半回転ヘラ削り	白色・透明粒多	暗灰色	還元堅緻	
9	SE01	須恵器　鍋	28.0	－	(11.0)	－	1/8	カキメ	白色粒	鈍い褐灰色	還元軟質	
10	SE01	土師器　椀A	11.6	4.7	3.6	－	1/2	内：ヘラ磨き　外：下端～底部ヘラ削り、底部糸切り後、削り	小石英片	淡黄褐色	酸化	内・外赤彩
11	SE01	土錘	7.0	4.2	1.1	(103.5)	5/6	樽ｃ	白・黒色粒	淡灰黄色	酸化	
12	SB13(SK03	須恵器　杯A	11.8	7.2	3.7	－	2/5	底部回転ヘラ削り後、ロクロ撫で	白色粒少	淡黄灰色	還元軟質	
13	SB13(SK03	須恵器　杯A	11.6	7.8	3.4	－	1/3	回転ヘラ削り後ロクロ撫で	白色粒φ2mm・細粒多	灰色	還元堅緻	
14	SB13(SK03	土師器　甕	19.4	－	(5.1)	－	口縁1/4	ロクロ撫で、外面体部カキメ	白色粒微	鈍い灰褐色	酸化	内外面スス付着
15	SB13(SK03	土師器　甕	12.0	－	(3.4)	－	口縁1/8	ロクロ撫で	相細か金雲母	灰褐色	酸化	
16	SB13(SK04	須恵器　椀か皿	－	5.6	－	(1.0)	1/4	底部回転糸切り	白色粒少	灰色	還元堅緻	被熱によるスス付着
17	SB13(SK04	須恵器　杯A	11.8	7.4	2.5	－	1/4	底部回転ヘラ削り後撫で	白色粒	灰色	還元堅緻	
18	SB13(SK04	須恵器　杯A	12.0	8.4	3.4	－	2/5	底部回転ヘラ削り	白色粒φ3mm・細粒多	灰色	還元堅緻	
19	SB13(SK04	土師器　甕	13.2	－	(6.5)	－	口縁1/4	ロクロ撫で	黒色・透明粒	淡黄褐色	酸化	内外面被熱
20	SB13(SK04	土師器　鍋	39.0	－	(8.8)	－	1/8	ロクロ撫で	白色・透明粒	淡黄白色	酸化	
21	SB13(SK04	土師器　甕	21.4	－	(4.0)	－	口縁1/8	ロクロ撫で	白色細粒少	黄褐色	酸化	内外面スス付着
22	SB13(SK04	土師器　甕	－	5.3	(2.3)	－	1/8	内：ロクロ撫で、外：ヘラ削り、底部回転糸切り後ヘラ削り	白色粒	淡灰褐色	酸化	
23	SB13(SK04	土師器　椀A	12.8	5.4	4.1	－	1/3	外面回転ヘラ削り後、下部1/3・底部手持ち削り、内黒底部墨書カ	白色粒	淡褐白色	酸化	SD03・SD22・SK03と接合
24	SB13(SK06	須恵器　杯A	12.2	7.7	3.5	－	2/3	底部回転ヘラ削り	黒色細粒	淡褐白色	未還元	
25	SB13(SK08	須恵器　杯B蓋	13.0	－	(1.5)	－	1/3	ロクロ撫で	黒色粒	灰色	還元堅緻	
26	SX01	須恵器　杯A	11.2	7.4	2.9	－	2/5	底部回転ヘラ削り後ロクロ撫で	白色細粒少	淡灰色	還元	
27	SX01	須恵器　杯A	13.2	8.0	3.0	－	8/9	ロクロ撫で、底部回転ヘラ切り後工具撫で	黒色粒	灰白色	還元軟質	
28	SX01	須恵器　杯A	13.6	6.5	4.0	－	3/5	ロクロ撫で	灰色粒	淡黄白色	未還元	内面底部ヘラ記号有り
29	SX01	須恵器　杯B蓋	12.0	－	2.6	－	1/2	頂部回転ヘラ削り	白色粒・黒色粒多	灰色	還元堅緻	外面墨痕カ
30	SX01	須恵器　杯B蓋	14.6	－	(1.8)	－	1/4	頂部回転ヘラ削り後ロクロ撫で	白色粒	灰色	還元堅緻	
31	SX01	須恵器　杯B	12.0	7.5	4.3	－	1/2	ロクロ撫で	白色粒φ1mm	灰色	還元	
32	SX01	須恵器　杯B	12.6	7.2	3.2	－	8/9	ロクロ撫で、底部回転ヘラ切り後工具撫で	白色粒φ1mm	褐灰色	還元堅緻	
33	SX01	須恵器　杯B	14.8	9.0	6.2	－	1/4	底部回転ヘラ削り	白色粒多	灰色	還元堅緻	
34	SX01	土師器　甕	22.6	－	(4.5)	－	口縁1/5	ロクロ撫で	白色細粒	淡黄褐色	酸化	
35	SX01	土師器　甕	13.4	－	(10.0)	－	1/6	外面体部下半部ヘラ削り	白色粒多	淡灰黄色	酸化	内外面スス付着
36	SX01	土師器　椀	12.8	－	4.9	－	3/4	内黒。内：ヘラ磨き、赤彩　外：下端～底部ヘラ削り	白色粒	赤褐色	酸化	
37	SX01	土錘	(6.0)	4.0	1.5	(59.1)	2/3	樽ｃ	白色細粒	灰白色	酸化	
38	SX04	須恵器　杯B蓋	－	－	(2.7)	－	1/8	ロクロ成形	白色粒	灰色	還元堅緻	内・外面墨痕
39	SX04	須恵器　瓶	13.0	－	(4.0)	－	口縁1/6	ロクロ成形	白色粒	灰色	還元堅緻	横瓶か
40	SX04	土師器　甕	18.0	－	(3.3)	－	口縁1/10	ロクロ撫で	白色粒微	淡黄褐色	酸化	外面スス付着
41	SX06	須恵器　杯A	(10.8)	(8.2)	3.3	－	1/8	底部回転ヘラ切り	白・黒色粒微	灰色	還元	
42	SX07	須恵器　杯B	11.6	7.4	4.2	－	1/8	ロクロ撫で	白色粒少	灰色	還元	
43	SX07	須恵器　杯B蓋	13.0	－	(1.3)	－	2/5	頂部回転ヘラ削り後ロクロ撫で	白・黒色細粒	灰色	還元	
44	SX07	土師器　甕	11.8	－	(5.0)	－	口縁1/5	ロクロ撫で	白・黒色細粒微	暗黄灰色	酸化	スス付着
45	SX07	土師器　甕	20.0	－	(4.2)	－	口縁1/10	ロクロ撫で	黒色細粒微	淡赤黄色	酸化	
46	SX09	土師器　甕	23.0	－	(8.0)	－	口縁1/8	外部頸部以下カキメ	白色粒	灰黄色	酸化	内面スス付着
47	SX11	須恵器　杯A	11.6	6.5	3.1	－	4/5	ロクロ撫で、底部回転ヘラ切り後工具撫で	白色粒	灰色	還元堅緻	
48	SX15	須恵器　杯B蓋	11.0	－	2.5	－	1/2	頂部回転ヘラ削り後ロクロ撫で	白色粒	灰色	還元堅緻	
49	SX18	土師器　甕	18.0	－	(9.0)	－	口縁1/8	体部内外面カキメ	白色粒多	黄褐色	酸化	口縁スス付着
50	SX19	土師器　甕	－	－	(2.7)	－	口縁	ロクロ撫で	白色粒少	淡黄褐色	酸化	
51	SX20	土師器　甕	17.0	－	(5.0)	－	口縁1/8	ロクロ撫で	白・黒色粒少	黄褐色	酸化	
52	SX21	土師器　甕	19.0	－	(7.5)	－	口縁1/10	体部内外面カキメ	黒色粒	淡灰黄色	酸化	
53	SD02	須恵器　杯A	11.2	7.0	3.2	－	1/2	底部回転ヘラ切り	白・黒色粒	灰色	還元	
54	SD02	須恵器　杯A	12.0	7.0	3.0	－	1/3	底部回転ヘラ削りヘラ記号	白色粒	灰色	還元	内面・外面口縁スス付着
55	SD02	須恵器　杯B	10.8	7.2	3.6	－	2/3	底部回転ヘラ切り後撫で	白色細粒多	灰色	還元堅緻	
56	SD02	須恵器　杯B	11.2	7.0	4.4	－	2/3	底部回転ヘラ切り	黒色粒	淡黄灰色	軟質還元	
57	SD02	須恵器　杯B	11.2	7.2	4.1	－	2/3	底部回転ヘラ切り後撫で	白色粒少	灰色	還元堅緻	一破片外面スス付着
58	SD02	須恵器　杯B	14.6	8.0	6.7	－	2/5	底部回転ヘラ切り後撫で	白色粒多	灰色	還元堅緻	
59	SD02	須恵器　杯B蓋	16.0	－	(2.5)	－	1/5	頂部回転ヘラ削り	白色粒	灰色	還元堅緻	
60	SD02	土師器　甕	21.6	－	(4.8)	－	口縁1/6	ロクロ撫で	白色・透明粒	淡黄白色	酸化	
61	SD02	土師器　甕	21.8	－	(3.7)	－	口縁1/10	ロクロ撫で	褐色・透明粒	淡黄褐色	酸化	
62	SD02	土師器　甕	23.0	－	(5.5)	－	1/8	ロクロ撫で	白色・透明粒	淡黄褐色	酸化	口縁被熱
63	SD16	土師器　甕	(21.4)	－	(2.6)	－	口縁1/10	ロクロ撫で	白・黒色粒	黄褐色	酸化	
64	SD04	土師器　甕	23.2	－	(2.5)	－	口縁1/10	ロクロ撫で	白・灰色粒	灰黄色	酸化	
65	SD05	須恵器　杯B蓋	15.2	－	(3.0)	－	1/3	頂部回転ヘラ削り後ロクロ撫で	白色・透明粒	淡黄色	未還元	
66	SD05	須恵器　杯B	10.8	6.0	4.4	－	1/2	底部回転ヘラ切り後撫で	白・黒色粒	灰色	還元堅緻	
67	SD05	土師器　甕	23.6	－	(9.0)	－	口縁1/3	ロクロ撫で体部外面ロクロ撫で	黒色細粒	灰黄色	酸化	
68	SD05	土師器　小型甕	－	4.4	(5.0)	9.0	体部1/3	体部外面～底部削り、内面ロクロ撫で	白・黒色粒	淡黄褐色	酸化	被熱によるスス付着
69	SD06	土師器　甕	19.4	－	(2.5)	－	口縁1/8	ロクロ撫で	黒色細粒	淡赤褐色	酸化	
70	SD06	須恵器　杯B	12.4	8.2	4.2	－	1/2	底部回転ヘラ切り後ロクロ撫で	白色粒φ1mm細粒	灰色	還元	
71	SD06	須恵器　杯B蓋	15.8	－	(1.8)	－	1/6	ロクロ撫で	白色粒	灰色	還元堅緻	外面スス付着
72	SD07	須恵器　杯A	12.0	8.0	3.9	－	3/5	底部回転ヘラ切り後工具調整	白色粒	灰色	還元堅緻	内外面被熱による黒色
73	SD07	土師器　甕	27.6	－	(3.0)	－	口縁1/10	ロクロ撫で	白色粒φ1mm多	淡黄褐色	還元	内面被熱による黒色
74	SD09	土錘	6.8	4.0	1.0	(60.0)	1/2	寸胴ｃ	灰色粒少	黄白色	酸化	
75	SD10	土師器　甕	19.6	－	(5.6)	－	口縁1/8	ロクロ撫で	透明粒	淡黄白色	酸化	
76	SD11	土師器　甕	20.8	－	(3.0)	－	口縁	ロクロ撫で、体部外面カキメ	黒色粒微	黄褐色	酸化	
77	SD11	土師器　甕	20.8	－	(4.0)	－	口縁1/8	ロクロ撫で	白色粒	淡黄白色	酸化	
78	SD12	須恵器　杯A	12.4	8.4	3.5	－	1/3	底面回転ヘラ削り	白色粒	灰色	還元	
79	SD20	須恵器　杯B蓋	12.0	－	(2.3)	－	1/2	頂部回転ヘラ削り後ロクロ撫で	白色粒φ4mm	灰色	還元堅緻	内面墨痕（転用硯）
80	SD20	土師器　椀	5.5	－	(3.5)	－	1/6	赤彩	白色粒	黄褐色	酸化	
81	SD20	土師器　甕	23.4	－	(3.3)	－	口縁	ロクロ撫で	褐色細粒	淡黄色	酸化	

番号	位置・遺構名	器種・器形名	口径 長さ	底径 幅	器高 厚さ・孔径	重さ	遺存率	成・整形の特徴	胎土	色調	焼成	備考
82	SD22	須恵器　杯A	12.4	8.0	2.7	－	1/4	底面回転ヘラ切り後撫で	白色粒	灰色	還元	外面スス付着
83	SD23	須恵器　杯B	13.0	7.2	3.9	－	1/2	底面回転ヘラ削り後工具撫で	白色粒多	暗灰色	還元堅緻	
84	P16	土師器　甕	－	7.3	(5.0)	－	底部	底部ヘラ削り	白色粒	淡灰黄色	酸化	
85	P34	土師器　甕	19.0	－	(5.0)	－	口縁1/8	ロクロ撫で	白・黒色粒少	淡灰黄色	酸化	
86	P83	須恵器　短頸壺	11.8	－	(6.0)	－	1/8	ロクロ成形、内面カキメ	白・黒色粒	灰色	還元堅緻	
87	SB14(P86)	須恵器　杯B蓋	12.2	－	(1.6)	－	1/4	頂部回転ヘラ削り	黒色粒多	淡灰色	還元	
88	SB14(P98)	須恵器　杯B	－	9.0	(4.6)	－	1/8	底面ヘラ切り後撫で	白色・透明粒多	淡灰色	還元軟質	
89	SB15(P87)	須恵器　杯B蓋	(13.8)	－	(1.6)	－	1/9	頂部回転ヘラ削り後ロクロ撫で	白色細粒	灰色	還元	
90	SB16(P116)	土師器　甕	13.0	－	(5.0)	－	口縁1/4	ロクロ撫で	白色細粒	鈍い灰黄色	酸化	スス付着
91	SB16(P128)	須恵器　杯B	11.8	8.2	3.2	－	1/2	底面回転ヘラ削り後撫で	透明粒	灰黄色	未還元	スス付着
92	SB17(P139)	須恵器　杯A	－	7.0	(2.8)	－	1/6	底面回転ヘラ切り後撫で	白色粒	灰色	還元	
93	SB17(P139)	須恵器　杯B蓋	11.2	－	(1.5)	－	1/8	頂部回転ヘラ削り後ロクロ撫で	白色粒多	灰色	還元堅緻	
94	P105	須恵器　杯B	12.0	7.4	4.1	－	1/3	底面ヘラ切り後撫で	白色粒	暗灰色	還元堅緻	底部に墨痕
95	P118	須恵器　杯B蓋	(16.2)	－	(2.2)	－	1/5	頂部回転ヘラ削り	白色・黒色粒多	灰色	還元	
96	P150	須恵器　杯B蓋	13.8	－	(1.6)	－	1/3	頂部回転ヘラ削り後ロクロ撫で	白色粒φ1mm	灰色	還元堅緻	
97	P160	土錘	6.0	3.2	1.0	(47.0)	7/8	樽c	白・黒色粒	黄灰色	酸化	
98	P167	土師器　甕	14.0	－	(6.5)	－	口縁1/8	ロクロ撫で	白色粒・砂粒	淡灰褐色	さ	全体にスス付着
99	P169	須恵器　杯B蓋	13.6	－	2.3	－	1/4	頂部回転ヘラ削り後ロクロ撫で	白色粒少	灰色	還元	
100	P175	土師器　甕	18.0	－	(4.0)	－	口縁1/8	ロクロ撫で	白色・透明粒	淡黄褐色	酸化	外面スス付着
101	包含層	土師器　甕	22.0	－	(2.4)	－	口縁1/8	ロクロ撫で	白・灰色粒	淡黄褐色	酸化	
102	包含層	土師器　甕	21.0	－	(5.5)	－	口縁1/5	ロクロ撫で	透明粒・雲母片	黄褐色	酸化	内面被熱による黒色
103	包含層	土師器　甕	22.4	－	(6.3)	－	口縁1/8	ロクロ撫で、体部外面カキメ	黒色・白色粒	黄褐色	酸化	
104	包含層	土師器　甕	19.0	－	(4.8)	－	口縁1/8	ロクロ撫で、体部内外面カキメ	白・灰色粒	黄褐色	酸化	
105	包含層	須恵器　杯A	13.0	7.0	3.5	－	1/2	外底面ヘラ削り	白色粒少	鈍い黄灰色	未還元	口縁内外面スス付着
106	包含層	須恵器　杯A	11.0	7.5	3.5	－	1/2	外底面ヘラ削り後撫で	白・黒色粒	褐灰色	還元	
107	包含層	須恵器　杯A	12.2	8.6	3.5	－	3/5	底面回転ヘラ削り後工具撫で	白色粒少	淡白灰色	還元	
108	包含層	須恵器　杯A	11.6	8.0	3.6	－	2/5	底面回転ヘラ削り後工具撫で	黒色粒少	白灰色	還元	
109	包含層	須恵器　杯A	11.8	7.8	3.3	－	3/5	底面回転ヘラ削り後工具撫で	白色粒微	白灰色	還元	
110	包含層	須恵器　椀	12.8	8.0	3.0	－	1/3	外底面ヘラ切り後撫で	白色粒少	灰色	還元	
111	包含層	須恵器　杯B蓋	10.8	－	2.3	－	1/4	外面回転ヘラ削り後撫で	黒色粒多	白灰色	還元堅緻	
112	包含層	須恵器　杯B蓋	12.9	－	2.5	－	1/8	頂部回転ヘラ削り後撫で	白色粒少	灰色	還元堅緻	
113	包含層	須恵器　杯B蓋	12.0	－	1.7	－	1/4	頂部回転ヘラ削り後撫で	白色粒少	灰色	還元堅緻	内面墨痕(転用硯)
114	包含層	須恵器　杯B蓋	12.8	－	3.7	－	1/4	頂部回転ヘラ削り後撫で	白色・透明粒	鈍い黄灰色	未還元	内面・摘み油壺(内面転用硯)
115	包含層	須恵器　杯B蓋	11.9	－	3.0	－	7/8	外面回転ヘラ削り	白・黒色粒	黄灰色	未還元	
116	包含層	須恵器　杯B蓋	11.8	－	2.5	－	1/4	外面回転ヘラ削り	黒色粒多	灰色	還元堅緻	
117	包含層	須恵器　杯B蓋	13.2	－	3.1	－	1/8	外面回転ヘラ削り後撫で	白色粒少	灰色	還元堅緻	
118	包含層	須恵器　杯B蓋	11.6	－	2.5	－	7/8	回転ヘラ削り後、ロクロ撫で	白色粒	暗灰色	還元堅緻	
119	包含層	須恵器　杯B	10.2	6.2	4.3	－	1/3	底部回転ヘラ切り後撫で	白・黒色粒	灰色	還元堅緻	
120	包含層	須恵器　杯B	10.2	6.0	4.3	－	2/3	底部回転ヘラ切り後撫で	黒色粒	黄灰色	還元	
121	包含層	須恵器　杯B	11.0	6.8	5.0	－	3/5	底部回転ヘラ削り	白色粒多	灰色	還元	外面還元後一部酸化
122	包含層	須恵器　杯B	(11.4)	(6.0)	3.5	－	底部1/3	ロクロ成形	白・黒色粒多	灰色	還元堅緻	
123	包含層	須恵器　杯B	11.0	7.0	4.0	－	4/5	ロクロ成形	黒色粒多	灰色	還元堅緻	底部焼き膨れによる割れ
124	包含層	須恵器　杯B	(11.0)	7.6	3.7	－	4/5	底部回転ヘラ切り	白色粒多	灰色	還元堅緻	焼き歪み
125	包含層	須恵器　杯B	11.8	8.2	4.3	－	1/2	底部回転ヘラ切り後、ロクロ撫で	白・黒色粒多	灰色	還元堅緻	
126	包含層	須恵器　杯B	14.0	7.0	6.0	－	底部1/8	底部回転ヘラ切り	白・黒色粒	灰褐色	還元堅緻	
127	包含層	須恵器　杯B	14.0	8.8	5.3	－	1/2	底部回転ヘラ切り後、ロクロ撫で	白色粒多	暗灰色	還元堅緻	
128	包含層	須恵器　杯B	12.9	7.0	5.5	－	1/2	底部回転ヘラ削り、外面沈線	黒色粒少	灰色	還元堅緻	内外面スス付着
129	包含層	須恵器　壺蓋	10.8	－	(2.5)	－	1/3	ロクロ成形	黒色粒多	灰色	還元堅緻	
130	包含層	須恵器　短頸壺	2.8	－	(4.5)	－	1/4	ロクロ成形	黒色粒多	灰色	還元堅緻	
131	包含層	須恵器　短頸壺	9.2	－	(8.0)	－	体部1/3	ロクロ成形	黒色粒	灰色	還元堅緻	焼き歪み
132	包含層	須恵器　高杯	－	－	(9.0)	－	脚部4/5	ロクロ成形	白色粒	淡黄白色	酸化	脚部のみ
133	包含層	須恵器　双耳瓶	(20.5)	－	－	－	肩部1/4	ロクロ成形	白・黒色粒	灰色	還元堅緻	
134	包含層	須恵器　壺	－	5.0	(8.7)	－	体部	体部下半～底部回転ヘラ削り	白・黒色粒多	灰色	還元堅緻	体部上半自然釉
135	包含層	須恵器　壺	－	8.8	(9.0)	－	体部1/2	ロクロ成形、底部内面指押え痕	白・黒色粒	灰色	還元堅緻	
136	包含層	須恵器　甕	20.2	－	(6.2)	－	口縁1/7	ロクロ成形	白・黒色粒	暗灰色	還元堅緻	
137	包含層	須恵器　甕	32.0	－	(7.5)	－	口縁1/7	ロクロ成形	黒色粒	暗灰色	還元堅緻	
138	包含層	土師器　皿	13.0	8.0	2.2	－	1/8	外底部回転糸切り、体部下半削り、他ロクロ撫で	黒色粒・白色粒少	鈍い黄灰色	酸化	内外面被熱
139	包含層	土師器　皿B	－	6.8	(2.2)	－	底部のみ	外面底部回転糸切り後ロクロ撫で	白色細粒少	黄褐色	酸化	
140	包含層	土師器　皿B	－	6.7	(1.8)	－	底部のみ	外面底部回転糸切り後ロクロ撫で	白色細粒極少	暗黄褐色	酸化	内面ミガキか
141	包含層	土師器　皿B	－	6.2	(2.1)	－	底部のみ	外面底部回転糸切り後ロクロ撫で	白色細粒少	淡黄灰色	酸化	
142	包含層	土師器　皿B	－	7.3	(2.3)	－	底部のみ	外面底部回転糸切り後撫で	白色細粒・灰色細粒少	淡灰黄色	酸化	
143	包含層	土師器　椀A	11.7	6.1	3.5	－	7/8	外面ヘラ磨き、底部糸切り後削り、内面ロクロ撫で	白色粒	淡黄褐色	酸化	内黒
144	包含層	土師器　甕	22.2	－	(4.3)	－	口縁1/7	ロクロ成形	白色粒	淡黄灰色	酸化	
145	包含層	土師器　甕	13.0	－	(5.9)	－	口縁1/5	ロクロ成形	白・黒色粒少	淡黄灰色	酸化	外面はく落
146	包含層	土師器　甕	15.0	－	(5.8)	－	口縁1/4	ロクロ成形	白色粒	黄灰色	酸化	内外面スス付着
147	包含層	土師器　甕	19.8	－	(9.0)	－	口縁1/8	ロクロ成形	白・黒色粒	黄灰色	酸化	口縁スス付着
148	包含層	土師器　甕	18.6	－	(7.4)	－	口縁1/8	ロクロ成形、外面体部カキメ	白色細粒	赤黄色	酸化	口縁スス付着
149	包含層	土師器　蓋	22.0	－	(1.9)	－	1/7	ロクロ成形	白・黒色細粒	淡黄褐色	酸化	赤彩、高杯カ
150	包含層	土錘	6.7	3.3	1.2	62.7	6/7	樽b	白・灰色粒	淡黄白色	酸化	
151	包含層	土錘	6.5	4.3	1.3	125.6	完形	樽c	黒色粒、雲母片	淡黄灰色	酸化	
152	包含層	土錘	5.8	3.6	1.3	79.1	完形	樽c	灰色粒多	淡黄灰色	酸化	
153	包含層	土錘	4.5	1.5	0.6	7.8	8/9	樽a	黒色細粒	淡黄褐色	酸化	
154	SE01	付札状木製品	10.3	3.6	0.7	24.0	完形		－	－	－	ケヤキ
155	SE01	斉串	13.2	1.3	0.6	7.0	完形		－	－	－	スギ？
156	SE01	斉串	12.8	1.2	0.5	9.0	完形		－	－	－	スギ
157	SE01	斉串	13.4	0.9	0.4	7.0	完形		－	－	－	スギ
158	SE01	斉串	13.6	0.9	0.5	7.0	完形		－	－	－	スギ
159	SE01	斉串	13.3	1.9	0.3	8.0	完形		－	－	－	スギ
160	SE01	斉串	13.8	0.9	0.4	6.0	完形		－	－	－	スギ
161	SE01	斉串	14.4	1.3	0.4	7.0	完形		－	－	－	スギ？
162	SE01	斉串	12.8	1.3	0.3	6.0	完形		－	－	－	スギ
163	SE01	木製品	7.9	5.1	1.7	－	不明	表面磨き、片面に線刻あり、下部の棒状部欠損	－	－	－	ケヤキ

番号	位置・遺構名	器種・器形名	口径	底径	器高	重さ	遺存率	成・整形の特徴	胎土	色調	焼成	備考
			長さ	幅	厚さ・孔径							
164	SE01	木製品	7.0	2.1	1.1	－	不明	部分欠損	－	－	－	ケヤキ
165	SE01	刀形木製品	31.4	3.4	0.7	－	不明	上下部欠損	－	－	－	スギ
166	SE01	下駄	(21.0)	10.5	4.0	－	3/5		－	－	－	スギ
167	包含層	石帯（巡方）	3.1	3.4	0.5	12.9	完形	－	－	黒色	－	
168	包含層	緑釉陶器	－	3.6	(1.3)	－	底部のみ	底部糸切り	淡黄白色	淡緑色	酸化	

米田大覚遺跡　遺物観察表（２）　Ｂ区

番号	位置・遺構名	器種・器形名	口径	底径	器高	重さ	遺存率	成・整形の特徴	胎土	色調	焼成	備考
			長さ	幅	厚さ・孔径							
1	SK05	土錘	7.3	4.2	1.3	－	完形	樽ｃ	白色・透明粒	黄褐色	酸化	
2	SD01	須恵器　杯B	9.8	5.5	3.4	－	1/3	底部回転ヘラ切削り	白・黒色粒	灰色	還元堅緻	
3	SD01	須恵器　杯B	11.0	7.0	4.2	－	1/8	底部回転ヘラ削り	白・黒色粒	淡灰色	還元堅緻	断面にスス付着
4	SD01	須恵器　杯B蓋	(12.3)	－	(2.0)	－	1/4	頂部回転ヘラ削り後ロクロ撫で	白色粒	灰色	還元堅緻	内面転用硯
5	SD08	須恵器　杯A	11.2	6.0	3.1	－	3/5	底部回転ヘラ切り後、撫で	灰色粒	鈍い灰黄色	還元	口縁外部にスス付着
6	SD08	須恵器　杯A	11.7	7.0	4.1	－	完形	底部回転ヘラ削り	白色粒	灰白色	還元軟質	
7	SD08	須恵器　杯A	12.0	6.8	3.3	－	1/4	底部回転ヘラ削り	黒色粒	灰黄色	軟質還元	
8	SD08	須恵器　杯B蓋	16.5	－	2.4	－	1/7	回転ヘラ切り後、ロクロ撫で	白色・透明粒	白灰色	還元堅緻	
9	SD08	須恵器　杯B	11.0	7.1	4.1	－	3/5	回転ヘラ切り後、ロクロ撫で	白色粒	灰色	還元堅緻	
10	SD08	須恵器　杯B	9.9	6.6	4.0	－	1/2	回転ヘラ切り	白色粒	灰色	還元堅緻	
11	SD08	須恵器　杯B	10.8	6.4	4.1	－	3/4	ロクロ撫で後、工具調整	白色粒	灰色	還元堅緻	
12	SD08	須恵器　杯B	12.2	6.8	4.3	－	3/4	回転ヘラ切り後、ヘラ削り	白・黒色粒少	灰色	還元堅緻	外底部に丸く墨痕
13	SD08	土師器　椀A	－	4.2	(2.0)	－	1/4	ロクロ撫で、底部回転糸切り	黒色粒	淡赤黄色	酸化	内外面赤彩・外面被熱
14	SD08	土師器　甕	12.0	－	4.5	－	口縁1/4	ロクロ撫で	白色粒	鈍い灰黄色	酸化	口縁内部・体部外面にスス
15	SD08	土師器　甕	20.4	－	(4.0)	－	口縁1/8	口縁ロクロ撫で、体部カキメ	白色・透明粒	淡黄褐色	酸化	
16	SD08	土師器　鍋	36.0	－	(3.5)	－	1/10	内面・外面上半部ロクロ撫で、下半部カキメ	白色粒	淡灰黄色	酸化	
17	SD08	土師器　鍋	40.0	－	(7.5)	－	1/8	内面カキメ、外面口縁ロクロ撫で体部ヘラ削り	白色粒	鈍い灰黄色	酸化	
18	SD13	土師器　甕	17.5	－	(5.0)	－	口縁1/10	体部外面カキメ	白色粒少	鈍い灰黄色	酸化	
19	SD14	土師器　甕	21.0	－	(6.0)	－	口縁1/7	内面・外面上半部ロクロ撫で、下半部カキメ	白・黒色粒	淡灰黄色	酸化	
20	SD15	土師器　椀A	12.2	4.8	3.8	－	2/3	回転糸切り後、ヘラ削り	白色・透明粒	淡赤褐色	酸化	内外面赤彩
21	SD15	土師器　椀	12.4	－	(3.7)	－	1/3	内面・外面上半部ロクロ撫で、下半部撫で	白色粒	赤黄色	酸化	内外面赤彩
22	SD16	須恵器　杯A	11.6	7.6	3.5	－	1/4	底部回転ヘラ切り後、工具調整	黒色粒少	灰色	還元堅緻	
23	SD16	須恵器　杯B	11.2	7.0	3.7	－	1/2	底部回転ヘラ切り後撫で	透明粒少	鈍い黄灰色	未還元	内外面被熱
24	SD16	土師器　甕	23.0	－	(3.4)	－	口縁1/8	ロクロ撫で	黒色粒少	淡灰黄色	酸化	
25	SD16	土錘	6.5	3.6	1.4	72.0	完形	樽ｃ	灰・黒色粒	淡褐白色	酸化	
26	SD17	須恵器　杯A	12.0	7.6	3.4	－	1/7	底部回転ヘラ切り	白色粒少	灰色	還元堅緻	
27	SD18	須恵器　杯A	13.0	6.0	3.3	－	1/2	底部回転ヘラ切り後、工具調整	白色・透明粒	淡黄灰色	軟質還元	
28	SD19	土師器　甕	18.5	－	(4.0)	－	口縁1/9	ロクロ撫で	白色・透明粒	淡灰黄色	酸化	口縁外面にスス付着
29	SD21	須恵器　杯A	11.6	5.5	3.7	－	2/5	底部回転ヘラ切り後、工具調整	白色粒	淡黄灰色	軟質還元	
30	SD24	須恵器　杯A	12.0	6.8	3.7	－	2/3	底部回転ヘラ切り	透明粒	黄橙色	未還元	
31	SD28	須恵器　杯A	12.0	7.5	3.0	－	1/2	回転ヘラ切り後撫で	白色粒多	灰色	還元堅緻	
32	SD28	須恵器　杯B	11.0	7.5	3.8	－	1/2	頂部回転ヘラ削り後撫で	白色粒・黒色粒多	灰色	還元堅緻	口縁内外部にスス付着
33	SD31	土師器　甕	17.2	－	(4.0)	－	口縁1/8	ロクロ撫で	白色粒・黒色粒少	鈍い黄褐色	酸化	内面スス付着
34	SD31	土師器　甕	21.9	－	(4.2)	－	口縁1/7	体部外面カキメ	白色粒少	黄灰色	酸化	
35	SD37	須恵器　杯A	12.0	7.6	3.5	－	1/4	底部回転ヘラ切り後、工具調整	黒色粒少	灰色	還元堅緻	内面スス付着
36	SX02	土師器　椀	12.0	－	(3.2)	－	1/5	ロクロ撫で	白色細粒	黒色	酸化	全体にスス付着
37	SX02	土師器　椀A	－	5.4	(3.0)	－	2/3	ロクロ撫で、体部下半～底部ヘラ削り	白色粒多・黒色細粒	赤褐色	酸化	内外面赤彩
38	SX03	須恵器　杯A	12.4	7.8	3.6	－	完形	底部回転ヘラ切り後、工具調整	気泡小孔多・黒色粒	灰色	還元	
39	SX03	須恵器　杯B大	14.5	8.0	6.3	－	7/8	回転ヘラ切り	白色粒多	灰色	還元堅緻	
40	SX03	土師器　椀A	12.6	6.0	4.2	－	3/4	回転糸切り	赤・灰色粒	淡黄褐色	酸化	
41	SX03	土錘	6.8	1.2	0.6	－	完形	樽ａ	白色細粒	黄灰色	酸化	
42	SX05	土師器　甕	－	6.0	(3.5)	8.8	1/9	外面ヘラ削り、内面ロクロ撫で	白色粒少・黒色粒少	鈍い淡灰黄色	酸化	
43	SX05	土錘	6.5	4.0	1.5	－	完形	樽ｃ	灰色粒	淡褐白色	酸化	
44	SB19(P14)	須恵器　杯A	11.4	7.0	3.7	86.3	2/3	ロクロ撫で、底部工具整形	白色・透明粒	淡黄褐色	酸化	土師質
45	SB18(P62)	土師器　鍋	36.0	－	(6.0)	－	口縁1/10	カキメ	白・黒色粒	淡黄色	酸化	内外面スス付着
46	包含層	須恵器　杯B	15.6	9.0	6.7	－	1/2	回転ヘラ切り後、ロクロ撫で	白色粒	灰色	還元	底部内面使用による磨耗
47	包含層	須恵器　杯B蓋	12.6	－	(1.1)	－	1/6	回転ヘラ削りり後、ロクロ撫で	白色粒少	灰黄色	還元	転用硯(墨痕)
48	包含層	土師器　甕	19.0	－	(5.0)	－	口縁1/8	ロクロ撫で	黒色粒少	鈍い灰黄色	酸化	
49	包含層	土師器　甕	19.0	－	(2.5)	－	口縁1/8	ロクロ撫で	白色・透明粒多	黄褐色	酸化	
50	SX05	須恵器　杯B	11.2	6.4	4.0	－	2/3	底部回転ヘラ切り	白色粒	灰色	還元堅緻	
51	包含層	土師器　甕	19.0	－	(3.5)	－	口縁1/8	ロクロ撫で	白色粒・黒色粒	淡黄色	酸化	
52	SB14(P31)	須恵器　瓶	－	8.4	(11.0)	－	1/4	外：カキメ	白色粒・黒色粒	暗灰色	還元堅緻	
53	包含層	土師器　椀A	－	6.0	(2.0)	－	1/8	底部回転糸切り	白色粒	鈍い黄灰色	酸化	外面～底部スス付着
54	包含層	土師器　甕	19.6	－	(7.0)	－	1/4	ロクロ撫で	白色粒少	淡灰黄色	酸化	口縁外面にスス付着
55	包含層	土師器　甕	(21.6)	－	(2.5)	－	口縁1/10	ロクロ撫で	黒色粒	淡灰黄色	酸化	外面にスス付着
56	包含層	土師器　鍋	37.6	－	(4.8)	－	口縁1/10	ロクロ撫で	白・黒色粒	淡褐色	酸化	
57	包含層	須恵器　杯B蓋	12.8	－	2.6	－	1/3	ロクロ撫で	黒色粒	灰色	還元堅緻	外面釉薬
58	包含層	須恵器　杯B蓋	－	－	(2.4)	－	4/5	回転ヘラ切り後、ロクロ撫で、口縁全て欠	白色粒	灰色	還元堅緻	ヘラ記号「×」、転用硯
59	包含層	須恵器　杯B蓋	－	－	(3.0)	－	3/4	頂部回転ヘラ削り、口縁全て欠	白色粒多	暗灰色	還元堅緻	転用硯(墨痕)
60	包含層	須恵器　杯B蓋	15.0	－	3.9	－	1/3	ロクロ撫で	白色粒	白灰色	還元	転用硯(墨痕)スス付着
61	包含層	須恵器　杯B蓋	15.6	－	3.0	－	完形	回転ヘラ削り	白色粒	灰色	還元堅緻	
62	包含層	須恵器　杯B	15.4	9.0	6.4	－	1/2	回転ヘラ切り	白色粒多	暗灰色	還元堅緻	焼き歪み
63	包含層	須恵器　杯B	10.4	5.1	3.7	－	1/3	ロクロ撫で	白・黒色粒	灰色	還元堅緻	
64	包含層	須恵器　杯B	11.2	7.5	4.2	－	7/8	底部ヘラ削り後ロクロ撫で	白色粒	内：褐色	還元	
65	包含層	須恵器　杯B大	17.0	9.4	6.6	－	1/3	底部ヘラ削り	白色粒・黒色粒多	灰色	還元堅緻	
66	包含層	須恵器　壺蓋	12.0	－	(3.0)	－	1/3	頂部回転ヘラ削り	白色粒密	暗灰色	還元堅緻	つまみ欠損
67	包含層	須恵器　壺蓋	13.5	－	6.2	－	4/5	頂部回転ヘラ削り	白色粒多	灰色	還元堅緻	
68	包含層	須恵器　壺蓋	18.0	－	(3.3)	－	1/5	頂部回転ヘラ削り	黒色粒	灰色	還元堅緻	
69	包含層	須恵器　甕	(26.0)	－	(8.0)	－	肩部1/4	ロクロ成形	白色粒	灰色	還元堅緻	
70	包含層	土師器　甕	9.0	－	(4.3)	－	1/10	ロクロ撫で、外面体部下半ヘラ削り	白色粒微	淡黄褐色	酸化	スス付着
71	包含層	土師器　甕	18.2	－	(2.7)	－	口縁1/5	ロクロ成形	白色粒	淡黄色	酸化	
72	包含層	土師器　甕	19.0	－	(5.2)	－	口縁1/6	ロクロ撫で、外面体部カキメ	白色・透明粒	淡褐黄色	酸化	
73	包含層	土師器　甕	20.0	－	(3.7)	－	口縁1/8	ロクロ成形	白色粒少	淡黄色	酸化	

番号	位置・遺構名	器種・器形名	口径 長さ	底径 幅	器高 厚さ・孔径	重さ	遺存率	成・整形の特徴	胎土	色調	焼成	備考
74	包含層	土師器 甕	20.0	－	(3.0)	－	口縁1/8	ロクロ成形	白・黒色粒少	淡黄色	酸化	
75	包含層	土師器 甕	－	4.5	(4.0)	－	1/3	内面～外面上部ロクロ撫で、下部ヘラ削り、底部回転糸切り	白色・透明粒多	淡黄色	酸化	
76	包含層	土師器 甕	－	6.0	(4.0)	－	1/8	内:ロクロ撫で、外:ヘラ削り	白・黒色粒少	淡黄褐色	酸化	スス付着
77	包含層	土師器 甕	19.0	－	(5.5)	－	口縁1/5	ロクロ撫で、体部外部カキメ	白色粒	淡黄色	酸化	図なし
78	包含層	土師器 鍋	(36.0)	－	(3.5)	－	口縁	ロクロ撫で、内面体部カキメ	透明粒微	淡灰黄色	酸化	
79	包含層	土師器 鍋	(38.0)	－	(5.2)	－	口縁1/4	内:カキメ	白色・透明粒	淡黄灰色	酸化	
80	包含層	土錘	7.5	3.1	1.1	51.5	7/8	寸胴b	白色・透明粒	淡黄灰色	酸化	
81	包含層	土錘	5.1	1.3	0.5	6.3	完形	樽a	白色・透明細粒	淡黄灰色	酸化	
82	包含層	土錘	6.9	4.0	1.3	103.8	ほぼ完形	樽c	白・黒色粒	暗黄灰色	酸化	
83	包含層	土錘	7.0	4.0	1.4	98.6	7/8	樽c	白色・透明粒	淡黄灰色	酸化	
84	包含層	土錘	6.7	3.9	1.4	80.5	完形	樽c	白色粒	淡黄灰色	酸化	
85	包含層	土錘	6.4	3.5	1.3	85.3	完形	寸胴b	白色・透明粒	淡黄白色	酸化	
86	包含層	土錘	6.5	3.5	1.5	71.9	8/9	樽c	白色・灰色粒	淡黄褐色	酸化	
87	包含層	土錘	7.2	4.0	1.5	105.8	完形	樽c	白色粒φ3mm、透明粒	淡黄灰色	酸化	
88	包含層	土錘	5.4	1.5	0.4	9.1	ほぼ完形	樽a	白色細粒	黄灰色	酸化	
89	包含層	石帯（丸鞆）	2.3	3.2	0.6	8.8	ほぼ完形	*	－	黒色	－	
90	包含層	磨製石斧	8.8	3.9	2.1	－	7/8	蛇紋岩	－	暗灰色	－	

米田大覚遺跡　遺物観察表（3）　C区

番号	位置・遺構名	器種・器形名	口径 長さ	底径 幅	器高 厚さ・孔径	重さ	遺存率	成・整形の特徴	胎土	色調	焼成	備考
1	SE02	土師器 椀A	－	4.4	2.5	－	底部	回転糸切り　内黒	白色粒	灰褐色	酸化	
2	SE02	須恵器 坏A	(11.9)	(8.2)	2.9	－	1/2	回転ヘラ切り	白色細粒多	暗灰色	還元堅緻	
3	SE02	須恵器 坏A	(11.3)	(6.6)	－	－	1/3	回転ヘラ切り	白色粒多	灰黄色	還元	
4	SE02	須恵器 坏B	(12.6)	(6.4)	3.7	－	1/3	回転ヘラ切り	白色粒	灰色	還元堅緻	
5	SE02	須恵器 坏B	(11.2)	(7.0)	4.2	－	1/4	回転ヘラ切り	白色粒・黒色粒	暗灰色	還元堅緻	
6	SE02	須恵器 蓋	14.7	－	(3.2)	－	1/4	回転ヘラ削り	白色粒多	青灰色	還元堅緻	
7	SE02	須恵器 蓋	－	－	(3.2)	－	摘み	ロクロ成形　蓮蕾の蓋か	白色細粒多	暗灰色	還元堅緻	
8	SE02	須恵器 甕	－	－	－	－	胴部片	内:同心円当て具、外:平行叩き＋カキ目	細かな白色粒	灰色	還元堅緻	
9	SE02	須恵器 甕	－	－	－	－	胴部片	内:同心円当て具、外:平行叩き＋カキ目	白色粒・黒色細粒多	灰色	還元堅緻	
10	SE02	須恵器 瓶	－	－	(6.3)	－	胴部片	ロクロ成形	細かな白色粒多	暗灰色	還元堅緻	断面セピア色
11	SE02	須恵器 横瓶	－	－	－	－	胴部片	閉塞部	白色粒	灰色	還元堅緻	
12	SE02	土製品 上錘	6.9	1.3	－	8.6g	完形	管状上錘	相細か金雲母	灰褐色	酸化	
13	SE02	須恵器 メンコ	3.3	3.5	－	12.8g	完形	周辺を打ち欠く	黒色細粒多	灰色	還元堅緻	転用駒
14	SE02	斎串	15.3	2.0	－	8.62g	完形	頭部に御幣を挟む刻みが残る。				樹木名:杉
15	SE02	斎串	15.4	1.8	－	4.77g	完形	頭部に御幣を挟む刻みが残る。				樹木名:杉
16	SE02	斎串	15.2	1.8	－	3.49g	完形	頭部に御幣を挟む刻みが残る。				樹木名:杉
17	SE02	斎串	13.6	1.9	－	4.95g	頭部欠損	頭部に御幣を挟む刻みが残る。				
18	SE02	斎串	(7.3)	1.9	－	2.51g	部分	頭部に御幣を挟む刻みが残る。				
19	SE02	斎串	4.5	1.5	－	0.84g	部分	先端部				
20	SE02	斎串	6.6	1.6	－	1.24g	部分	先端部				
21	SE02	用途不明	9.2	1.4	－	2.35g	部分	板状				
22	SE02	横板	57.0	12.8	1.6	－	1/2	当初縦板としたが切り込みが見られ横板とした。				
23	SE02	曲物　底板	39.9	(23.0)	0.5	－	1/2	木釘昆は見当たらない。				
24	SE02	曲物　底板	12.3	8.9	－	62.06g	3/4	周囲に木釘が残る。				樹木名:杉
25	SE02	曲物　底板	－	－	－	10.08g	部分					樹木名:杉
26	SE03	土師器 椀A	－	4.6	(1.0)	－	底部	回転糸切り	白色粒	黄褐色	酸化	
27	SE03	土師器 椀A	12.1	4.9	4.2	－	完形	内外赤彩　回転糸切り　体部外面ヘラ削り後ロクロ撫で	細かな白色・透明粒	黄褐色	酸化	
28	SE03	土師器 椀A	(13.4)	5.2	4.4	－	2/3	内外赤彩　回転糸切り	白色粒	黄褐色	酸化	
29	SE03	須恵器 坏A	(10.8)	－	(3.5)	－	1/6	ロクロ成形	白色粒	灰色	還元	
30	SE03	須恵器 蓋	(12.2)	－	(2.0)	－	1/4	ロクロ成形	白色粒	灰色	還元	
31	SE03	須恵器 蓋	－	－	(1.3)	－	摘み	ロクロ成形　扁平紐	白色粒	灰色	還元	内面墨痕(転用硯)
32	SE03	須恵器 甕	－	－	(4.5)	－	頸部片	内:同心円当て具、外:カキ目	白・灰色粒	灰色	還元	
33	SE03	樺状木製品	(28.0)	1.1	0.7	13.20g	部分	断面扁平な円形を呈する棒状の木製品				
34	SE03	斎串	14.4	2.0	0.2	2.71g	完形	頭部に御幣を挟む刻みが残る。				
35	SE03	斎串	13.4	1.6	0.3	3.99g	完形	頭部に御幣を挟む刻みが残る。				
36	SD26	須恵器 坏A	11.7	8.0	3.0	－	完形	底部回転ヘラ切り	白色粒・黒色噴出	青灰色	還元	
37	SD26	須恵器 坏A	12.5	7.4	3.0	－	1/2	底部回転ヘラ切り後撫で	白色粒φ1mm	青灰色	還元堅緻	
38	SD26	須恵器 坏A	(12.0)	(7.8)	2.5	－	1/3	底部回転ヘラ切り	白色・透明粒	白灰色	還元	
39	SD26	須恵器 坏B	11.3	6.8	4.3	－	4/5	底部回転ヘラ切り	白色粒、細粒多	暗青灰色	還元	
40	SD26	須恵器 坏B	11.7	7.5	4.5	－	3/4	底部回転ヘラ切り後ロクロナデ	白色角粒φ5mm細粒多	灰色	還元	
41	SD26	須恵器 坏B	(11.5)	(7.4)	4.2	－	1/2	底部回転ヘラ切り後ロクロナデ	白色細粒多	灰色	還元	
42	SD26	須恵器 坏B	(11.6)	6.7	3.7	－	2/3	底部回転ヘラ切り	白色粒	灰色	還元堅緻	
43	SD26	須恵器 坏B	11.0	7.0	4.4	－	3/4	底部回転ヘラ切り、内底部ナデ	白色粒	灰黄色	還元	
44	SD26	須恵器 坏B	(11.6)	6.4	3.7	－	1/2	底部回転ヘラ切り、内外自然釉付着	白・黒色粒	灰色	還元堅緻	
45	SD26	須恵器 坏B	(12.2)	(7.5)	4.4	－	1/2	底部回転ヘラ切り	白・黒色粒	灰色	還元堅緻	
46	SD26	須恵器 坏B	－	10.5	(4.9)	－	低部3/4	底部回転ヘラ切り、後ロクロナデ	白色粒黒色粒多火膨れ	灰色	還元堅緻	
47	SD26	須恵器 坏B	(15.1)	(9.8)	6.8	－	1/4	底部回転ヘラ切り	白色粒φ1mm多	青灰色	還元	
48	SD26	須恵器 蓋	－	－	(1.5)	－	摘み	摘みは扁平な擬宝珠	白・黒色粒	灰色	還元堅緻	
49	SD26	須恵器 蓋	12.0	－	3.0	－	完形	天井部回転ヘラ削り　内部は滑沢となり墨痕顕著で	白色細粒多	青灰色	還元堅緻	転用硯
50	SD26	須恵器 蓋	12.4	－	3.9	－	2/3	天井部回転ヘラ削り　摘みは擬宝珠	白色粒	灰黄色	還元	
51	SD26	須恵器 蓋	(15.4)	－	(2.3)	－	1/4	天井部回転ヘラ削り後ナデ	白・黒色粒	灰色	還元	
52	SD26	須恵器 鉢	－	－	5.2	－	肩部片	カキ目	白色粒	黄灰色	還元	
53	SD26	須恵器 鉢	－	－	9.2	－	胴部片	胴部下端手持ちヘラ削り	白色粒	黄灰色	還元	
54	SD26	須恵器 瓶	－	－	(3.3)	－	頸部片	ロクロ成形	白色粒、黒色細粒多	灰色	還元堅緻	
55	SD26	須恵器 瓶	－	－	(6.2)	－	肩部片	ロクロ成形。	白色粒	暗灰色	還元堅緻	
56	SD26	須恵器 瓶	－	－	(7.8)	－	肩部1/4	ロクロ成形。肩～胴部に沈線が4本巡る。	白色・黒色細粒多	灰色	還元堅緻	
57	SD26	須恵器 短頸壺	－	－	(9.4)	－	肩部1/6	ロクロ成形。肩が丸くなるタイプ。	黒・白色細粒多黒色ガラス質粒	灰色	還元堅緻	
58	SD26	須恵器 瓶	－	(16.9)	(2.7)	－	瓶の高台1/2	接地面の少ないタイプ。	白・黒色粒多	灰色	還元堅緻	
59	SD26	土師器 小型甕	－	－	(4.5)	－	底部	底部は丸く納める。内:ナデ、外:ヘラ削り。	白・透明粒	鈍い黄橙色	酸化	2次焼成により表面はじける
60	SD26	須恵器 甕	－	－	－	－	胴部片	内:同心円当て具、外:平行叩き	黒色細粒多	灰色	還元堅緻	
61	SD26	須恵器 甕	－	－	－	－	胴部片	内:同心円当て具、外:平行叩き	白・黒色粒多	灰色	還元堅緻	

番号	位置・遺構名	器種・器形名	口径 長さ	底径 幅	器高 厚さ・孔径	重さ	遺存率	成・整形の特徴	胎土	色調	焼成	備考
62	SD26	須恵器 甕	－	－	－	－	胴部片	内:同心円当て具、外:平行叩き	黒色粒(ガラス質)	灰色	還元堅緻	
63	SD26	須恵器 甕	－	－	－	－	胴部片	内:同心円当て具、外:平行叩き	白・黒色粒	灰色	還元堅緻	
64	SD26	土製品 土錘	6.8	4.2	孔径1.2	110.4g	1/1	管状土錘	粗細か透明粒	鈍い黄褐色	酸化	
65	SD26	土製品 土錘	6.9	4.0	孔径1.5	107.7g	1/1	管状土錘	粗細か	鈍い黄褐色	酸化	
66	SD26	土製品 土錘	6.9	4.0	孔径1.3	107.6g	1/1	管状土錘	粗細か	鈍い黄褐色	酸化堅緻	
67	SD26	須恵器 メンコ	3.1	3.0	－	8.5g	1/1	周囲を打ち欠き後研磨	白色粒	灰色	還元	転用駒
68	SD26付近	須恵器 坏B	(12.0)	(7.4)	4.3	－	1/2	底部回転ヘラ切り	白色粒	青灰色	還元堅緻	
69	SD26付近	須恵器 坏B	(11.3)	(8.0)	4.1	－	1/3	底部回転ヘラ切り	白色細粒多	灰色	還元	
70	SD26付近	須恵器 蓋	(12.5)	－	2.8	－	1/4	天井回転ヘラ切り、鈕は扁平な擬宝珠	白色細粒	灰色	還元	
71	SD28付近	土師器 椀A	(12.3)	5.2	3.9	－	1/2	底部静止糸切り、下端手持ちヘラ削り。内外赤彩	灰色・透明粒	淡い黄褐色	酸化	
72	SD28付近	須恵器 坏A	10.7	8.8	4.6	－	3/5	底部回転ヘラ切り	白・黒色粒	淡い灰白色	還元	
73	SD28付近	須恵器 坏B	10.9	6.8	4.3	－	4/5	底部回転ヘラ切り	白色粒φ1mm	灰色	還元	
74	SD28付近	須恵器 坏B	(12.2)	(8.3)	4.1	－	1/3	灯明用。底部回転ヘラ切り	白色粒φ2mm	青灰色	還元堅緻	
75	SD28付近	須恵器 蓋	(13.4)	－	(2.9)	－	口縁部片	天井回転ヘラ削り	細かな白色粒	明るい灰色	還元	
76	SD28付近	土師器 甕	－	－	－	－	口縁部片	ロクロ成形。	白色粒	灰褐色	酸化	
77	SD28付近	土師器 甕	－	－	－	－	口縁部片	ロクロ成形。胴部カキ目	白色・透明粒	にぶい橙色	酸化	
78	SD28付近	土師器 小型甕	(10.8)	－	(8.6)	－	口縁～頸部1/2	ロクロ成形。下端手持ちヘラ削り、外部煤付着。	細かな白色粒、海綿骨針	白黄色	酸化	
79	SD28付近	須恵器 甕	－	－	－	－	肩部	内:同心円当て具、外:平行叩き＋カキ目	白・黒色粒ガラス質	灰色	還元堅緻	
80	SD28付近	須恵器 瓶	6.8	－	(8.6)	－	口縁～頸部	ロクロ成形　長頸壺	細かな白色粒		還元堅緻	
81	SD28付近	須恵器 瓶	－	－	－	－	胴部片	内:カキ目、外:平行叩き	白色粒φ1mm	灰色	還元堅緻	
82	SD29	須恵器 坏A	(12.0)	(7.4)	3.5	－	1/5	底部回転ヘラ切り	シルト	灰色	還元	
83	SD29	須恵器 坏A	(12.0)	(6.4)	3.3	－	1/3	底部回転ヘラ切り	白色粒	灰色	還元	
84	SD29	須恵器 坏B	－	5.6	(2.5)	－	底部	底部回転ヘラ切り	白色粒多	灰色	還元	
85	SD29	須恵器 坏B	(14.6)	(9.0)	6.9	－	1/6	大振りの坏。底部回転ヘラ切り	白色細粒	青灰色	還元堅緻	
86	SD29	須恵器 蓋	(12.8)	－	(1.0)	－	口縁部片	天井回転ヘラ切り後ナデ	白色細粒	灰色	還元堅緻	
87	SD29	須恵器 蓋	(12.6)	－	(1.8)	－	口縁部片	天井回転ヘラ切り後ナデ。	白色細粒	にぶい褐色	未還元	
88	SD29	須恵器 蓋	9.6	－	2.9	－	1/2	天井回転ヘラ切り後ナデ。鈕は扁平な擬宝珠	白色細粒	にぶい褐色	未還元	
89	SD29	須恵器 甕	－	－	(8.4)	－	胴部片	内:同心円当て具、外:平行叩き＋カキ目	白・黒色細粒多	灰色	還元堅緻	
90	SD29付近	須恵器 坏A	11.8	8.4	3.7	－	ほぼ完形	底部回転ヘラ切り後ナデ。内底部ナデ	白色細粒	にぶい褐色	未還元	
91	SD29付近	須恵器 坏A	12.8	8.8	3.3	－	1/2	灯明用。底部回転ヘラ切り	白色細粒	黄灰色	未還元	
92	SD29付近	須恵器 坏A	12.0	7.6	3.3	－	2/3	外体部線刻「#####」。底部回転ヘラ切り	白色粒	黄灰色	未還元	
93	SD29付近	須恵器 坏B	11.0	6.6	4.0	－	ほぼ完形	底部回転ヘラ切り	白色細粒、黒色噴出	灰色	還元堅緻	
94	SD29付近	須恵器 坏B	11.8	7.2	3.8	－	ほぼ完形	底部回転ヘラ切り	白色細粒多	暗灰色	還元堅緻	
95	SD29付近	須恵器 坏B	11.8	7.6	4.1	－	ほぼ完形	底部回転ヘラ切り	白色細粒多	暗灰色	還元堅緻	
96	SD29付近	須恵器 坏B	11.0	6.6	3.6	－	2/3	底部回転ヘラ切り後ナデ。内底部ナデ	白色細粒	灰色	還元堅緻	
97	SD29付近	須恵器 坏B	10.8	7.4	4.2	－	ほぼ完形	底部回転ヘラ切り	白色細粒	灰色	還元堅緻	
98	SD29付近	須恵器 坏B	(14.2)	(8.4)	5.7	－	1/3	大振りの坏。底部回転ヘラ切り	白色細粒多	青灰色	還元堅緻	
99	SD29付近	須恵器 蓋	(12.0)	－	(1.7)	－	口縁部片	天井回転ヘラ切り後ナデ。	白色細粒	青灰色	還元堅緻	
100	SD29付近	須恵器 蓋	－	－	(1.9)	－	口縁部片	端部は屈折する短頸壺の蓋。天井回転ヘラ切り	黒色細粒	灰色	還元堅緻	
101	SD29付近	須恵器 蓋	12.6	－	3.1	－	2/3	天井回転ヘラ切り後ナデ。鈕は扁平な擬宝珠	白色粒	黄灰色	未還元	
102	SD29付近	須恵器 蓋	(14.8)	－	3.9	－	1/3	天井回転ヘラ切り後ナデ。鈕は擬宝珠	白色細粒多	青灰色	還元堅緻	
103	SD29付近	須恵器 椀(コップ型)	(9.8)	(5.4)	8.8	－	1/4	底部回転糸切り。	粗細かでわずかな白・黒色細粒	灰色	還元堅緻	火膨れ多、枡力
104	SD29付近	土師器 小型甕	－	7	(3.0)	－	底部	下端～底部手持ちヘラ削り	白・灰・透明粒	黄褐色	酸化	
105	SD29付近	土師器 小型甕	－	7.4	(2.8)	－	底部	下端～底部手持ちヘラ削り	白色・灰色粒多	黄褐色	酸化	
106	SD29付近	須恵器 甕	－	－	(8.7)	－	胴部片	内:同心円当て具、外:格子目叩き	白色粒	灰色	還元堅緻	
107	SD29付近	須恵器 甕	－	－	(7.4)	－	胴部片	内:同心円当て具、外:格子目叩き	白色粒	灰色	還元堅緻	
108	包含層	須恵器 坏A	(12.4)	(8.0)	3.1	－	1/2	底部回転ヘラ切り	白色細粒	灰褐色	未還元	内外被熱
109	包含層	土師器 椀A	－	6.4	(2.5)	－	1/2	内部煤付着、回転糸切り	白色粒	灰褐色	酸化	
110	包含層	土師器 小型甕	－	5.4	(1.3)	－	底部	回転糸切り	海綿骨針	黄褐色	酸化	
111	包含層	土師器 椀A	－	(4.7)	(1.4)	－	底部	回転糸切り	白色細粒	橙褐色	酸化	
112	包含層	土師器 椀A	－	(5.4)	(0.9)	－	底部	回転糸切り	白色・透明粒	灰褐色	酸化	
113	包含層	土師器 椀A	(11.6)	5.6	3.0	－	1/2	内:ヘラ磨き、外:下端～底部手持ちヘラ削り、墨書力	白色・透明粒	黄褐色(赤褐色)	酸化	内外赤彩
114	包含層	土師器 椀A	(15.6)	－	(4.9)	－	口縁部片	内黒。ロクロ成形	白色粒多	淡黄褐色	酸化	
115	包含層	土師器 椀A	(13.4)	－	(3.9)	－	口縁部片	内黒。ロクロ成形	角閃石	淡黄褐色	酸化	
116	包含層	土師器 椀A	－	4.6	(1.5)	－	底部	内黒。内:ヘラ磨き、外:下端～底部手持ちヘラ削り	白色粒	淡黄褐色	酸化	
117	包含層	土師器 椀A	－	5.4	(1.6)	－	底部	内黒。内:ヘラ磨き、外:下端～底部手持ちヘラ削り	白色シルト粒海綿骨針	淡黄褐色	酸化	
118	包含層	土師器 椀A	(13.7)	5.5	4.2	－	1/3	2次焼成により黒色化、回転糸切り	海綿骨針	暗灰色	酸化	
119	包含層	須恵器 坏A	12.0	6.2	3.6	－	1/2	底部回転ヘラ切り	白色粒	黄灰色	未還元	
120	包含層	須恵器 坏A	11.7	8.0	3.4	－	2/3	箱型。底部回転ヘラ切り	細かな白色粒	灰色	還元	
121	包含層	須恵器 坏A	(13.4)	(7.5)	3.4	－	1/3	底部回転ヘラ切り	白色粒多	にぶい橙色	未還元	
122	包含層	須恵器 坏A	(11.7)	(7.2)	2.5	－	1/4	底部回転ヘラ切り	白色粒	黄灰色	未還元	
123	包含層	須恵器 坏A	(13.6)	(7.6)	2.9	－	1/3	底部回転ヘラ切り	白色粒	暗灰色	還元堅緻	
124	包含層	須恵器 坏A	(11.4)	(7.4)	3.2	－	1/3	箱型。底部回転ヘラ切り	白色細粒多	灰色	還元堅緻	
125	包含層	須恵器 坏A	(12.2)	(8.0)	(3.2)	－	1/4	箱型。底部回転ヘラ切り	白色粒　シルト	灰褐色	未還元	
126	包含層	土師器 椀B	－	7.8	(2.4)	－	底部	内外赤彩。底部回転ヘラ削り	透明粒多	黄褐色	酸化	
127	包含層	須恵器 坏B	(11.8)	(7.5)	4.0	－	1/3	灯明用。底部回転ヘラ切り	白色粒	灰色	還元	
128	包含層	須恵器 坏B	(10.2)	(6.0)	4.1	－	1/4	底部回転ヘラ切り	白色粒・黒色噴出	青灰色	還元堅緻	
129	包含層	須恵器 坏B	(11.9)	(6.4)	3.9	－	1/3	底部回転ヘラ切り	白色粒	灰色	還元堅緻	
130	包含層	須恵器 坏B	(11.0)	(7.4)	4.0	－	1/2	底部回転ヘラ切り	白色粒	暗灰色	還元堅緻	
131	包含層	須恵器 坏B	8.9	7.6	4.6	－	4/5	歪みが大きい。底部回転ヘラ切り	白色粒多	暗灰色	還元堅緻	灯明用
132	包含層	須恵器 坏B	(11.0)	(7.0)	4.8	－	1/3	底部回転ヘラ切り	白色細粒	暗灰色	還元堅緻	
133	包含層	須恵器 坏B	(14.6)	(8.3)	5.7	－	1/5	底部回転ヘラ切り	白色粒	青灰色	還元堅緻	
134	包含層	須恵器 坏B	(17.0)	(9.5)	6.2	－	1/3	大振りの坏、底部回転ヘラ切り	白色粒	灰色	還元	
135	包含層	須恵器 坏B	(14.8)	(7.4)	5.3	－	1/2	大振りの坏、底部回転ヘラ切り	白色粒φ5mm	暗灰色	還元堅緻	
136	包含層	須恵器 坏B	(15.6)	(9.5)	5.5	－	1/2	大振りの坏、底部回転ヘラ切り	白色粒	青灰色	還元堅緻	
137	包含層	須恵器 坏B	(14.0)	8.6	6.6	－	4/5	大振りの坏、底部回転ヘラ切り	白色粒	灰色	還元	
138	包含層	土師器 蓋カ高杯	(24.4)	－	(1.6)	－	口縁部片	内外赤彩・ヘラ磨き。	灰色・海綿骨針	黄褐色彩橙色	酸化	
139	包含層	土師器 蓋カ高杯	(20.2)	－	(1.8)	－	口縁部片	内外赤彩・ヘラ磨き。	灰色・白色粒	黄褐色橙色	酸化	
140	包含層	須恵器 蓋	12.8	－	3.5	－	ほぼ完形	天井回転ヘラ削り。鈕は扁平な擬宝珠	白色粒　黒色噴出多	黄灰色	還元	
141	包含層	須恵器 蓋	(12.0)	－	2.8	－	1/4	天井回転ヘラ削り。鈕は扁平な擬宝珠	白色粒	黄灰色	還元	
142	包含層	須恵器 蓋	(12.0)	－	3.2	－	1/2	天井回転ヘラ削り後ナデ。鈕は扁平な擬宝珠	白色粒	灰色	還元堅緻	
143	包含層	須恵器 蓋	12.8	－	2.0	－	ほぼ完形	天井回転ヘラ削り後ナデ。鈕は扁平な擬宝珠。	黒色粒	灰色	還元堅緻	内面滑沢、墨痕転用硯

番号	位置・遺構名	器種・器形名	口径	底径	器高	重さ	遺存率	成・整形の特徴	胎土	色調	焼成	備考
			長さ	幅	厚さ・孔径							
144	包含層	須恵器　蓋	(12.0)	－	2.5	－	1/3	天井回転ヘラ削り後ナデ。鈕は扁平な擬宝珠。	細かな白色粒	青灰色	還元堅緻	内面滑沢、墨痕転用硯
145	包含層	須恵器　蓋	(13.0)	－	2.6	－	1/3	天井回転ヘラ削り後ナデ。鈕は扁平な擬宝珠。	細かな白色粒	灰色	還元	内面滑沢、墨痕転用硯
146	包含層	須恵器　蓋	－	－	[2.4]	－	体部片	天井回転ヘラ削り後ナデ。鈕は扁平な擬宝珠。	白色粒	暗灰色	還元堅緻	
147	包含層	須恵器　蓋	－	－	[2.4]	－	体部片	天井回転ヘラ削り後ナデ。鈕は扁平な擬宝珠。	白色粒	灰色	還元	転用硯
148	包含層	須恵器　蓋	－	－	(1.6)	－	体部片	天井回転ヘラ削り後ナデ。鈕は扁平な擬宝珠。	白色大粒φ8mm	灰色	還元堅緻	
149	包含層	須恵器　蓋	－	－	(2.0)	－	体部片	天井回転ヘラ削り後ナデ。鈕は扁平な擬宝珠。	白色粒	黄灰色	未還元	
150	包含層	須恵器　蓋	－	－	(1.8)	－	体部片	天井回転ヘラ削り後ナデ。鈕は擬宝珠。	白色粒	青灰色	還元堅緻	
151	包含層	須恵器　蓋	(12.0)	－	3.5	－	1/4	天井回転ヘラ削り後ナデ。鈕は擬宝珠。	白色粒	灰黄色	還元	
152	包含層	須恵器　蓋	－	－	(2.4)	－	体部片	天井回転ヘラ削り後ナデ。鈕は擬宝珠。	白色粒	灰色	還元堅緻	
153	包含層	須恵器　蓋	－	－	(3.8)	－	体部片	鈕は擬宝珠。	白色粒	青灰色	還元堅緻	
154	包含層	須恵器　蓋	－	－	(2.3)	－	鈕	天井回転ヘラ削り後ナデ。鈕は扁平な擬宝珠。	白色粒多　黒色粒	灰色	還元堅緻	
155	包含層	須恵器　蓋	8.0	－	2.3	－	3/4	天井回転ヘラ削り。鈕は擬宝珠。小壷の蓋	白色粒φ2mm	灰色	還元堅緻	
156	包含層	須恵器　蓋	11.4	－	[2.1]	－	1/1	天井回転ヘラ削り後ナデ。鈕は欠損。	白色粒	黄灰色	還元	
157	包含層	須恵器　蓋	(17.0)	－	[2.1]	－	1/3	天井回転ヘラ削り後ナデ。鈕は欠損。	白色粒	灰色	還元	内面滑沢、墨痕転用硯
158	包含層	須恵器　蓋	(17.0)	－	(2.3)	－	1/4	天井回転ヘラ削り後ナデ。鈕は欠損。	白色粒	灰色	還元堅緻	内面滑沢、墨痕転用硯
159	包含層	須恵器　蓋	(18.0)	－	(2.4)	－	1/2	天井回転ヘラ削り。鈕は欠損。	白色粒　黒色噴出	青灰色	還元堅緻	内面滑沢、墨痕転用硯
160	包含層	須恵器　蓋	(12.2)	－	(1.6)	－	口縁部片	天井回転ヘラ削り後ナデ。鈕は欠損。	白色粒多	青灰色	還元堅緻	内面滑沢、墨痕転用硯
161	包含層	須恵器　蓋	15.0	－	2.6	－	1/2	天井回転ヘラ削り後ナデ。鈕は無い。	黒色噴出多	灰色	還元堅緻	
162	包含層	須恵器　短頸壺蓋	－	－	(0.8)	－	口縁部片	口縁部は屈折する短頸壷の蓋。自然湯釉が付着する。	白色粒	灰色	還元堅緻	
163	包含層	土師器　高坏	－	13.4	(7.2)	－	脚部片	内外ヘラ磨き・赤彩	褐色粒	黄褐色	酸化	
164	包含層	土師器　高坏	－	－	－	－	接合部	内外赤彩	海綿骨針	黄褐色	酸化	
165	包含層	土師器　小型甕	(13.6)	－	(7.3)	－	口縁部1/4	ロクロ成形	白・褐色粒	灰橙色	酸化	
166	包含層	土師器　小型甕	－	(7.4)	－	－	底部	底部静止糸切り、下端手持ちヘラ削り。	白・褐色粒　海綿骨針	にぶい褐色	酸化	外面煤付着
167	包含層	土師器　小型甕	－	(5.8)	－	－	底部1/2	ロクロ成形。下端～底部手持ちヘラ削り	白色粒	黄褐色	酸化	
168	包含層	土師器　小型甕	(18.5)	－	(5.3)	－	口縁部1/4	ロクロ成形	海綿骨針	灰褐色	酸化	
169	包含層	土師器　甕	(20.6)	－	(8.5)	－	口縁部片	ロクロ成形・カキ目	白色粒	黄褐色	酸化	
170	包含層	土師器　鍋	(33.0)	－	(7.6)	－	口縁部片	内:外刷毛目、外:カキ目	透明・黒色・白色粒	褐灰色	酸化	
171	包含層	須恵器　甕	－	－	－	－	口縁部片	ロクロ成形	白色粒多	灰色	還元堅緻	
172	包含層	須恵器　甕	(25.0)	－	(4.9)	－	口縁部片	ロクロ成形	白色粒	灰色	還元堅緻	
173	包含層	須恵器　甕	－	－	(6.8)	－	胴部片	内:同心円当て具、外:平行叩き	海綿骨針	灰色	酸化	
174	包含層	須恵器　甕	－	－	(5.9)	－	胴部片	内:放射状当て具、外:平行叩き。	白色細粒	黄褐色	酸化	
175	包含層	須恵器　瓶	(10.0)	－	(7.6)	－	口縁～頸部1/2	口縁部は野摘み上げは無い。頸部中位に沈線が施される。	細かな白色粒	灰色	還元堅緻	
176	包含層	須恵器　瓶	－	(8.2)	(4.1)	－	底部1/4	ロクロ成形	白色粒	配意	還元堅緻	
177	包含層	須恵器　短頸壺	(9.1)	－	(4.7)	－	口縁部1/3	ロクロ成形	白・黒色粒	灰色	還元堅緻	
178	包含層	須恵器　瓶	－	－	(3.2)	－	肩部片	ロクロ成形	白色細粒　黒色噴出多	灰色	還元堅緻	火膨れ
179	包含層	須恵器　横瓶	(10.0)	－	(2.9)	－	口縁部1/3	ロクロ成形	海綿骨針多	暗灰色	還元堅緻	
180	包含層	須恵器　横瓶	(11.8)	－	(3.6)	－	口縁部1/5	ロクロ成形	白色粒多	灰色	還元堅緻	
181	包含層	須恵器　瓶	－	－	(13.5)	－	底部片	外:叩き	細かな白色粒	灰色	還元堅緻	
182	包含層	須恵器　横瓶	－	－	－	－	胴部片	内:同心円当て具、外:格子目叩き+カキ目	白・黒色細粒	灰色	還元堅緻	
183	包含層	須恵器　瓶	(24.0)	－	[7.2]	－	口縁部片	ロクロ成形・カキ目	白色粒	暗灰色	還元堅緻	
184	包含層	須恵器　瓶	(24.2)	－	(4.3)	－	口縁部片	ロクロ成形・カキ目	白色細粒多	暗灰色	還元堅緻	
185	包含層	須恵器　瓶	－	－	－	－	胴部片	内:同心円当て具、外:格子目叩き　漆付着	白色粒	灰色	還元堅緻	
186	包含層	須恵器　瓶	－	－	－	－	胴部片	内:同心円当て具、外:平行叩き　漆付着	白色粒	灰色	還元堅緻	
187	包含層	須恵器　小壷	－	5.0	(5.8)	－	頸～体部1/1	小型の短頸壷。下端は回転ヘラ削り	白色粒	灰色	還元堅緻	
188	包含層	須恵器　甕	－	－	－	－	頸部片	内:同心円当て具、外:叩き	白色粒	灰色	還元堅緻	
189	包含層	製塩土器（尖底）	－	－	(5.6)	－	底部	手づくねにより三角錐状の底を付ける。	白色シルト粒褐色チカ－	ミ糧い橙色	酸化	
190	包含層	緑釉　椀	－	(5.6)	(1.2)	－	底部	釉は内外に施されるが、底部までは及ばない。軟陶	白・黒色粒	黄灰・黄緑色	酸化	釉調
191	包含層	須恵器　メンコ	2.4	2.4	－	11.0 g	完形	周囲を打ち欠き後研磨	白色粒	灰色	還元堅緻	転用駒
192	包含層	須恵器　メンコ	2.2	2.5	－	7.7 g	完形	周囲を打ち欠き後研磨	白色粒	灰色	還元堅緻	転用駒
193	包含層	土製品　土錘	7.5	4.4	孔径1.5	124.3 g	完形	管状土錘	褐色粒	にぶい黄褐色	酸化	
194	包含層	土製品　土錘	6.8	3.5	孔径1.4	80.82 g	完形	管状土錘	白色粒　シルト粒	黄褐色	酸化	
195	包含層	土製品　土錘	5.3	3.5	孔径1.3	64.06 g	完形	管状土錘	白色粒	黄褐色	酸化	
196	包含層	土製品　土錘	4.8	1.6	孔径0.4	10.24 g	完形	管状土錘	相細か	にぶい橙色	酸化	
197	包含層	土製品　土錘	4.8	1.1	孔径0.3	5.59 g	完形	管状土錘	相細か	にぶい橙色	酸化	
198	包含層	土製品	4.5	2.5	2.2	－	部分	溶解し形状は不明。	白色細粒	黄灰色	酸化	
199	包含層	磨製石斧	9.7	3.7	2.7	160.66 g	後部欠損	敲打後研磨				石材:安山岩
200	包含層	磨製石斧	7.4	5.6	3.0	198.40 g	後部欠損	敲打後研磨				石材:安山岩
201	包含層	石製品　砥石	7.1	6.6	3.2	209.69 g	部分	七面使用				石材:砂岩
202	包含層	石製品　砥石	5.9	6.6	5.3	292.22 g	部分	四面使用				石材:砂岩
203	包含層	石製品　砥石	7.4	4.6	3.2	99.39 g	完形	使用頻度が高く曲面となる。				石材:凝灰岩
204	包含層	石製品　砥石	4.8	3.0	1.6	28.66 g	部分	使用頻度が高く曲面となる。				石材:凝灰岩

米田大覚遺跡　遺物観察表（４）　Ｄ区

番号	位置・遺構名	器種・器形名	口径	底径	器高	重さ	遺存率	成・整形の特徴	胎土	色調	焼成	備考
			長さ	幅	厚さ・孔径							
1	SE05	土師器　高坏	－	－	(9.4)		脚部	ロクロ成形。外:ヘラ磨き。内外赤彩	白色・透明粒	灰褐色	酸化堅緻	
2	SE05	須恵器　坏B	11.3	6.0	4.9		2/3	底部回転へら切り	白色粒	灰色	還元堅緻	
3	SE05	石製品　砥石	11.1	5.4	5.3	515 g	完形	石材は安山岩。面をなす部分に擦痕の範囲が観察される。				
4	SE05	曲物　底板	14.0	(5.8)	0.5	30.48 g	1/2	周囲に木釘がない事から蓋の可能性もある。				
5	SE05	曲物　底板	21.4	(12.2)	1.0		1/2	周囲に木釘がない事から蓋の可能性もある。				
6	SE05	井戸枠　縦板	(62.6)	(7.6)	3.0		部分	割材				
7	SE05	井戸枠　縦板	(46.5)	(12.2)	2.0		部分	割材				
8	SE05	井戸枠　縦板	(42.8)	(10.4)	1.0		部分	割材				
9	SE05	井戸枠　縦板	(28.4)	(13.4)	1.0		部分	割材				
10	SE05	井戸枠　縦板	(20.6)	(5.8)	1.0		部分	割材				
11	SE05	井戸枠　板材	(24.8)	(4.2)	1.0		部分	割材				
12	SE05	井戸枠　板材	(24.6)	(5.4)	1.0		部分	割材				
13	SE05	井戸枠　縦板	(37.0)	(9.2)	1.0		部分	割材				
14	SE05	井戸枠　縦板	(38.4)	(7.0)	1.0		部分	割材				
15	SE05	井戸枠　横桟	(46.4)	(5.7)	1.0		部分	割材				
16	SE05付近	須恵器　坏B	14.0	7.5	6.7	－	3/4	底部回転ヘラ切り後ナデ。内部ナデ	白色粒	青灰色	還元堅緻	
17	SE04	曲物　側板	(4.8)	3.8	0.3	3.74 g	側板片	側板の内側に毛引き痕が残る。				

番号	位置・遺構名	器種・器形名	口径 長さ	底径 幅	器高 厚さ・孔径	重さ	遺存率	成・整形の特徴	胎土	色調	焼成	備考
18	SE04	木製品　皿	(14.6)	(15.6)	0.5	76.54g	底部	ロクロ成形。刳り物				
19	SD30	須恵器　壺蓋	(17.0)	－	(2.8)	－	口縁部片	口縁部は直角に屈折する。	白色粒　黒色噴出	青灰色	還元堅緻	
20	SD30	土師器　鍋	(36.0)	－	(7.0)	－	口縁部片	口縁部は屈折し端部で面をなす。ロクロ成形	白・灰・透明粒	明黄褐色	酸化堅緻	
21	SD16	土師器　小型甕	(10.9)	－	(5.3)	－	口縁部片	ロクロ成形。胴部はヘラ削り。	黒色・透明粒	鈍い橙色	酸化堅緻	
22	SD16	須恵器　坏A	12.6	7.3	3.1	－	1/2	底部回転ヘラ切り	白色粒φ2～3mm	灰白色	未還元	
23	SD16	須恵器　坏A	11.7	5.6	3.4	－	2/3	底部回転ヘラ切り後ナデ	木目細か	灰黄色	未還元	全体に被熱
24	SD16	須恵器　坏A	11.6	6.0	3.7	－	完形	底部回転ヘラ切り	白色粒　黒色噴出	青灰色	還元堅緻	
25	SD16	須恵器　蓋	(17.0)	－	(2.0)	－	口縁部片	ロクロ成形。口縁部は端部で屈折する。	白色粒φ0.5～1mm	青灰色	還元堅緻	内面に油煙
26	SD16	須恵器　高坏	－	－	(10.2)	－	脚部	ロクロ成形。脚部中位に2条の沈線が施される。	白色粒	白灰色	還元堅緻	
27	SD16	須恵器　甕	－	(8.7)	(1.1)	－	胴部片	内:同心円+平行当て具、外:平行叩き+カキ目	細かな白色粒	青灰色	還元堅緻	
28	SD16	須恵器　甕	－	(14.0)	(1.0)	－	胴部片	内:同心円当て具、外:平行叩き(有節)	白色粒　黒色噴出物多	灰褐色	還元堅緻	
29	SD32	須恵器　蓋	(17.5)	－	3.2	－	1/4	回転ヘラ削り。口縁部は端部で屈折する。鈕は欠損。	白色粒φ2mm	灰色	還元堅緻	
30	SD27	須恵器　坏A	(10.8)	(5.0)	2.8	－	1/4	回転ヘラ切り後ナデ	細かな白色粒	白灰色	還元堅緻	
31	SD35	須恵器　坏A	11.0	7.8	3.3	－	ほぼ完形	回転ヘラ切り	黒色の噴出物多	灰褐色	未還元堅緻	口縁欠損部に油煙
32	SD36	須恵器　坏B	12.2	6.4	4.2	－	4/5	回転ヘラ切り	白色粒φ1mmまばら	灰褐色	還元堅緻	
33	SD36付近	須恵器　蓋	18.7	－	(3.4)	－	3/4	ロクロナデ外面上部回転ヘラ削り	白色・灰色粒	白灰色	還元堅緻	
34	SB32(P6)	土師器　椀A	(17.5)	－	(3.2)	－	口縁部片	ロクロ成形	細かな白色粒	鈍い橙色	酸化堅緻	
35	SB32(P6)	土師器　甕	(23.0)	－	(5.6)	－	口縁部片	長胴甕、ロクロ成形	細かな白色透明粒多	鈍い黄褐色	酸化堅緻	
36	SB32(P6)	須恵器　甕	－	－	(6.1)	－	胴部片	内:放射状当て具、外:平行叩き	細かな透明粒	黄褐色	未還元	土師器カ
37	包含層	土師器　椀A	－	5.4	(1.5)	－	底部	底部回転糸切り	白色・褐色粒	黄褐色	酸化	
38	包含層	土師器　椀A	－	(6.0)	(2.3)	－	底部1/2	底部回転糸切り	白色粒	黄褐色	酸化	
39	包含層	土師器　椀A	－	5.4	(3.7)	－	底部	底部回転糸切り	白色・褐色粒	黄橙色	酸化堅緻	
40	包含層	土師器　椀A	－	5.6	(1.9)	－	底部	内外赤彩。底部回転糸切り	白色・灰色粒	明るい黄褐色	酸化	
41	包含層	土師器　椀A	－	(4.4)	(2.0)	－	底部1/4	内外赤彩。底部回転糸切り	細かな白色粒	明るい黄褐色	酸化	
42	包含層	土師器　椀A	－	4.6	(1.3)	－	底部	内外赤彩。底部回転ヘラ切り	白色粒　黒褐色粒	明るい黄褐色	酸化	
43	包含層	土師器　椀A	13.0	4.6	3.7	－	2/3	内外赤彩。底部回転糸切り	細かな白色粒　角内石	明るい黄褐色	酸化堅緻	
44	包含層	土師器　椀A	12.0	5.0	4.6	－	4/5	内外赤彩。底部回転糸切り	相細か	明るい黄褐色	酸化	
45	包含層	土師器　椀A	12.6	5.4	4.5	－	2/3	内外赤彩。底部回転糸切り	細かな白・灰色粒	明るい黄褐色	酸化堅緻	
46	包含層	土師器　椀A	(11.0)	－	(3.0)	－	口縁部片	内黒。ロクロ成形	相細か	黄褐色	酸化堅緻	
47	包含層	土師器　椀A	－	(4.8)	(3.1)	－	底部	内黒。ロクロ成形。体～底部下端手持ちヘラ削り	白色粒多	黄褐色	酸化堅緻	
48	包含層	土師器　椀A	－	5.5	(3.1)	－	底部片	内黒。体部下端手持ちヘラ削り、底部静止糸切り	白色・透明粒	黄褐色	酸化堅緻	
49	包含層	土師器　椀A	－	－	(2.9)	－	体部片	内黒、外:赤彩。ロクロ成形	細かな白色粒　海面骨針	鈍い黄褐色	酸化堅緻	
50	包含層	土師器　皿B	－	－	(1.5)	－	底部	内外赤彩。底部回転糸切り	白色粒	鈍い黄褐色	酸化	
51	包含層	土師器　皿B	－	6.4	－	－	底部	内外赤彩。底部回転糸切り	白色粒	明黄褐色	酸化	
52	包含層	土師器　皿B	(14.0)	(6.4)	3.3	－	1/6	内外赤彩。底部回転糸切り	灰色粒φ1mm多	黄褐色	酸化堅緻	
53	包含層	土師器　高杯	(15.8)	－	(2.3)	－	口縁部片	口縁部は端部で短く屈折する。ロクロ成形。	海面骨針	淡黄褐色	酸化堅緻	内外ヘラ磨き後赤彩
54	包含層	土師器　高杯	(18.8)	－	(2.3)	－	口縁部片	口縁部は端部で短く屈折する。ロクロ成形。	白色粒(胎土灰色)	暗赤彩	酸化堅緻	内面ヘラ磨き後赤彩
55	包含層	土師器　高杯	－	－	(7.4)	－	杯部	ロクロ成形。外:赤彩	白・灰色粒	明黄褐色	酸化堅緻	
56	包含層	土師器　高坏	－	－	(3.8)	－	底部	ロクロ成形。内:ヘラ磨き。体部が膨らむ。	透明粒	黄褐色	酸化堅緻	内外赤彩
57	包含層	土師器　小型甕	(13.0)	－	(4.5)	－	口縁部1/3	ロクロ成形。内外煤付着	白色粒	黄褐色	酸化堅緻	
58	包含層	土師器　小型甕	(6.3)	－	(8.2)	－	1/3	ロクロ成形。胴部下端手持ちヘラ削り	細かな白色・透明粒	黄褐色	酸化堅緻	
59	包含層	土師器　小型甕	－	6.0	(2.3)	－	底部	回転糸切り後胴部下端～底部手持ちヘラ削り。	透明粒	鈍い黄褐色	酸化堅緻	内外煤付着
60	包含層	土師器　小型甕	－	7.0	(2.0)	－	底部	回転糸切り後胴部下端回転ヘラ削り	透明粒	暗褐色	酸化堅緻	
61	包含層	土師器　甕	(19.2)	－	(3.6)	－	口縁部1/4	内:ナデ、外:ハケ目	細かな白色・透明粒	橙色	酸化堅緻	
62	包含層	土師器　甕	(22.0)	－	(6.6)	－	口縁部1/4	内:ロクロナデ、外:カキ目	細かな白色・透明粒	鈍黄褐色	酸化堅緻	
63	包含層	土師器　鍋	－	－	(6.6)	－	口縁部片	内:木ロナデ、外:ロクロ成形	白・灰色粒	黄褐色	酸化堅緻	
64	包含層	土師器　鍋	－	－	(8.3)	－	把手	手づくねによる。半円形状の把手	細かな白色粒	明暗褐色	酸化堅緻	
65	包含層	須恵器　坏A	11.0	7.0	3.0	－	4/5	底部回転ヘラ切り、内:ナデ	細かな白色粒多	灰色	還元	
66	包含層	須恵器　坏A	12.0	8.0	3.1	－	4/5	底部回転ヘラ切り	木目細か	灰色	未還元	
67	包含層	須恵器　坏A	(11.6)	8.0	3.0	－	1/3	底部回転ヘラ切り	白色粒	青灰色	還元堅緻	
68	包含層	須恵器　坏A	(11.6)	6.0	3.0	－	1/3	底部回転ヘラ切り	細かな白色粒	灰色	還元堅緻	
69	包含層	須恵器　坏A	12.0	9.0	3.0	－	1/2	灯明用。底部回転ヘラ切り	白色粒	灰色	還元	
70	包含層	須恵器　坏A	(13.0)	7.2	3.2	－	1/4	底部回転ヘラ切り	細かな白色粒	灰色	還元	
71	包含層	須恵器　坏A	(11.6)	7.4	3.2	－	1/3	底部回転ヘラ切り	白色粒	青灰色	還元堅緻	
72	包含層	須恵器　坏A	(11.2)	7.4	3.6	－	2/5	底部回転ヘラ切り	灰色粒	白灰色	還元	
73	包含層	須恵器　坏A	(13.0)	7.8	3.8	－	1/3	底部回転ヘラ切り	白色粒　黒色噴出	灰色	還元堅緻	
74	包含層	須恵器　坏A	13.0	7.4	4.0	－	3/4	底部回転ヘラ切り、内:ナデ	細かな白色粒黒色粒噴出	灰色	還元	
75	包含層	須恵器　坏A	－	8.0	(2.8)	－	底部1/2	底部回転ヘラ切り後ナデ	白色粒	鈍い黄褐色	未還元	
76	包含層	須恵器　坏A	－	(8.4)	(1.5)	－	底部1/3	底部回転ヘラ切り後ハケ目状のナデ	白・灰色粒	白黄色	未還元	
77	包含層	須恵器　坏B	(10.7)	(7.1)	3.5	－	1/3	底部回転ヘラ切り	白色粒	灰色	還元堅緻	
78	包含層	須恵器　坏B	(11.3)	(7.5)	3.2	－	1/2	灯明用。腰が丸くなる。底部回転ヘラ切り	相細か	灰色	還元堅緻	
79	包含層	須恵器　坏B	(10.8)	(7.1)	4.2	－	1/3	底部回転ヘラ切り	白色粒多	青灰色	還元堅緻	
80	包含層	須恵器　坏B	(11.8)	(7.0)	4.1	－	1/2	底部回転ヘラ切り	白色粒	灰色	還元堅緻	
81	包含層	須恵器　坏B	(11.1)	(7.0)	3.8	－	1/3	灯明用。腰が丸くなる。底部回転ヘラ切り	白色粒	暗灰色	還元	
82	包含層	須恵器　坏B	10.5	6.2	4.3	－	3/4	底部回転ヘラ切り	灰色粒	白灰色	還元	
83	包含層	須恵器　坏B	(11.2)	8.0	4.4	－	2/3	箱型。底部回転ヘラ切り	白色粒	灰色	還元	
84	包含層	須恵器　坏B	(11.2)	6.8	4.3	－	1/3	灯明用。底部回転ヘラ切り	黒色粒	灰色	還元	
85	包含層	須恵器　坏B	(12.0)	(8.0)	4.3	－	1/3	箱型。底部回転ヘラ切り	白色粒	灰色	還元堅緻	
86	包含層	須恵器　坏B	(11.9)	7.5	4.3	－	1/2	薄手。底部回転ヘラ切り	白色粒	灰色	還元堅緻	
87	包含層	須恵器　坏B	(15.0)	(7.4)	4.3	－	1/3	底部回転ヘラ切り	白色粒	灰色	還元	
88	包含層	須恵器　坏B	(13.0)	(6.6)	4.8	－	1/3	底部回転ヘラ切り	黒色粒・灰色粒	灰色	還元堅緻	
89	包含層	須恵器　皿Bカ	－	(7.5)	(1.1)	－	底部片	内部滑沢であり転用硯。底部回転糸切り後ナデ	白色粒	暗灰色	還元堅緻	
90	包含層	須恵器　坏B	(15.2)	(9.2)	6.1	－	1/3	底部回転ヘラ切り	白色粒	灰色	未還元	
91	包含層	須恵器　坏B	(16.5)	－	(5.3)	－	1/4	ロクロ成形	白色粒	灰色	還元	
92	包含層	須恵器　坏B	(16.8)	－	(6.2)	－	1/4	ロクロ成形、体部に2条の沈線を施す。	白色・褐色粒	茶褐色	未還元	
93	包含層	須恵器　坏B	－	(10.0)	(3.4)	－	底部	底部回転ヘラ切り	白色粒・黒色粒	灰色	還元	
94	包含層	須恵器　坏B	－	(10.4)	(2.4)	－	底部1/3	底部回転ヘラ切り	細かな白色粒	暗い灰色	還元堅緻	
95	包含層	須恵器　坏B	－	(9.2)	(5.0)	－	体～底部1/2	底部回転ヘラ切り	細かな白色粒多	暗い灰色	還元堅緻	
96	包含層	須恵器　蓋	(12.4)	－	1.9	－	1/3	鈕は扁平擬宝珠、天井回転ヘラ削り後ナデ	白色粒	灰色	還元堅緻	墨痕、転用硯
97	包含層	須恵器　蓋	(12.4)	－	3.5	－	1/2	鈕は扁平擬宝珠、天井回転ヘラ削り後ナデ	黒・白色粒	灰色	還元堅緻	転用硯
98	包含層	須恵器　蓋	(12.8)	－	3.2	－	1/3	鈕は扁平擬宝珠、天井回転糸切り後回転ヘラ削り	白色粒多	灰色	還元堅緻	
99	包含層	須恵器　蓋	(11.6)	－	3.0	－	1/4	鈕は擬宝珠、天井回転ヘラ削り後ナデ	白色粒	青灰色	還元堅緻	

番号	位置・遺構名	器種・器形名	口径 長さ	底径 幅	器高 厚さ・孔径	重さ	遺存率	成・整形の特徴	胎土	色調	焼成	備考
100	D区包含層	須恵器 蓋	15.0	－	3.5	－	3/4	鈕は扁平擬宝珠、天井回転ヘラ削り	灰色粒φ1mm多	灰色	還元堅緻	
101	D区包含層	須恵器 蓋	(12.4)	－	2.8	－	1/4	鈕は扁平、天井回転ヘラ削り	白色粒	灰黄色	未還元	
102	D区包含層	須恵器 蓋	－	－	(1.8)	－	天井部片	鈕は扁平、天井ナデ	白色粒	青灰色	還元堅緻	
103	D区包含層	須恵器 蓋	－	－	(1.8)	－	天井部片	鈕は扁平、天井ナデ	白色粒	灰色	還元堅緻	
104	D区包含層	須恵器 蓋	－	－	(2.1)	－	鈕	鈕は擬宝珠	黒色粒噴出	灰色	還元堅緻	
105	D区包含層	須恵器 蓋	－	－	(3.6)	－	鈕	鈕は擬宝珠	白色粒	灰色	還元堅緻	
106	D区包含層	須恵器 蓋	－	－	(1.4)	－	鈕	鈕は扁平	白色粒	灰色	還元堅緻	
107	D区包含層	須恵器 蓋	(12.2)	－	(1.4)	－	1/3	滑沢で転用硯。天井回転ヘラ削り後ナデ	黒色粒	灰色	還元堅緻	鈕は欠損
108	D区包含層	須恵器 蓋	(12.6)	－	(1.7)	－	1/5	天井回転糸切り後回転ヘラ削り	白色粒	青灰色	還元堅緻	内面墨痕、転用硯
109	D区包含層	須恵器 蓋	(16.0)	－	(1.9)	－	1/4	滑沢で転用硯。天井回転ヘラ削り後ナデ	白色粒	灰色	還元堅緻	
110	D区包含層	須恵器 蓋	12.6	－	(2.0)	－	3/4	天井回転糸切り後回転ヘラ削り	白色粒	灰色	還元堅緻	
111	D区包含層	須恵器 蓋	(12.6)	－	(1.5)	－	1/5	天井回転糸切り後回転ヘラ削り	白色粒　黒色噴出	灰色	還元堅緻	
112	D区包含層	須恵器 壺蓋	－	－	(1.5)	－	1/5	天井回転ヘラ削り。口縁部は直角に屈折する。	白色粒多	灰色	還元堅緻	短頸壺の蓋
113	D区包含層	須恵器 壺蓋	(13.0)	－	(3.6)	－	1/3	天井回転ヘラ削り。口縁部は直角に屈折する。	白色粒多	青灰色	還元堅緻	短頸壺の蓋
114	D区包含層	須恵器 壺蓋	(16.0)	－	(3.4)	－	1/4	天井回転ヘラ削り。口縁部は直角に屈折する。	白色粒φ2mm黒色粒多	灰色	還元堅緻	短頸壺の蓋
115	D区包含層	須恵器 鉢	－	－	(7.7)	－	口縁部片	ナデ	細かな白色粒	灰橙色	還元堅緻	
116	D区包含層	須恵器 壺	(15.4)	－	(17.4)	－	底部欠損	直口壺。ロクロ成形。頸・胴部に各一条の沈線文を施す	黒色粒多	灰色	還元堅緻	
117	D区包含層	須恵器 壺	(9.0)	－	(6.2)	－	口縁部1/4	長頸壺。ロクロ成形。頸部に沈線を施す。	黒色粒	灰色	還元堅緻	
118	D区包含層	須恵器 壺	(11.4)	－	(6.3)	－	口縁部1/5	広口壺。ロクロ成形。	黒・白色粒	灰色	還元堅緻	
119	D区包含層	須恵器 壺	(9.6)	－	(5.8)	－	口縁部1/4	長頸壺。ロクロ成形。頸部に沈線を施す。	黒色粒	灰色	還元堅緻	
120	D区包含層	須恵器 壺	－	－	(4.3)	－	頸部1/4	長頸壺。ロクロ成形。	細かな白色粒	灰色	還元堅緻	
121	D区包含層	須恵器 壺	－	11.0	(5.7)	－	底部1/4	長頸壺。ロクロ成形・高台付き。	細かな白色粒	灰色	還元堅緻	
122	D区包含層	須恵器 瓶	－	(11.0)	(8.9)	－	胴～底部1/3	長頸瓶。ロクロ成形。高台付き。	白色粒Φ0.5mm多	灰色	還元堅緻	
123	D区包含層	須恵器 瓶	－	9.0	(11.0)	－	底部	長頸瓶。ロクロ成形、内:底部ナデ。高台付き。	細かな白・黒色粒	灰色	還元堅緻	
124	D区包含層	須恵器 壺	－	－	(5.0)	－	口縁部1/4	広口壺。ロクロ成形。	細かな白色粒	灰色	還元堅緻	
125	D区包含層	須恵器 瓶	(11.3)	－	(2.8)	－	口縁部片	横瓶。ロクロ成形。口縁部は端部で面をなす。	白色粒多	灰色	還元堅緻	
126	D区包含層	須恵器 瓶	－	－	－	－	胴部片	横瓶。内:カキ目、外:平行叩き+カキ目	黒色粒	灰色	還元堅緻	
127	D区包含層	須恵器 壺	－	12.5	(11.9)	－	底部1/2	直口壺。ロクロ整形。内:カキ目とナデ.外:カキ目+ナデ	白色粒	暗灰色	還元堅緻	
128	D区包含層	須恵器 甕	－	－	(3.9)	－	口縁部片	口縁部下に波状文を施す。	白色粒	灰色	還元堅緻	
129	D区包含層	須恵器 甕	－	－	(4.0)	－	口縁部片	口縁部下に波状文を施す。	白色粒	灰色	還元堅緻	
130	D区包含層	須恵器 甕	－	－	(7.4)	－	口縁部片	内:同心円当て具.外:平行叩き+カキ目	白色粒	灰色	還元堅緻	口縁「くの字」状
131	D区包含層	須恵器 甕	－	－	(9.5)	－	口縁部片	口縁部は外反する。胴部との接合痕が残る。	白色粒	青灰色	還元堅緻	
132	D区包含層	須恵器 甕	－	－	(4.1)	－	肩部片	内:同心円当て具、外:平行叩き	白色粒	灰色	還元堅緻	
133	D区包含層	須恵器 甕	－	－	(9.2)	－	胴部片	内:同心円当て具+平行当て具、外:平行叩き+カキ目	白色粒	灰色	還元堅緻	内面墨痕カ
134	D区包含層	須恵器 甕	－	－	(5.5)	－	胴部片	内:同心円当て具、外:平行叩き	細かな白色粒	灰色	還元堅緻	
135	D区包含層	須恵器 甕	－	－	(7.2)	－	胴部片	内:同心円当て具、外:平行叩き	白色粒	灰色	還元堅緻	内面墨痕カ
136	D区包含層	須恵器 甕	－	－	(7.5)	－	胴部片	内:同心円当て具、外:平行叩き	白色粒	灰色	還元堅緻	
137	D区包含層	須恵器 甕	－	－	(13.8)	－	胴部片	内:同心円当て具、外:平行叩き、焼き代付着。	黒色粒	灰色	還元堅緻	
138	D区包含層	須恵器 甕	－	－	－	－	胴部片	全体に滑沢で墨痕残る。転用硯	木目細か	灰色	還元堅緻	内面墨痕
139	D区包含層	須恵器 メンコ	2.3	2.3	－	5.4g	胴部片	周囲打ち欠き後研磨。内:当て具、外:波状紋	白色粒	青灰色	還元堅緻	転用駒
140	D区包含層	須恵器 メンコ	2.0	2.6	－	7.0g	胴部片	周囲打ち欠き後研磨。	白色粒	青灰色	還元堅緻	転用駒
141	D区包含層	須恵器 メンコ	2.8	2.1	－	9.2g	胴部片	周囲打ち欠き。外:平行叩き	白色粒	青灰色	還元堅緻	転用駒
142	D区包含層	須恵器 メンコ	2.4	2.2	－	6.4g	胴部片	周囲打ち欠き。外:平行叩き	細かな白色粒	青灰色	還元堅緻	転用駒
143	D区包含層	須恵器 メンコ	2.3	3.1	－	6g	胴部片	周囲打ち欠き。	白色粒	青灰色	還元堅緻	転用駒
144	D区包含層	土師器 メンコ	2.6	3.0	－	5.8g	胴部片	周囲研磨。	透明粒	明黄褐色	酸化堅緻	転用駒
145	D区包含層	須恵器 メンコ	2.9	1.5	－	9.3g	胴部片	周囲打ち欠き後研磨。外:平行叩き	細かな白色粒	青灰色	還元堅緻	転用駒
146	D区包含層	須恵器 メンコ	2.5	3.6	－	14g	胴部片	周囲打ち欠き。内:同心円当て具、外:平行叩き	白色粒	青灰色	還元堅緻	転用駒
147	D区包含層	須恵器 メンコ	3.2	2.4	－	12g	胴部片	周囲打ち欠き。内:同心円当て具、外:平行叩き	海面骨針	青灰色	還元堅緻	転用駒
148	D区包含層	土師器 メンコ	4.0	6.3	－	36.7g	底部片	周囲部分研磨。整形具か	白・透明粒	黄褐色	酸化堅緻	転用駒
149	D区包含層	土師器 メンコ	4.8	5.0	－	20.2g	胴部片	周囲部分研磨。整形具か	白色粒	黄褐色	酸化堅緻	転用駒
150	D区包含層	緑釉陶器 椀	－	(5.8)	(1.6)	－	底部	内外緑釉、軟陶	軟陶	淡緑色	堅緻	洛北系
151	D区包含層	灰釉 椀	(13.4)	－	(2.5)	－	口縁部片	ロクロ成形。	木目細か	灰色	堅緻	
152	D区包含層	肥前青磁 碗	－	4.6	(1.8)	－	底部	見込みは蛇の目釉剥ぎ	木目細か	灰色	堅緻	
153	D区包含層	肥前焼 陶器皿	－	(4.0)	(1.3)	－	底部	見込みは蛇の目釉(銅緑色)剥ぎ	木目細か	灰色	堅緻	肥前Ⅳ期
154	D区包含層	肥前焼 陶器皿	－	(6.1)	(2.9)	－	底部	見込みは蛇の目釉(銅緑色)剥ぎ	木目細か	白黄色	堅緻	肥前Ⅳ期
155	D区包含層	越中瀬戸焼 向付け	(9.8)	5.0	2.8	－	1/4	体部下端回転ヘラ削り、高台は削り高台。釉は体部のみ	白色・透明粒	黄灰色	堅緻	
156	D区包含層	石製品 砥石	(4.3)	2.5	－	20g	部分	四面使用し頻度が高い。				
157	D区包含層	鉄製品 用途不明品	9.3	0.8	－	57g	部分	断面長方形を呈し、棒状で端部を丸める。				
158	D区包含層	土製品 獣脚	－	3.1	(6.5)	－	脚部片	容器の足。周囲はヘラ削りにより整形。	細かな白・灰色粒	黄橙色	酸化堅緻	
159	D区包含層	土製品 土錘	6.6	4.1	孔径1.2	110g	完形	管状土錘	白色・透明粒	灰色	酸化堅緻	
160	D区包含層	土製品 土錘	6.4	3.0	孔径1.0	50g	完形	管状土錘	白・褐色粒	灰色	酸化堅緻	
161	D区包含層	土製品 土錘	5.1	2.0	孔径0.7	10g	完形	管状土錘	褐色粒	黄褐色	酸化堅緻	
162	D区包含層	土製品 土錘	5.1	1.7	孔径0.4	8g	完形	管状土錘	白色粒	黄褐色	酸化堅緻	

米田大覚遺跡　遺物観察表（5）　E区

番号	位置・遺構名	器種・器形名	口径 長さ	底径 幅	器高 厚さ・孔径	重さ	遺存率	成・整形の特徴	胎土	色調	焼成	備考
1	SB01 P6	土師器 椀A	(28.0)	(11.0)	(13.0)	－	1/5	大振りの椀。ロクロ成形。内:内黒ヘラ磨き、外:赤彩	白・灰・透明粒	赤褐色	酸化	
2	SB02 P2	須恵器 坏B	－	(10.1)	(4.3)	－	1/4	底部回転ヘラ切り。	白色粒	黄灰色	未還元	
3	SB02 P10	須恵器 蓋	11.3	－	3.3	－	完形	回転ヘラ削り。擬宝珠鈕	白色粒	明灰色	還元堅緻	
4	SB02 P10	須恵器 蓋	(12.2)	－	3.3	－	1/2	回転ヘラ削り。擬宝珠鈕	白色粒	灰色	還元堅緻	
5	SB02 P8	須恵器 蓋	(12.8)	－	1.9	－	1/4	回転ヘラ削り。扁平な擬宝珠鈕	白・黒色粒	灰色	還元堅緻	
6	SB02 P11	木製品 礎板	(31.2)	(10.2)	5.0	－		割材。				
7	SB02 P8	木製品 柱根	(22.0)	(17.0)	10.4	－		腐食のため形状が定かでないが断面は割り材である。				
8	SB02 P9	木製品 柱根	(23.0)	(15.2)	14.0	－		腐食のため形状が定かでないが断面は割り材である。				
9	SB03 P5	須恵器 蓋	－	－	(1.1)	－	鈕	回転ヘラ削り。扁平な擬宝珠鈕	白色粒	灰色	還元堅緻	
10	SB04 P1	須恵器 坏B	－	9.1	(4.5)	－	2/3	底部回転ヘラ切り。内:ナデ	白色細粒多	青灰色	還元堅緻	
11	SB06 P5	須恵器 坏A	(12.6)	(9.4)	3.9	－	1/4	底部回転ヘラ切り。	白色シルト	鈍い橙色	未還元	
12	SB07 P23	須恵器 坏A	12.0	9.6	3.6	－	完形	底部回転ヘラ切り。底部は若干丸くなる。	白・褐色粒	鈍い橙色	未還元	SB08(P1)と接合
13	SB07 P9	土製品 土錘	7.3	4.5	孔径1.8	136.5g	完形	管状土錘	褐色粒	黄褐色	酸化	
14	SB08 P2	土師器 椀A	(12.2)	(5.0)	3.5	－	1/3	底部回転糸切り。内外赤彩。	白・透明細粒多	鈍い黄褐色	酸化	内外被熱
15	SB08 P9	土師器 椀A	－	6.0	(3.2)	－	底部	底部回転糸切り。内外赤彩。	白・褐色粒	黄褐色	酸化	

番号	位置・遺構名	器種・器形名	口径 長さ	底径 幅	器高 厚さ・孔径	重さ	遺存率	成・整形の特徴	胎土	色調	焼成	備考
16	SB08 P9	須恵器 坏A	(12.2)	(7.3)	3.8	−	1/3	底部回転ヘラ切り。	白・黒色噴出粒	灰色	還元堅緻	外面被熱
17	SB08 P10	須恵器 坏B	−	(6.0)	(2.1)	−	底部	底部回転ヘラ切り。	白色粒	灰色	還元堅緻	
18	SB08 P17	須恵器 蓋	(12.6)	−	(2.3)	−	1/3	天井回転ヘラ削り。	白色粒	明灰色	還元堅緻	
19	SB08 P9	須恵器 メンコ	2.3	2.0	−	5.2g	完形	周囲打ち欠き	白色粒	灰色	還元堅緻	転用駒
20	SB09 P8	須恵器 坏A	12.0	8.6	3.1	−	2/3	底部回転ヘラ切り。	白色粒	灰色	還元堅緻	内面に油煙付着
21	SB09 P8	須恵器 蓋	(12.4)	−	(2.4)	−	1/3	天井回転ヘラ削り。鈕欠損。	白色粒	灰色	還元堅緻	
22	SB09 P10	須恵器 坏B	10.6	6.8	4.0	−	4/5	底部回転ヘラ切り。	白色粒は溶解	灰色	還元堅緻	外面自然釉
23	SB09 P5	木製品 礎板	(15.2)	11.4	6.0	−		部分。割り材				
24	SB09 P10	木製品 柱根	(22.4)	(14.3)	9.0	−		腐食のため形状が定かでないが断面は割り材である。				
25	SB09 P12	木製品 礎板	(24.2)	16.0	6.6	−		腐食のため形状が定かでないが断面は割り材である。				
26	SB09 P5	木製品 礎板	(11.8)	11.0	8.0	−		部分。割り材				
27	SB09 P5	木製品 曲物	(8.6)	(2.6)	0.6	−		側板内面に毛彫きあり。				
28	SB12 P8	土師器 椀B	−	8.5	(1.5)	−	底部	底部回転糸切り。	白・褐色粒	黄褐色	酸化	椀か皿
29	SE08	須恵器 坏B	−	(8.0)	(3.2)	−	底部	底部回転ヘラ切り。	白色細粒	灰色	還元堅緻	
30	SE08	須恵器 壺	(10.0)	−	(11.0)	−	1/4	短頸壺。ロクロ成形・内:カキ目。	白・黒色噴出粒	灰色	還元堅緻	
31	SE08	須恵器 甕	−	(18.0)	(6.1)	−	底部片	外胴部下端～底部手持ちヘラ削り。	白色細粒多	灰色	還元堅緻	
32	SE09No.1	土師器 小型甕	13.0	7.4	13.3	−	4/5	ロクロ成形。底部回転糸切り後胴部下端～底部ヘラ削り。煤付着	海綿骨針	黄褐色	酸化	
33	SE09No.2	土師器 小型甕	12.4	7.0	10.1	−	完形	ロクロ成形。底部回転糸切り後胴部下端ヘラ削り。	角閃石	黄褐色	酸化	煤付着
34	SE09	石製品 叩き石	19.9	8.3	5.7	1590g	完形	上下擦痕、周囲使用により細かな叩き痕。				
35	SE09	木製品 斎串	15.1	1.8	0.5	7.0g		頭の両側面に御幣を挟む切れ目が複数刻まれる。				
36	SE09	木製品 斎串	16.2	1.8	0.25	5.8g		頭の両側面に御幣を挟む切れ目が複数刻まれる。				
37	SE09	木製品 斎串	13.6	1.5	0.4	5.0g		頭の両側面に御幣を挟む切れ目が複数刻まれる。				
38	SE09	木製品 斎串	(7.0)	(1.1)	−	−		両側面は削られ先端部は遺存する。				
39	SE09	木製品 斎串	(10.3)	2.0	0.3	4.7g		頭の両側面に御幣を挟む切れ目が複数刻まれる。				
40	SE09	木製品 斎串	13.5	1.8	0.2	2.7g		頭の両側面に御幣を挟む切れ目が複数刻まれる。				
41	SE09	木製品 斎串	12.4	2.0	0.4	6.0g		頭の両側面に御幣を挟む切れ目が複数刻まれる。				
42	SE09	木製品 斎串	12.4	2.1	0.4	4.7g		頭の両側面に御幣を挟む切れ目が複数刻まれる。				
43	SE09	木製品 斎串	11.8	1.8	0.25	3.3g		頭の両側面に御幣を挟む切れ目が複数刻まれる。				
44	SE09	木製品 斎串	12.4	1.6	0.2	1.66g		頭の両側面に御幣を挟む切れ目が複数刻まれる。				
45	SE09	木製品 斎串	35.2	1.5	0.3	14.44g		頭の両側面と中位の両側面に御幣を挟む切れ目が複数刻まれる。中位は上下からなる。				
46	SE09	木製品 斎串	33.5	1.8	0.2	9.5g		頭の両側面と中位の両側面に御幣を挟む切れ目が複数刻まれる。中位は上下からなる。				
47	SE09	木製品 用途不明	(27.6)	1.3	1.3	26.6g		断面円形を呈し、一方が細くなる棒状の製品。				
48	SE09	木製品 井戸枠縦板	(56.2)	10.0	1.8	−		割板材。一部切り込みが見られる。				
49	SE09	木製品 井戸枠縦板	(61.0)	20.4	3.0			割板材。下位に方形孔が見られる。				
50	SE09	木製品 井戸枠縦板	(65.0)	15.2	1.6			割板材。下位に方形孔が見られる。				
51	SE09	木製品 井戸枠隅柱	(44.0)	(5.5)	6.0			割材。上部は腐食し、下部は四面を削り尖らせている。				
52	SE09	木製品 井戸枠隅柱	(36.0)	7.0	4.4			割材。上部は腐食し、下部は両側面を削り尖らせている。				
53	SE09	木製品 井戸枠隅柱	(30.0)	(4.0)	4.6			割材。上部は腐食し、下部は両側面を削り尖らせている。				
54	SE09	木製品 井戸枠隅柱	(40.0)	8.0	4.8			割材。上部は腐食し、下部は両側面を削り尖らせている。				
55	SE09	木製品 井戸枠縦板	(63.8)	10.2	2.0			割り板材。一部切り込みが見られる。				
56	SE09	木製品 井戸枠縦板	(61.5)	10.5	1.8			割板材。下位に方形孔が見られる。				
57	SE09	木製品 井戸枠縦板	(66.5)	25.5	1.8			割板材。				
58	SE09	木製品 井戸枠縦板	(64.2)	20.2	2.2			割板材。下位に円形孔が見られる。				
59	SE09	木製品 井戸枠縦板	(66.2)	10.5	2.8			割板材。一部切り込みが見られる。				
60	SE09	木製品 井戸枠縦板	(67.2)	18.2	3.0			割板材。				
61	SE09	木製品 井戸枠縦板	(58.6)	13.4	1.0			割板材。一部切り込みが見られる。				
62	SE09	木製品 井戸枠縦板	(59.1)	12.7	2.2			割板材。一部切り込みが見られる。				
63	SE09	木製品 井戸枠部材	(69.5)	3.3	1.2		底部	割材。腐食が激しく用途不明。				
64	SK13付近	須恵器 坏B	−	(9.3)	(2.1)		1/2	底部回転ヘラ切り。	白色粒多	灰色	還元堅緻	
65	SK13付近	須恵器 蓋	(13.0)	−	3.2		胴部片	天井回転ヘラ削り。扁平な擬宝珠鈕	白色粒多	青灰色	還元堅緻	
66	SK14	須恵器 甕	−	−	−		完形	内:平行当て具、外:平行叩き	白色粒	灰色	還元堅緻	
67	SK49	石製品 砥石	4.3	3.2	2.4	40.4g	1/4	四面使用				凝灰岩
68	SB07SK56	須恵器 坏A	(11.6)	(8.0)	3.0		底部	底部回転ヘラ切り。	白色粒多	灰色	還元堅緻	
69	SB08SK103	緑釉陶器 椀	−	6.0	(1.4)		1/2	器面は荒れて剥落のため調整不明。内外に黄緑色の釉。	白・灰・黒色粒	灰白色	酸化	洛北産
70	SK178	須恵器 坏B	(15.2)	(9.5)	6.5		部分	大振りの坏。底部回転ヘラ切り。	白・黒色粒	灰色	還元堅緻	
71	SD33No.6	石製品 硯	(10.4)	(5.8)	1.0		底部	粘板岩製の硯で頭の両側面に装飾的な切り込みがある。				風字硯
72	SD34No.3	須恵器 瓶	−	8.0	(4.7)		胴部片	高台付きの瓶である。内:ナデ、外:回転ヘラ削り	黒色粒	灰色	還元堅緻	
73	SD38No.1	須恵器 甕	−	−	(11.8)		ほぼ完形	内:同心円当て具＋カキ目、外:平行叩き+カキ目	白色・チャート粒	青灰色	還元堅緻	
74	SD39No.1	土師器 椀A	13.0	5.0	3.9		部分	底部回転糸切り。	白色・角閃石粒	鈍い橙色	酸化	
75	SD39No.2	土製品 用途不明	(11.4)	(8.0)	(7.8)		口縁部	表面は還元色を帯びる。鍛冶炉に関わる土製品か。	木目細か	黄白色	酸化	
76	SD40	須恵器 甕	−	−	(6.0)		胴部片	口縁部は波状文を施す。	白色粒多	灰色	還元堅緻	
77	SD41No.1	須恵器 双耳瓶	−	−	−		2/3	肩の部分に耳が残る。	白色粒	セピア色	還元堅緻	
78	SD42	土師器 椀A	12.0	5.0	4.4		1/4	底部回転糸切り　内外赤彩	灰色粒	灰褐色	酸化堅緻	内面油煙
79	SD42	土師器 椀A	(12.4)	(4.0)	3.9		1/4	底部回転糸切り　内外赤彩	褐色・白色粒	明黄灰色	酸化堅緻	
80	SD42No.4	須恵器 甕	(16.0)	−	(20.5)		完形	ロクロ成形。外:平行叩き+カキ目	白色粒	黄灰色	未還元	
81	SD42No.15	石製品 砥石	10.4	6.8	5.0	539.3g	2/3	泥岩製。四面を使用し、その頻度は高い。				
82	SD43No.1	土師器 皿B	13.2	7.2	3.1		1/2	底部回転糸切り。内外赤彩	海綿骨針	鈍い橙色	酸化	
83	SD44	須恵器 坏B	(16.0)	9.8	6.8		1/4	大振りの坏。底部回転ヘラ切り。	白色粒	青灰色	還元堅緻	体部に３本沈線
84	包含層	土師器 椀A	(15.0)	(5.4)	6.0		底部	底部回転糸切り。内:ヘラ磨き内黒	白色・透明細粒多	黄褐色	酸化	
85	包含層	土師器 椀A	−	(5.0)	(2.0)		底部片	底部回転糸切り。内外赤彩	黒色粒多	黄褐色	酸化	
86	包含層	土師器 椀A	−	(7.5)	(2.5)		底部片	底部回転糸切り。体部下端ヘラ削り。内:内黒	白・灰色粒	黄褐色	酸化	
87	包含層	土師器 椀カ	−	−	(2.4)		坏部片	底部は丸味を帯びて持ちヘラ削り。内外赤彩。	白色・海綿骨針	黄灰色	酸化	底部刻書「干」カ
88	包含層	土師器 高杯	−	−	(2.0)		口縁部	内外赤彩、内:ヘラ磨き、外:ヘラ削り	白・灰色粒	黄褐色	酸化	
89	包含層	土師器 坏A	(12.5)	(9.6)	(2.4)		底部	底部ヘラ削り。内外:ヘラ磨き・赤彩	白・灰色粒	褐色	酸化	油煙付着
90	包含層	灰釉陶器 皿	−	(9.0)	(2.4)		底部	高台は三日月状を呈する。底部回転ヘラ削り	白色粒	灰色	堅緻	底部まで施釉
91	包含層	灰釉陶器 皿	−	(7.6)	(1.8)		底部1/2	高台は三日月状を呈し、底部回転ヘラ削り	白色粒	灰色	堅緻	
92	包含層	須恵器 皿	−	(6.8)	(2.7)		底部1/4	高台は高くなる。底部回転ヘラ削り。	白色粒	灰色	還元堅緻	内底面転用硯
93	包含層	須恵器 瓶	−	(6.2)	(4.0)		口縁部片	小型の壺。体部下端は回転ヘラ削り	白色粒	灰色	還元堅緻	
94	包含層	土師器 蓋	(16.5)	−	(1.4)		口縁部片	内外赤彩	黒灰色	黄褐色	酸化	
95	包含層	須恵器 坏B	−	−	−		口縁部片	内部漆付着。漆パレットか	海綿骨針	灰色	還元堅緻	
96	包含層	須恵器 坏B	−	−	−		口～底部	内部漆付着。漆パレットか	白色粒	灰色	還元堅緻	
97	包含層	緑釉陶器 椀A	13.0	5.4	3.7			高台は厚く口縁部は外反する。釉は全体に亘る。	白色粒	灰黄色	酸化	

番号	位置・遺構名	器種・器形名	口径 長さ	底径 幅	器高 厚さ・孔径	重さ	遺存率	成・整形の特徴	胎土	色調	焼成	備考
98	包含層	緑釉陶器　椀	–	–	–	–	口縁部片	内外釉は緑黄色	白色粒	灰黄色	酸化	
99	包含層	緑釉陶器　椀	–	–	–	–	口縁部片	内外釉は緑黄色	白色粒	灰黄色	酸化	
100	包含層	緑釉陶器	–	–	–	–	口縁部片	内外釉は緑黄色	白色粒	灰黄色	酸化	
101	包含層	緑釉陶器	–	–	–	–	体部片	内外釉は緑黄色	白色粒	灰黄色	酸化	
102	包含層	緑釉陶器	–	–	–	–	体部片	内外釉は緑黄色	白色粒	灰黄色	酸化	
103	包含層	緑釉陶器	–	–	–	–	口縁部片	内外釉は緑黄色	白色粒	灰黄色	酸化	
104	包含層	石製品　巡方	3.1	3.4	0.6	17.6g		断面を台形状とし裏面に帯との接合に2個単位4箇所孔を穿つ。				白玉帯　凝灰岩
105	包含層	石製品　碁石	1.4	1.2	0.5	1.5g		白色石英。				
106	包含層	ガラス玉	0.6	0.6	0.3	–		ガラス小玉。青味の濃い瑠璃色を呈する。				

米田大覚遺跡　墨書遺物観察表（1）　A～E区

番号	位置・遺構名	器種・器形名	口径 長さ	底径 幅	器高 厚さ・孔径	重さ	遺存率	成・整形の特徴	胎土	色調	焼成	備考
1	A区　SD23	須恵器　杯B蓋	12.6	–	2.5	–	1/4	頂部回転ヘラ削り後ロクロ撫で内面「井」	白・灰色粒	灰色	還元堅緻	
2	A区　SX01	須恵器　杯B蓋	12.2	–	(2.5)	–	1/2	頂部回転ヘラ削り後ロクロ撫で内面「田邊」カ	白・黒色粒	灰褐色	還元	
3	A区　SX01	須恵器　杯B	10.6	6.2	4.3	–	1/2	底部回転ヘラ削り後ロクロ撫で外底部「道公」	白色粒	灰色	還元堅緻	
4	A区　SX21	須恵器　杯B蓋	12.6	–	(2.2)	–	1/4	頂部回転ヘラ削り　内面「桑」カ	白色粒	灰色	還元堅緻	内外面被熱
5	A区 P20	須恵器　杯B蓋	14.0	–	(2.2)	–	1/8	頂部回転ヘラ削り後ロクロ撫で内面「井」	白色粒多	灰色	還元堅緻	
6	A区 P34	須恵器　杯A	11.0	6.5	3.3	–	8/9	回転ヘラ切り後撫で　外底部「柴」	白色粒φ3mm、黒色粒	灰色	還元堅緻	
7	A区　包含層	須恵器　杯A	10.8	7.5	3.1	–	1/2	外底面ヘラ削り後撫で　外底部「井」	白・黒色粒	灰色	還元堅緻	
8	B区 SD01	須恵器　杯A	–	6.5	(0.8)	–	1/6	底部ヘラ切り　外底部「井」	白色粒	淡灰色	還元	
9	B区 SD08	須恵器　杯B	11.8	7.8	4.5	–	1/2	回転ヘラ切り後、ロクロ撫で外底部「中」	白色細粒	灰色	還元堅緻	
10	B区 SD26	須恵器　杯A	11.3	7.6	3.2	–	1/2	底部回転ヘラ切り後撫で　外底部「井」	白・黒色粒	灰色	還元堅緻	
11	B区 SD18	須恵器　杯B	–	6.6	2.4	–	1/2	底部回転ヘラ切り後ロクロ撫で外底部「井」	白色・透明粒	淡灰色	還元	
12	B区 包含層	須恵器　蓋	14.8	–	(2.1)	–	1/6	頂部回転ヘラ削り、他ロクロ撫で内面「室」カ	白色粒φ2mm	灰色	還元堅緻	
13	B区 包含層	須恵器　杯A	11.8	8.0	3.2	–	1/3	回転ヘラ切り撫で　外底部「井」	白・褐色粒	淡黄灰色	還元	
14	B区 包含層	須恵器　杯A	–	7.5	(1.8)	–	1/8	回転ヘラ切り後撫で　外底部「井」カ	白・黒・褐色粒	灰色	還元堅緻	
15	B区 包含層	須恵器　杯A	–	8.0	(2.5)	–	1/3	回転ヘラ切り後ロクロ撫で外底部「桑」旧字体	白・褐色粒	灰色	還元堅緻	
16	B区 包含層	須恵器　杯A	11.6	7.6	3.2	–	2/3	回転ヘラ切り後、撫で　外底部「井」カ	白・黒色粒	灰色	還元堅緻	
17	B区 包含層	須恵器　杯A	11.4	7.2	3.5	–	2/3	回転ヘラ切り後撫で　外底部「桑」	白・灰色粒	灰色	還元堅緻	
18	B区 包含層	須恵器　坏A	–	6.0	(1.6)	–	1/8	底部ヘラ切り後撫で　外底部「井」	白・灰色粒	黄白色	未還元	
19	B区 包含層	須恵器　杯B蓋	12.4	–	(2.2)	–	1/2	回転ヘラ削り後、ロクロ撫で外面「人」	黒色粒多	淡灰色	還元堅緻	
20	B区 包含層	須恵器　杯B	–	7.3	(2.8)	–	1/3	回転ヘラ切り後ロクロ撫で外底部「真」、外面スス付着	白・黒色粒	灰色	還元堅緻	内底面転用硯
21	B区 包含層	須恵器　杯B	–	8.0	(4.1)	–	1/3	回転ヘラ切り　外底部「井」	白色粒	灰色	還元堅緻	
22	B区 包含層	須恵器　杯B	–	8.0	(2.2)	–	1/3	回転ヘラ切り後撫で　外底部「炭」	黒・白色粒多	灰色	還元堅緻	内底面転用硯
23	B区 包含層	須恵器　杯B	–	9.0	(2.3)	–	1/5	回転ヘラ切り後ロクロ撫で外底部「中」	白色粒	灰色	還元堅緻	
24	B区 包含層	須恵器　杯B	–	7.6	(3.0)	–	1/3	回転ヘラ切り後ロクロ撫で外底部「桑」	白・灰色粒	灰色	還元堅緻	
25	B区 包含層	須恵器　杯B大	–	8.4	(5.4)	–	1/2	底部ヘラ削り後撫で　外底部「十」	白色細粒多	灰色	還元堅緻	
26	B区 3T試掘	土師器　椀A	12.4	–	(3.3)	–	1/7	ロクロ撫で、一部ヘラ磨きカ、内外面赤彩 外面「爪」カ	黒色粒、雲母片	淡赤褐色	酸化	
27	B区 包含層	土師器　椀A	–	5.2	–	–	1/8	底部回転糸切り、外面赤彩外底部に花模様の墨書	灰色粒	淡黄色	酸化	複弁五葉カ
28	C区SD28付近	須恵器　坏B	–	7.0	(3.0)	–	体～底部2/3	底部回転ヘラ切り　外底部「室」	白色粒	灰色	還元堅緻	
29	C区SD28付近	須恵器　坏A	(11.2)	(7.4)	3.6	–	1/4	底部回転ヘラ切り　外底部「真」カ	白・灰色粒	白灰色	還元堅緻	
30	C区SD28付近	須恵器　蓋	(14.0)	–	–	–	1/4	回転ナデ　内天井部「富女」	白色粒	灰色	還元堅緻	
31	C区SD28付近	須恵器　蓋	11.8	–	3.2	–	2/3	回転ナデ　内天井部「桑」旧字体	白色細粒	灰色	還元堅緻	
32	C区SD28付近	須恵器　坏	(13.0)	(9.4)	3.5	–	1/3	底部回転ヘラ切り　外底部墨痕	白・灰色粒	白灰色	還元堅緻	
33	C区　SD26	須恵器　坏B	(11.0)	6.2	4	–	2/3	底部回転ヘラ切り外体部倒位「酒」　外底部「室」	白色粒多	灰黄色	還元堅緻	
34	C区　SD26	須恵器　坏A	(11.8)	(7.4)	3.2	–	1/2	底部回転ヘラ切り　外底部墨痕	白色粒	灰色	還元堅緻	
35	C区　SD26	須恵器　坏A	(12.0)	(9.0)	3.8	–	2/3	底部回転ヘラ切り外底部「桑」旧字体	白色粒多	灰色	還元堅緻	
36	C区　SD26	須恵器　坏A	–	(7.0)	–	–	底部	底部回転ヘラ切り　外底部「王」	白色細粒　海綿骨針	灰色	還元堅緻	朱墨書カ
37	C区　SD29	須恵器　坏A	(11.0)	(7.0)	3.2	–	1/5	底部回転ヘラ切り　外底部「口」	白色粒・海綿骨針	灰色	還元堅緻	
38	C区　SD29	須恵器　坏B	–	8.0	–	–	1/4	底部回転ヘラ切り　外底部「炭」	白色粒　黒色噴出物	灰色	還元堅緻	
39	C区SD29付近W4-5	須恵器　坏B	10.6	1.2	3.8	–	4/5	底部回転ヘラ切り　外底部「口」	白色粒多	灰色	還元堅緻	
40	C区SD29付近	須恵器　蓋	12.0	–	2.8	–	4/5	回転ヘラ削り　内天井部「桑」旧字体	白色粒　海綿骨針	青灰色	還元堅緻	
41	C区SD29付近W4-5	須恵器　蓋	14.0	–	3.5	–	完形	天井回転ヘラ削り　内外天井部墨痕	白色粒多	灰色	還元堅緻	転用硯
42	C区SD29付近	須恵器　坏B	12.0	7.4	4.3	–	3/4	底部回転ヘラ切り　外底部「口」	白色粒多	灰色	還元堅緻	
43	C区SD29付近	須恵器　坏A	11.8	8.4	2.9	–	1/4	底部回転ヘラ切り　外底部「人長」カ	白色粒　海綿骨針	灰色	還元堅緻	
44	C区SD29付近	須恵器　蓋	(13.0)	–	–	–	口縁部片	回転ヘラ削り　内天井部「桑」旧字体	白色粒多	灰色	還元堅緻	
45	C区SK77	須恵器　坏A	–	–	(4.0)	–	口縁～体部片	ロクロ成形　外体部横位「室」	白色粒	暗灰色	還元堅緻	
46	C区　SE02	須恵器　坏B	–	(6.0)	–	–	底部1/4	底部回転ヘラ切り　外底部「室」	白色粒	灰色	還元堅緻	
47	C区　SE02	須恵器　坏B	(11.6)	(6.0)	4.8	–	1/3	底部回転ヘラ切り　外底部□	白色粒	灰黄色	還元堅緻	
48	C区　SE02	須恵器　坏A	(12.0)	(8.0)	3.0	–	1/5	底部回転ヘラ切り　灯明用外底部「桑」旧字体	白色粒	灰色	還元堅緻	
49	C区　SE02	須恵器　坏A	–	–	–	–	底部片	底部回転ヘラ切り　外底部「仲」	白色粒	灰褐色	未還元	
50	C区包含層	須恵器　坏B	–	8.6	3.5	–	底部	底部回転ヘラ切り　外底部「桑」旧字体	白色粒	灰色	還元堅緻	
51	C区包含層	須恵器　坏A	–	–	–	–	底部片	底部回転ヘラ切り　外底部「室」カ	白色粒	灰色	還元堅緻	
52	C区包含層	須恵器　坏A	–	(6.6)	1.9	–	底部片	底部回転ヘラ切り　外底部□	白色粒	灰色	還元堅緻	
53	C区包含層	須恵器　坏A	–	–	–	–	底部片	底部回転ヘラ切り　外底部□	白色粒	灰色	還元堅緻	
54	C区包含層	須恵器　坏	–	–	–	–	底部片	底部回転ヘラ切り　外体部「室」カ	白色粒	灰色	還元堅緻	
55	C区包含層	須恵器　坏A	–	7.8	1.6	–	底部1/2	底部回転ヘラ切り　外底部□	白色粒	灰色	還元堅緻	
56	C区包含層	須恵器　坏B	–	7.6	2.7	–	底部1/2	底部回転ヘラ切り　外底部「室」	白色粒	灰色	還元堅緻	
57	C区包含層	須恵器　坏	–	7.6	2.1	–	底部1/2	底部回転ヘラ切り　外底部「室」	白色粒	灰色	還元堅緻	
58	C区包含層	須恵器　蓋	–	–	–	–	口縁部片	ロクロ成形　外天井部□	白色粒	灰色	還元堅緻	
59	C区包含層	須恵器　坏B	–	6.0	2.0	–	底部	底部回転ヘラ切り　外底部「炭」	白色粒	灰色	還元堅緻	
60	C区包含層	須恵器　坏A	–	(5.6)	(1.5)	–	底部片	底部回転ヘラ切り　外底部□	白色粒	灰色	還元堅緻	
61	C区包含層	須恵器　坏B	–	8.8	3.5	–	底部1/2	底部回転ヘラ切り　外底部「家」カ	白色粒	灰色	還元堅緻	
62	C区包含層	須恵器　坏B	11.6	6.4	4.7	–	1/3	底部回転ヘラ切り　外底部「室」カ	白色粒	灰色	未還元	
63	C区包含層	須恵器　坏A	–	–	–	–	底部片	底部回転ヘラ切り　外底部墨痕 図なし	白色粒	灰色	還元堅緻	
64	C区包含層	須恵器　坏B	–	(9.6)	2.5	–	底部1/5	底部回転ヘラ切り　外底部□	白色粒	灰色	還元堅緻	
65	C区包含層	須恵器　坏A	–	(7.0)	–	–	底部1/5	底部回転ヘラ切り　外底部□	白色粒	黄灰色	未還元	
66	C区包含層	須恵器　坏A	–	–	–	–	底部片	底部回転ヘラ切り　外底部□	白色粒	灰色	還元堅緻	
67	C区包含層	須恵器　坏A	–	(7.6)	1.8	–	底部	底部回転ヘラ切り　外底部「桑」旧字体	白色粒	灰色	還元堅緻	
68	C区包含層	須恵器　坏A	11.6	8.4	3.7	–	2/3	底部回転ヘラ切り　外底部「十」カ	白色・角内石粒	灰色	未還元	
69	C区包含層	須恵器　坏A	11.2	6.4	3.2	–	1/3	底部回転ヘラ切り　外底部「十」	白色・海綿骨針	青灰色	還元堅緻	

番号	位置・遺構名	器種・器形名	口径 長さ	底径 幅	器高 厚さ・孔径	重さ	遺存率	成・整形の特徴	胎土	色調	焼成	備考
70	C区包含層	須恵器 坏B	10.8	7.2	4.1	－	2/3	底部回転ヘラ切り 外体部正位「中」	白色粒多	灰色	還元堅緻	
71	C区包含層	須恵器 蓋	(11.4)	－	(2.0)	－	1/4	ロクロ成形 内天井「室」カ	白色粒	灰色	還元堅緻	
72	C区包含層	須恵器 坏	－	－	－	－	口縁部片	ロクロ成形 外体部倒位「□」「月」カ	白色粒	青灰色	還元堅緻	
73	C区包含層	須恵器 坏B	(11.6)	6.8	4.1	－	1/2	底部回転ヘラ切り 外底部「室」	白色粒φ3mm	灰色	還元堅緻	
74	C区包含層	須恵器 坏A	－	－	－	－	底部片	底部回転ヘラ切り 外底部「□」	白色粒	灰色	還元堅緻	
75	C区包含層	須恵器 坏A	11.6	9.8	3.8	－	1/4	底部回転ヘラ切り 外底部「土」カ	白色粒	白灰色	未還元	
76	C区包含層	須恵器 蓋	－	－	(1.3)	－	鈕	鈕外「柴」	白色粒	灰色	還元堅緻	
77	C区包含層	須恵器 坏A	－	－	－	－	底部片	底部回転ヘラ切り 外底部「□」	白色粒	灰色	還元堅緻	
78	C区包含層	須恵器 坏A	－	－	－	－	底部片	底部回転ヘラ切り 外底部「□」	白色細粒	灰色	還元堅緻	
79	C区包含層	須恵器 蓋	15.0	－	3.2	－	完形	滑沢転用硯。天井回転ヘラ削り 内天井部「皆人」	白色細粒	灰色	還元堅緻	
80	C区包含層	須恵器 坏A	(11.4)	(6.8)	3.5	－	底部1/3	底部回転ヘラ切り 外底部「□」	白色粒	白灰色	未還元	
81	C区包含層	須恵器 坏A	－	－	－	－	底部片	底部回転ヘラ切り 外底部「□」	白色粒	灰色	還元堅緻	
82	C区包含層	須恵器 坏B	－	－	(4.5)	－	底部片	底部回転ヘラ切り 外底部「桑」カ	白色粒	灰色	還元堅緻	
83	C区包含層	須恵器 坏A	－	－	－	－	底部片	底部回転ヘラ切り 外底部「桑」カ	白色粒多	灰色	還元堅緻	
84	C区包含層	須恵器 坏A	－	－	－	－	底部片	底部回転ヘラ切り 外底部「井」カ	白色細粒	灰色	還元堅緻	
85	C区包含層	須恵器 坏A	(12.0)	(8.0)	3.0	－	1/6	灯明用。底部回転ヘラ切り外底部「□」	白色細粒	灰色	還元堅緻	
86	C区包含層	須恵器 坏A	－	－	－	－	底部片	底部回転ヘラ切り 外底部「□」	白色細粒	灰色	還元堅緻	
87	C区包含層	須恵器 坏A	－	－	－	－	底部片	底部回転ヘラ切り 外底部「中」カ	白色粒多	黄灰色	還元堅緻	
88	C区包含層	須恵器 坏A	－	－	－	－	底部片	底部回転ヘラ切り 外底部「□」	白色細粒	灰色	還元堅緻	
89	C区包含層	須恵器 坏A	－	－	－	－	底部片	底部回転ヘラ切り 外底部「柴」カ	白色細粒	灰色	還元堅緻	
90	C区包含層	須恵器 坏A	－	－	－	－	底部片	底部回転ヘラ切り 外底部「□」	白色細粒	灰色	還元堅緻	
91	C区包含層	須恵器 坏A	－	－	－	－	底部片	底部回転ヘラ切り 外底部「□」	白色細粒	灰色	還元堅緻	
92	C区包含層	須恵器 坏A	－	－	－	－	底部片	底部回転ヘラ切り 外底部「□」	白色細粒	灰色	還元堅緻	
93	C区包含層	須恵器 蓋	－	－	－	－	底部片	ロクロ成形 内天井部「柴」カ	白色細粒	灰色	還元堅緻	
94	D区包含層	須恵器 坏A	－	7.8	1.9	－	底部片	底部回転ヘラ切り 外底部「艹」カ	白色粒	灰褐色	未還元	
95	D区包含層	須恵器 坏B	－	9.6	(4.3)	－	底部	底部回転ヘラ切り外底部「桑」旧字体	白色粒	灰色	未還元	
96	D区包含層	須恵器 坏A	(12.0)	(9.0)	3.6	－	1/4	底部回転ヘラ切り 外底部「井」	白色粒	灰色	未還元	
97	D区包含層	須恵器 坏B	(12.0)	(9.6)	4.3	－	1/6	底部回転ヘラ切り 外底部墨痕	白・黒色粒	青灰色	還元堅緻	
98	D区包含層	須恵器 坏B	－	6.6	(4.0)	－	底部2/3	底部回転ヘラ切り 外底部「公万呂」	白色粒	青灰色	還元堅緻	
99	D区包含層	須恵器 坏B	(12.6)	(7.2)	4.2	－	1/4	底部回転ヘラ切り 外底部墨痕	白色粒	青灰色	還元堅緻	
100	D区包含層	須恵器 坏A	(13.2)	(8.0)	3.0	－	1/4	底部回転ヘラ切り 外底部「井」カ	白色粒 海綿骨針	青灰色	還元堅緻	
101	D区包含層	須恵器 坏A	(11.6)	(8.0)	3.2	－	1/4	底部回転ヘラ切り 外底部「中」	白色細粒	灰色	未還元	
102	D区包含層	須恵器 坏A	－	(7.2)	(1.1)	－	底部片	底部回転ヘラ切り 外底部「中」カ	白色シルト粒	灰色	還元堅緻	
103	D区包含層	須恵器 坏B	12.2	7.4	4.5	－	2/3	底部回転ヘラ切り 外底部「井」	白色粒	灰色	還元堅緻	
104	D区包含層	須恵器 坏A	－	8.0	－	－	底部片	底部回転ヘラ切り 外底部「工」	海綿骨針 白色細粒	灰色	還元堅緻	朱墨書
105	D区包含層	須恵器 坏A	－	7.0	(2.9)	－	底部1/2	底部回転ヘラ切り 外底部「公蘆」	白色粒	灰色	還元堅緻	
106	D区包含層	須恵器 坏A	－	－	－	－	底部片	底部回転ヘラ切り 外底部「井」	海綿骨針	灰色	還元堅緻	
107	D区包含層	須恵器 坏B	－	8.0	(3.2)	－	底部	底部回転ヘラ切り 外底部「井」カ	海綿骨針 白色粒	黄灰色	未還元	
108	D区包含層	須恵器 坏B	－	(6.0)	(3.0)	－	底部	底部回転ヘラ切り 外底部□□	白色粒	青灰色	還元堅緻	
109	D区包含層	須恵器 坏A	－	(7.0)	－	－	底部1/2	底部回転ヘラ切り 外底部「二」カ	白色粒	灰色	還元堅緻	
110	D区包含層	須恵器 坏A	－	－	－	－	底部片	底部回転ヘラ切り 外底部「柴」	白色粒	青灰色	還元堅緻	
111	D区包含層	土師器 椀A	－	－	－	－	口縁部片	ロクロ成形赤彩 外体部□	白・灰色粒	黄褐色	還元堅緻	
112	D区包含層	須恵器 坏A	－	－	－	－	底部片	底部回転ヘラ切り 外底部「井」カ	白色粒	黄灰色	未還元	
113	D区包含層	須恵器 坏B	(9.8)	6.0	3.7	－	1/3	底部回転ヘラ切り 外底部「井」	白色細粒多	青灰色	還元堅緻	
114	D区包含層	須恵器 坏A	－	－	－	－	底部片	底部回転ヘラ切り 外底部「及□」	相細か	灰色	還元堅緻	
115	D区包含層	須恵器 坏A	－	－	－	－	底部片	底部回転ヘラ切り 外底部「井」	白色細粒	灰色	還元堅緻	
116	D区包含層	須恵器 坏A	(11.4)	7.0	3.5	－	2/3	底部回転ヘラ切り 外底部「井」カ	白色粒	灰色	還元堅緻	
117	D区包含層	須恵器 坏B	－	8.8	(2.0)	－	底部2/3	底部回転ヘラ切り外底部「公」カ「麻」カ「呂」カ	白色粒	灰色	還元堅緻	
118	D区包含層	須恵器 高坏	－	(10.8)	-8.3	－	脚部	ロクロ成形 外体部正位「工」	白色粒φ2mm	灰色	還元堅緻	朱墨書
119	D区包含層	須恵器 坏A	－	－	－	－	底部片	底部回転ヘラ切り 外底部「井」カ	白色粒	灰色	還元堅緻	
120	D区包含層	須恵器 坏A	－	－	－	－	底部片	底部回転ヘラ切り 外底部「□」	白色粒	灰色	還元堅緻	
121	D区包含層	須恵器 坏A	－	－	－	－	底部片	底部回転ヘラ切り 外底部「□」	白色粒	灰色	還元堅緻	
122	D区包含層	須恵器 坏B	－	(8.0)	(2.0)	－	底部片	底部回転ヘラ切り 外底部「□」	白色粒	灰色	還元堅緻	
123	D区包含層	須恵器 坏A	－	(7.0)	(2.0)	－	底部1/2	底部回転ヘラ切り 外底部「□□」	白色粒	灰色	還元堅緻	
124	D区包含層	須恵器 坏A	－	(8.0)	(1.3)	－	底部片	底部回転ヘラ切り 外底部「井」カ	白色粒	黄灰色	還元堅緻	
125	D区包含層	須恵器 坏A	(11.6)	(7.0)	3.6	－	1/8	底部回転ヘラ切り 外底部「□」	白色粒	灰色	還元堅緻	
126	D区包含層	須恵器 坏B	－	(7.0)	(2.8)	－	1/4	底部回転ヘラ切り 外底部「□」	白色粒	灰色	還元堅緻	
127	D区包含層	須恵器 坏B	(10.0)	(6.0)	4.5	－	1/4	底部回転ヘラ切り 外底部「□」	白色粒	灰色	還元堅緻	
128	D区包含層	須恵器 坏A	(12.0)	(6.0)	2.8	－	1/4	底部回転ヘラ切り 外底部「井」	白色粒・海綿骨針	灰色	還元堅緻	
129	D区包含層	須恵器 蓋	(12.0)	－	3.0	－	1/4	天井回転ヘラ削り後ナデ外天井部「□」	白色粒	灰色	還元堅緻	
130	D区包含層	須恵器 坏A	(12.0)	(8.0)	3.0	－	1/6	底部回転ヘラ切り 外底部「柴」カ	白色粒	灰色	還元堅緻	
131	E区 SD43	土師器 椀A	(11.8)	2.5	4.1	－	1/2	底部回転糸切り 内外赤彩外体部横位「禾」則天文字	白・灰色粒	にぶい橙色	酸化堅緻	
132	E区 SD42	土師器 椀A	12.8	5.0	4.0	－	1/2	底部回転糸切り 内外赤彩外体部倒位「禾」則天文字	白色粒 海綿骨針	にぶい橙色	酸化堅緻	
133	E区 SD42	土師器 椀A	12.6	5.4	4.3	－	完形	底部回転糸切り外体部横位「禾」則天文字	白・褐色粒	黄褐色	酸化堅緻	
134	E区 SD42	土師器 椀A	(12.6)	5.0	4.2	－	1/2	底部回転糸切り 内外赤彩外体部横位「禾」則天文字	白色粒	にぶい橙色	酸化堅緻	
135	E区 SD42	土師器 椀A	17.7	6.2	6.3	－	2/3	底部回転糸切り外体部正位「禾」則天文字	白色粒	黄橙色	酸化堅緻	
136	E区 SD42	土師器 椀A	(12.8)	5.0	4.1	－	2/3	底部回転糸切り 内外赤彩外体部横位「禾」則天文字	角閃石多	暗黄灰色	酸化堅緻	
137	E区 SD42	土師器 椀A	12.4	4.6	4.2	－	2/3	底部回転糸切り 内外赤彩外体部横位「禾」則天文字	白色・シルト粒	橙色	酸化堅緻	
138	E区 SD42	土師器 皿A	13.0	5.0	2.4	－	1/3	底部回転糸切り 内体部「□」	透明細粒	淡い黄褐色	酸化堅緻	
139	E区 SD42	土師器 椀A	11.8	4.0	4.0	－	2/3	底部回転糸切り 内外赤彩外体部横位「禾」則天文字	白色粒 海綿骨針	赤褐色	酸化堅緻	
140	E区 SD42	土師器 椀A	18.8	6.0	7.1	－	完形	底部回転糸切り外体部横位「禾」則天文字	白色粒・角閃石	黄褐色	酸化堅緻	
141	E区 SE08	須恵器 坏A	12.0	8.5	3.2	－	完形	底部回転ヘラ切り 外底部「井」	白色粒	黄灰色	還元堅緻	
142	E区 SK15	須恵器 坏A	－	－	(2.0)	－	底部片	底部回転ヘラ切り 外底部墨痕	白色粒	灰色	還元堅緻	
143	E区 SK36	須恵器 坏A	12.0	7.0	3.8	－	2/3	底部回転ヘラ切り 外底部「□□□」	白色粒	灰色	未還元	
144	E区 SK64・65	須恵器 坏A	－	7.0	(1.5)	－	底部	底部回転ヘラ切り内底部線刻「十」、外底部「□」	白色粒	黄灰色	未還元	
145	E区 SK95	須恵器 蓋	(12.8)	－	3.1	－	1/4	天井回転ヘラ削り後ナデ。内天井部「中」	海綿骨針	青灰色	還元堅緻	
146	E区包含層	須恵器 坏A	(10.6)	(6.0)	3.0	－	1/3	底部回転ヘラ切り 外底部「中」	白色粒	青灰色	還元堅緻	
147	E区包含層	土師器 椀A	－	5.4	(1.9)	－	底部	底部回転糸切り、内黒。外底部「□□」	白色粒	黄褐色	酸化堅緻	
148	E区包含層	須恵器 蓋	(15.0)	－	(2.0)	－	口縁部片	天井回転ヘラ削り後ナデ。内天井部「中」	黒色粒	灰色	還元堅緻	つまみ欠損
149	E区包含層	須恵器 坏A	10.6	3.0	3.1	－	ほぼ完形	底部回転ヘラ切り内体部「□」、外底部「□」	白色粒	灰色	還元堅緻	
150	E区包含層	須恵器 蓋	(16.0)	－	(2.2)	－	口縁部片	天井回転ヘラ削り後ナデ。外天井部「柴」	白色粒	灰色	還元堅緻	
151	E区包含層	須恵器 坏	(10.6)	(7.0)	3.1	－	1/4	底部回転ヘラ切り 外底部「□」	白色細粒	灰色	還元堅緻	

番号	位置・遺構名	器種・器形名	口径 長さ	底径 幅	器高 厚さ・孔径	重さ	遺存率	成・整形の特徴	胎土	色調	焼成	備考
152	E区包含層	須恵器　坏A	－	－	－	－	体部片	外体部「□」	白色細粒	青灰色	還元堅緻	
153	E区包含層	須恵器　坏A	－	－	－	－	底部片	底部回転ヘラ切り　外底部「□」	白色細粒	灰色	還元堅緻	
154	E区包含層	須恵器　坏A	(11.6)	8.0	3.3	－	1/2	底部回転ヘラ切り　外底部「中」	白色粒・海綿骨針	灰色	未還元	
155	E区包含層	土師器　椀A	(13.0)	－	(4.8)	－	口縁部片	内体部横位「爪」則天文字、外体部横位「爪」則天文字	白色粒	灰色	還元堅緻	
156	E区包含層	須恵器　坏A	－	(6.6)	(1.5)	－	底部片	底部回転ヘラ切り　外底部「桑」カ	白色粒	灰色	還元堅緻	
157	E区包含層	須恵器　坏A	－	－	－	－	底部片	底部回転ヘラ切り　外底部「□」	白色粒	灰色	還元堅緻	
158	E区包含層	須恵器　坏A	－	－	－	－	底部片	底部回転ヘラ切り　外底部「柴」ヵ	白色粒	灰色	還元堅緻	
159	E区包含層	土師器　椀A	－	(7.0)	(1.2)	－	底部片	外底部「爪」	黒色細粒	黄褐色	酸化	
160	E区包含層	土師器　椀A	－	－	－	－	底部片	外底部「爪」ヵ則天文字	白色粒	灰色	還元堅緻	
161	E区包含層	須恵器　坏A	－	－	－	－	底部片	底部回転ヘラ切り　外底部「□」	白色粒	灰色	還元堅緻	
162	E区包含層	須恵器　坏A	－	－	－	－	底部片	底部回転ヘラ切り　外底部「□」	白色細粒	灰色	還元堅緻	
163	E区包含層	須恵器　坏B	－	(6.0)	(1.0)	－	底部片	底部回転ヘラ切り　外底部「柴」	白色粒	灰色	還元堅緻	
164	E区包含層	須恵器　坏A	－	－	－	－	底部片	底部回転ヘラ切り　外底部「□」	白色粒	灰色	還元堅緻	
165	E区包含層	須恵器　坏A	－	(7.0)	(1.2)	－	底部片	底部回転ヘラ切り　外底部「□」	白色粒	灰色	還元堅緻	
166	E区包含層	須恵器　坏A	－	(8.0)	(1.8)	－	底部片	底部回転ヘラ切り　外底部「□」	白色粒	灰色	還元堅緻	
167	E区包含層	土師器　皿	－	－	－	－	口縁部片	ロクロ成形。外体部「□」	白・褐色粒	灰色	酸化	
168	E区包含層	須恵器　坏A	－	－	－	－	底部片	底部回転ヘラ切り　外底部「□」	白色粒	灰色	還元堅緻	
169	E区包含層	須恵器　坏A	(10.0)	(6.0)	3.0	－	1/6	底部回転ヘラ切り　外底部「中」カ	白色粒	灰色	還元堅緻	
170	E区包含層	土師器　椀	(12.0)	－	(2.8)	－	口縁部片	ロクロ成形。内外赤彩。外体部「爪」カ	黒色細粒	黄褐色	酸化	
171	E区包含層	土師器　椀	－	－	－	－	口縁部片	ロクロ成形。内外赤彩。外体部「□」	白色粒	黄褐色	酸化	
172	E区包含層	須恵器　坏A	－	－	－	－	底部片	底部回転ヘラ切り　外底部「井」カ	白色細粒	灰色	還元堅緻	
173	E区包含層	土師器　椀	－	－	－	－	底部片	ロクロ成形　外底部「□」	白色粒	黄褐色	酸化	

出土墨書土器集成表

「井」、「井」カ	３５点
「柴」、「柴」カ	７点
「中」、「仲」	１１点
「桑」、「桑」カ	１８点
「室」、「室」カ	１１点
「茨」	２点
「爪」、「爪」カ	１２点
「公麻呂」、「公万呂」	３点
「十」、「十」カ	５点
「工」（朱墨書）	２点

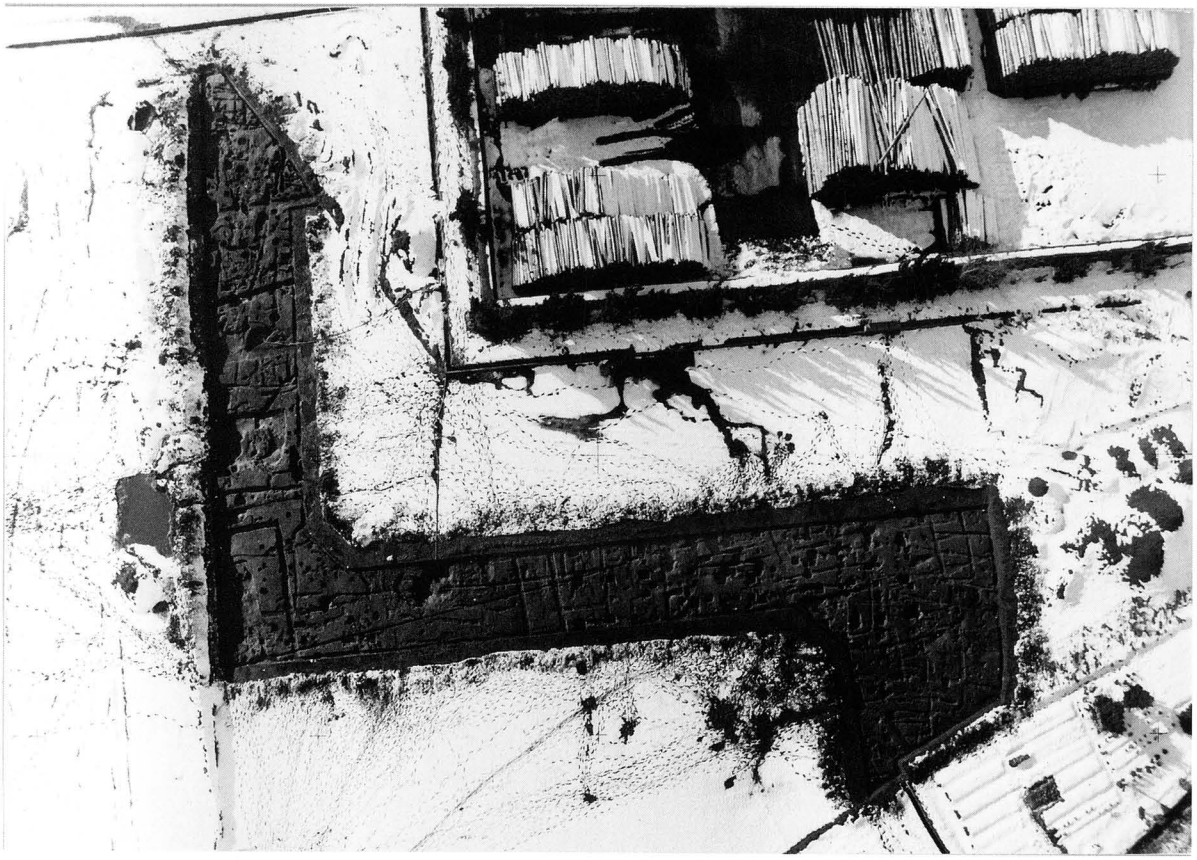
各1点

「田邉」、「道公」、「富女」、「人長」、「呰人」、「真」、「酒」、「人」、「王」(朱墨書)、「家」カ、「月」カ、「土」カ、「二」カ、「卌」カ、「及□」、「□□□」(１字目は「新」カ、２字目は「魚」カ、3字目 は「廣」カ)

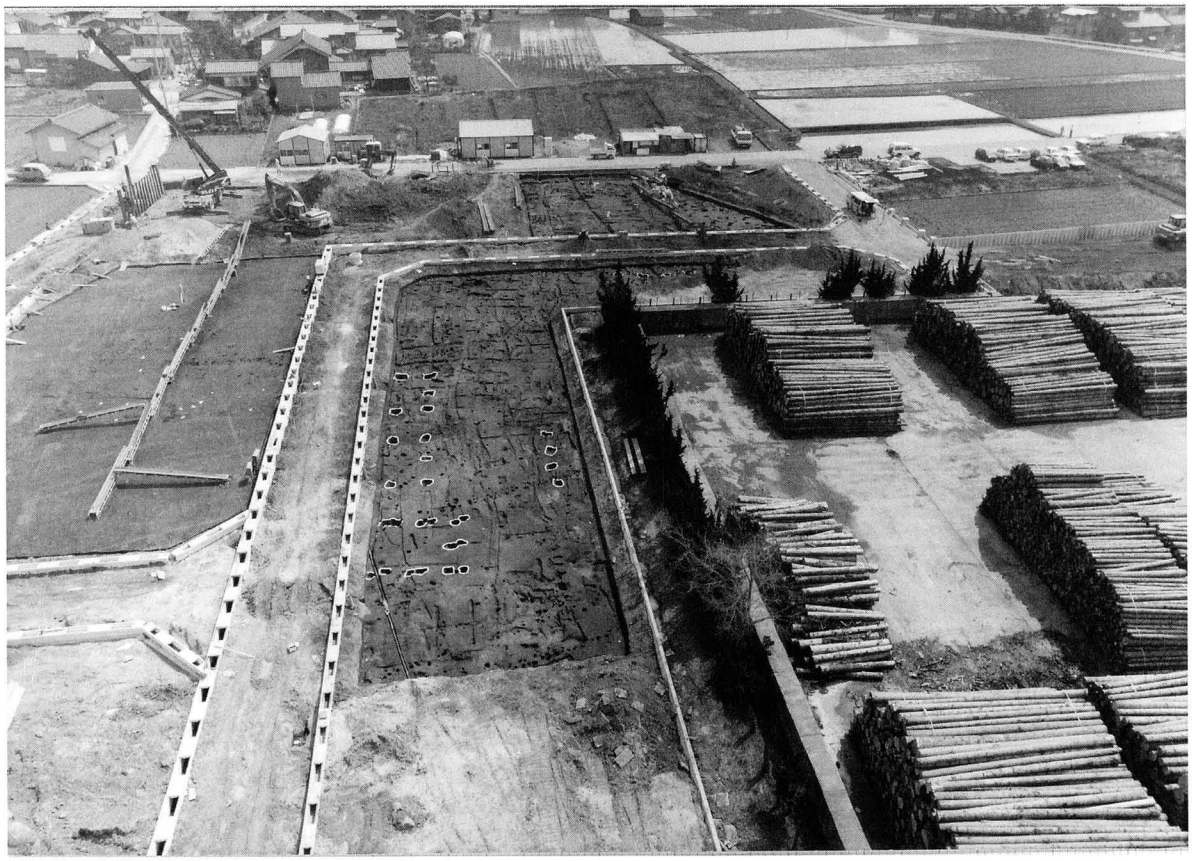
＊点数には本報告書の表に未掲載のものもカウント

遺跡周辺の航空写真（1：10,000）上が北　　（H7.9月頃撮影）

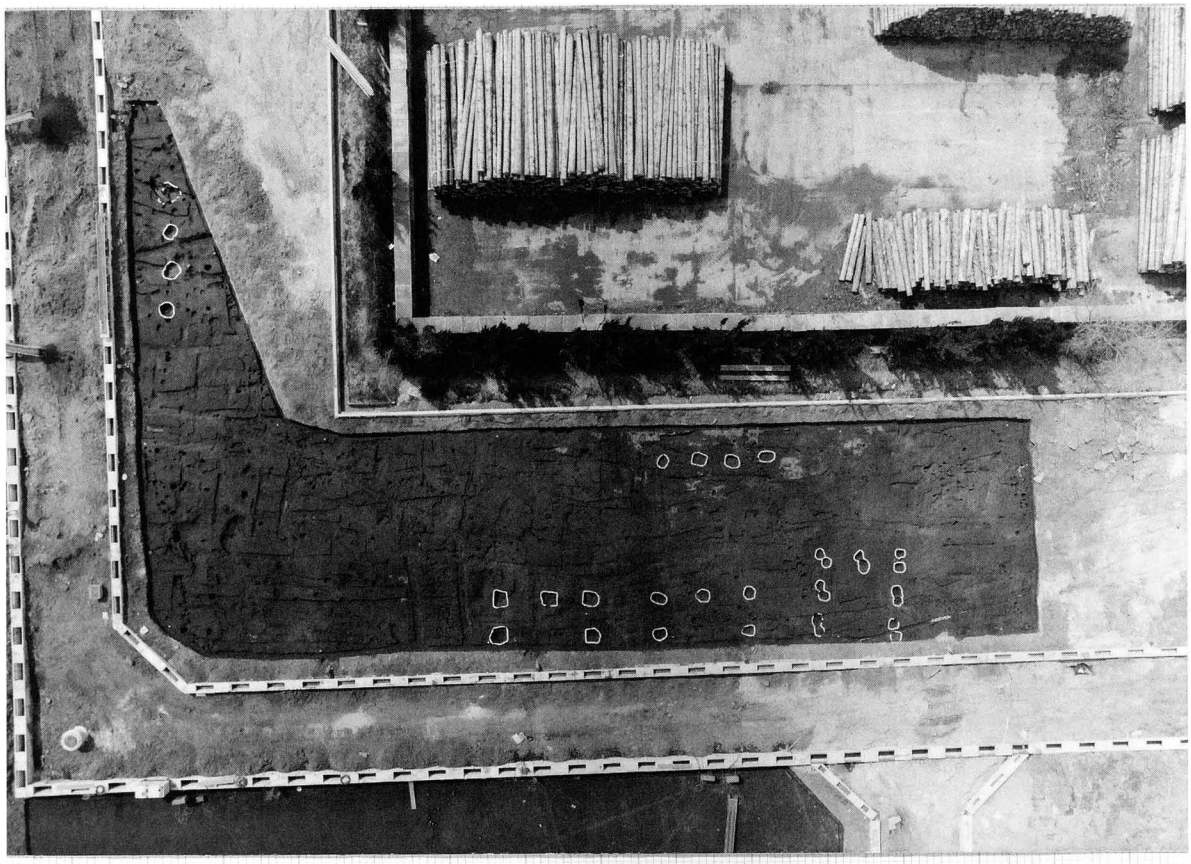
A区　遠景　（南から）



A区　全景　（上が西）



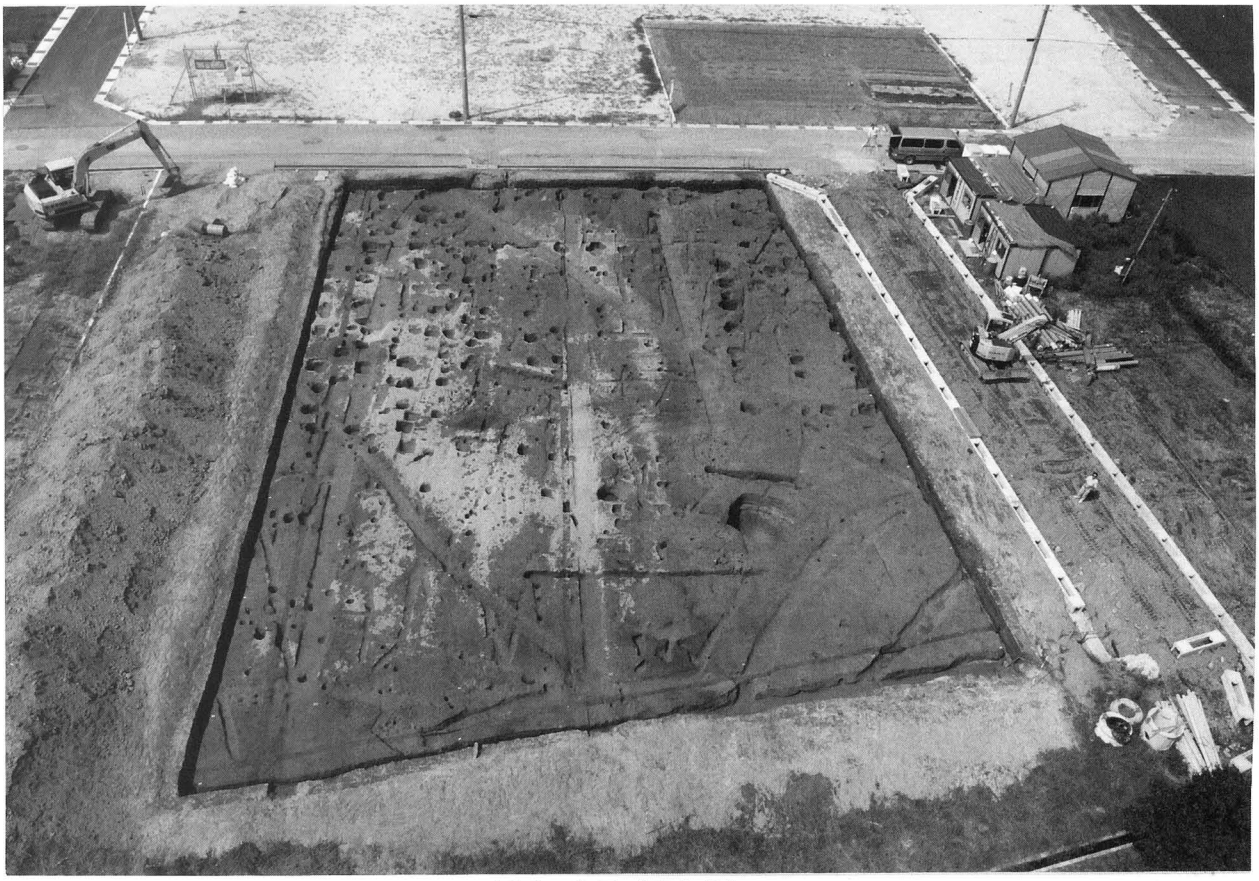
B区　遠景　（北から）



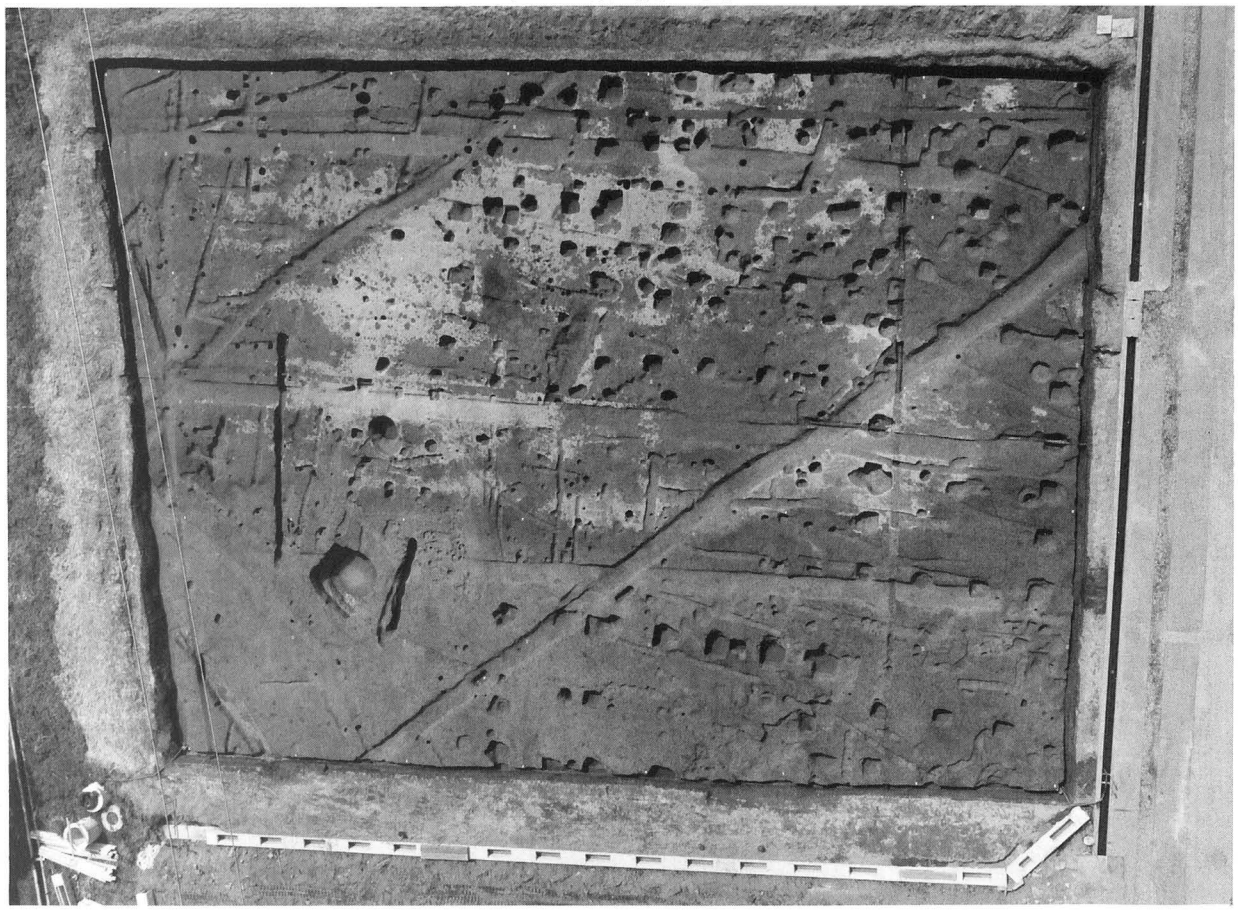
B区　全景　（上が西）

C区　全景（東から）

D区　全景（南から）

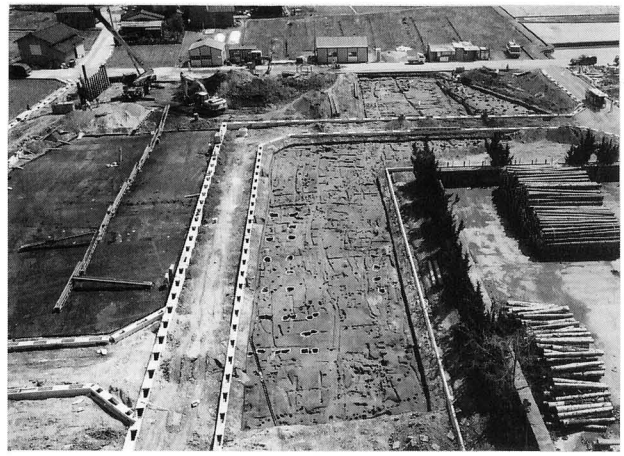


E区　全景（南から）

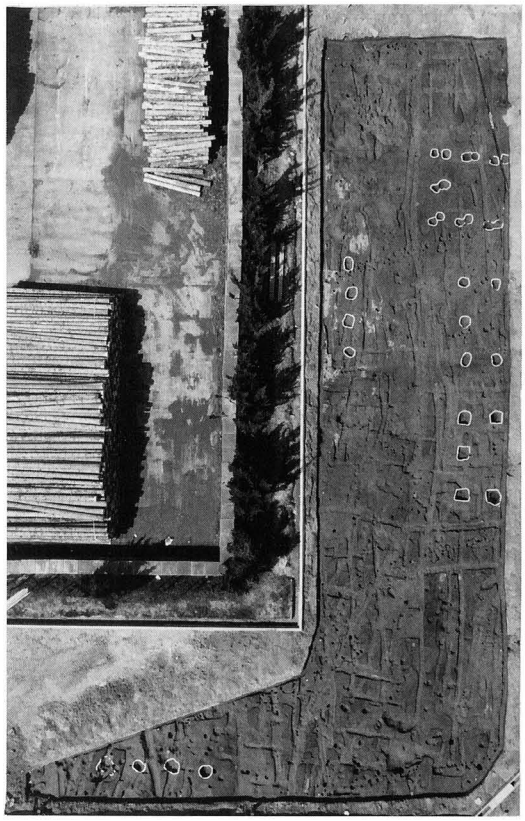


E区　全景（上が西）

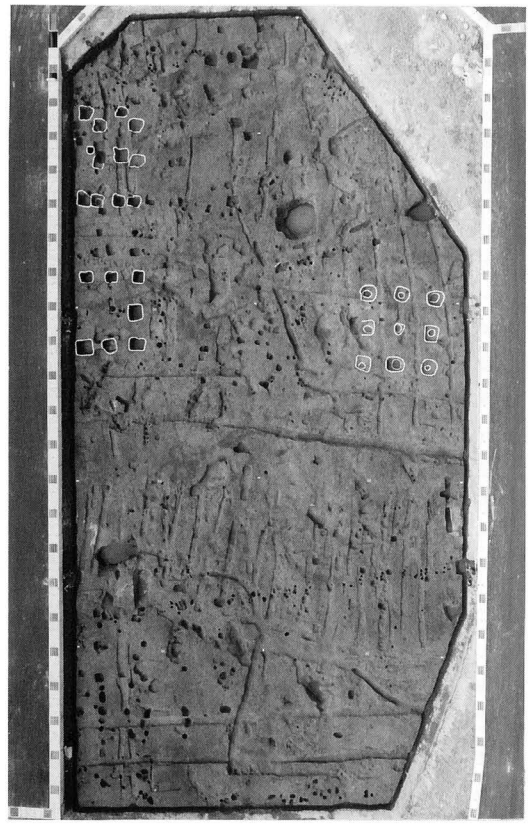
遺跡遠景（南東から）



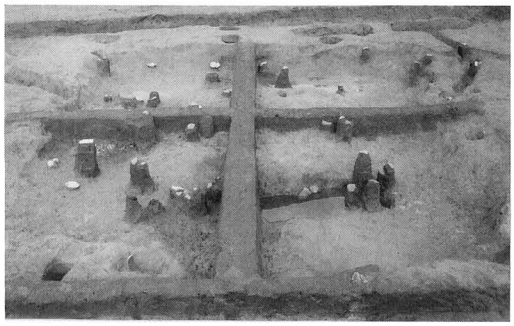
B区近景（北から）



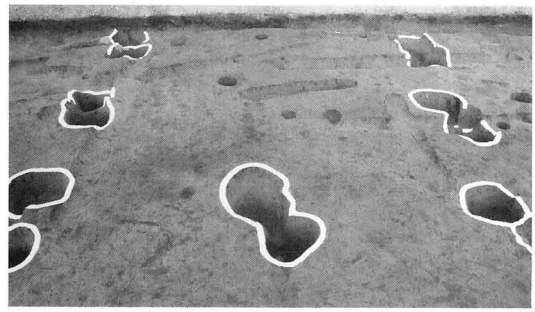
B区（上が北）



C区（上が北）



竪穴状遺構（A区SX01）



掘立柱建物（B区）